

長野県松本市

ARAI

新井遺跡

— 第2次発掘調査報告書 —

2014. 3

松本市教育委員会

長野県松本市

ARAI

新井遺跡

—第2次発掘調査報告書—

2014.3

松本市教育委員会

例言

- 1 本書は、平成23年5月19日～平成24年3月30日に実施された、長野県松本市大字里山辺1796番1ほかに所在する新井遺跡の第2次緊急発掘調査報告書である。
- 2 本調査は、松本市新井北土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査であり、土地区画整理組合より松本市が委託を受け、松本市教育委員会が発掘調査の実施と本書の作成を行ったものである。
- 3 本書の執筆は、第3章第2節・第3節1～4・第4章を直井雅尚、第3章第3節5を原田健司、その他を福沢佳典が行った。
- 4 本書作成にあたっての作業分担は以下のとおりである。
遺物洗浄・注記：内田和子・佐々木正子・中澤温子・洞沢文江
遺物保存処理・接合復元：荒井留美子・内田和子・竹平悦子・中澤温子・洞沢文江
遺物実測・トレース・版組み（土器・土製品）：柏原佳子・久保田瑞恵・竹内直美・八坂千佳・安田津由紀
（金属製品）内田和子・洞沢文江、（石器・石製品）原田健司
遺構図整理・トレース・版組み：村山牧枝・石井佑樹
写真撮影（遺構）：福沢佳典・山田梨恵・山本紀之、（遺物）：宮崎洋一
編集・総括：福沢佳典
- 5 遺構番号は、竪穴住居址については第1次調査からの通し番号、その他の遺構は本次調査で1号から付した。
- 6 本書で用いた略記は次のとおりである。
第○号住居址→○住、土坑○→土○、ピット○→P○
また、礎・遺物出土箇中の番号は第27～47図の土器番号に対応している。
- 7 図中で用いた方位記号は真北であり、座標は国土交通省告示の平面直角座標Ⅱ系に準拠した。また、標高・水平基準は東京湾平均海水面水準（T.P.）である。
- 8 土層色名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』に準拠したが、本書遺構図中では本頁下段各表の数字・略称・記号を用いて表記した。
- 9 本書では以下のものをスクリーントーンで表した。

遺構：焼土・被熱範囲  炭化物  粘土  遺物：黒色処理 

- 10 図製の縮尺は遺構：1/80、土器・土製品：1/4と1/2、金属製品：1/2、石器については器種に応じて縮尺を変え図版に記載した。
- 11 土器実測図の断面白抜きは土師器・黒色土器、黒塗りは須恵器・軟質須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器を示す。遺物番号の脇に軟質須恵器は「N」、灰釉陶器は「K」、緑釉陶器は「R」を併記し須恵器と区別した。
- 12 遺構・遺物の記述で用いた古墳時代中期～古代の土器の種別・器種・時期区分等は、次の文献による。
（財）長野県埋蔵文化財センター 1990『中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書4ー松本市内その1ー総論編』
松本市教育委員会 1994『出川南遺跡Ⅱ 平田里古墳群緊急発掘調査報告書』
松本市教育委員会 1994『高宮遺跡緊急発掘調査報告書』
- 13 出土した金属製品の調査・分析鑑定と保存処理にあたり長野県立歴史館の原明芳考古資料課長、白沢勝彦専門士から多大なご援助をいただいた。記して感謝を申し上げます。
- 14 本調査における出土遺物、測量図・写真等の諸記録は松本市教育委員会が保管し、松本市考古博物館（〒399-0823 長野県松本市中山3738-1 TEL 0263-86-4710 FAX 0263-86-9189）に収蔵されている。

遺構図中の土層表記略称・記号一覧表

土層の内容・特徴				土層混入物の内容・特徴								
上の色調	上の粘性	上の締り		種別	粒状	粒径		混入量				
暗褐色	1 黄灰色	14 強い	強い	強い	強い	大	A 微粒	1mm以下	a 微量	10%未満	ア	
暗褐色	2 青灰色	15 あり	有	あり	有	中	B 小粒	2～4mm	b 少量	10～20%	イ	
黒褐色	3 緑灰色	16 ややあり	中	ややあり	中	小	C 中粒	5～9mm	c 中量	20～40%	ウ	
明褐色	4 黄色	17 あまりなし	少	あまりなし	少	砂	D 大粒	10mm以上	d 多量	40～70%	エ	
赤褐色	5 暗黄褐色	18 なし	無	なし	無	大	A			大量	70%以上	オ
黄褐色	6 暗茶褐色	19 砂質	砂			中	B					
茶褐色	7 黒色	20				炭化物	小	C				
灰褐色	8 焼土	21				鉄分	砂	D				
橙褐色	9 炭化物	22				土	粒	E				
灰色	10 砂	23				焼土	塊	F				
暗灰色	11 砂礫	24				材	G					
黒灰色	12 オリーブ褐	25										
赤灰色	13 オリーブ褐	26										

目次

例言	
目次	
第1章 調査の経緯	3
第1節 調査経過	
第2節 調査体制	
第2章 遺跡の環境	
第1節 地理的環境	5
1 新井遺跡付近の地形・地質の概観	
2 発掘調査地点の地形・地質	
第2節 歴史的環境	8
第3節 過去の調査成果	8
第3章 調査成果	
第1節 調査の方法	10
第2節 遺構	12
1 概要	
2 竪穴住居址	
3 掘立柱建物址	
4 土坑・ピット	
5 焼土	
6 溝・流路	
第3節 遺物	
1 概要	43
2 土器・陶磁器	43
3 土製品	44
4 金属製品	44
5 石器・石製品	79
第4章 総括	85
写真図版	
報告書抄録	

図目次

第1図 調査地の基本土層	4
第2図 調査地の位置と周辺遺跡	6
第3図 事業対象地と調査区の範囲	9
第4図 新井遺跡第2次発掘調査遺構配置図	11
第5～26図 遺構実測図(1)～(22)	21～42
第27～47図 土器実測図(1)～(21)	53～73
第48図 土製品実測図	74
第49～51図 金属製品実測図(1)～(3)	76～78
第52～54図 石器・石製品実測図(1)～(3)	82～84

表目次

第1表 周辺遺跡・古墳一覧表	7
第2表 竪穴住居址一覧(1)～(6)	13～18
第3表 掘立柱建物址一覧	18
第4表 土坑一覧(1)・(2)	19・20
第5表 土器観察表(1)～(8)	45～52
第6表 金属製品一覧表	75
第7表 石器・石製品観察表(1)・(2)	80・81

第 I 章 調査の経緯

第 1 節 調査経過

平成22年に設立された新井北土地区画整理組合(以下「組合」という。)により松本市里山辺1797-1ほかで土地区画整理事業が計画されたが、予定地一帯は周知の埋蔵文化財包蔵地である新井遺跡に該当していた。そのため、松本市教育委員会(以下「市教委」という。)では平成22年12月2日～翌2月4日に事業地内で試掘確認調査を実施した。その結果、古墳～平安時代の遺物を伴う竪穴建物址などを検出し、対象地内の広範囲に遺構が残存していることが確認された。

平成23年3月2日付で、文化財保護法第93条に基づく土木工事等のための埋蔵文化財発掘の届出書が組合から長野県教育委員会(以下「県教委」という。)宛に提出された。市教委では、建設工事の際に遺跡が破壊される恐れがあるため、3月7日に新井遺跡に関わる保護意見書を県教委に提出し、3月11日に県教委から埋蔵文化財の記録保存のための発掘調査実施の通知を受けた。その後、事業者である組合と協議を行い、発掘調査とこれに係る事務処理については市教委が実施することとし、組合と松本市の間に平成23年4月25日付で発掘調査業務の委託契約が締結された。

現地での発掘調査は平成23年5月19日～平成24年3月30日に実施した。調査終了後、平成24年4月24日付で県教委に発掘調査終了報告書を提出した。また、4月18日付で埋蔵物発見届を松本警察署に提出し、5月16日付で県教委より埋蔵物の文化財認定及び出土品の帰属についての通知を受けた。それを受け11月20日に出土文化財譲与申請書を県教委に提出し、12月5日に出土文化財の譲与についての通知を受けた。

本発掘調査に係る文書等の記録は以下のとおりである。

【平成22年度】

12月2日～2月4日 市教委が試掘確認調査実施

3月2日 「土木工事等のための埋蔵文化財発掘の届出」を組合が市教委に提出

3月7日 上記届出と「新井遺跡に関わる保護意見書」を市教委が県教委に送達、提出

3月11日 「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について」県教委から組合と市教委に通知

【平成23年度】

4月20日 「公共事業に伴う農地転用届出書(一時転用)」を農業委員会に提出

4月26日 組合と松本市が埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結

5月19日～3月30日 市教委が発掘調査実施

3月30日 松本市が組合に埋蔵文化財発掘調査完了報告書提出

【平成24年度】

4月18日 「埋蔵物発見届」「埋蔵文化財保管証」を市教委が松本警察署、県教委に提出

4月24日 「発掘調査終了報告書」を市教委が県教委に提出

5月16日 「文化財の認定及び県帰属について」県教委から市教委に通知

5月28日 組合と松本市が埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結(整理作業)

11月20日 「出土文化財譲与申請書」を市教委が県教委へ提出

12月5日 「出土文化財の譲与について」県教委から市教委に通知

3月25日 松本市が組合に埋蔵文化財発掘調査完了報告書提出(整理作業)

【平成25年度】

5月1日 組合と松本市が埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結(報告書刊行)

第2節 調査体制

【平成23年度 発掘調査】

調査団長：吉江 厚(松本市教育長)

調査担当者：福沢佳典(文化財課主事)、山田梨恵(同嘱託)、山本紀之(同)

発掘協力者：伊藤節子、今井文雄、岩井健一郎、折井完次、加藤旻、草間恵美、小岩井洋、猿楽あい子、塩原政夫、鈴木将之、関谷昌也、鳥井和幸、長岩千晴、中嶋健、中村恵子、林秋好、藤森紫朗、丸山篤史、宮澤昭敬、召田尚武、百瀬泰宏、柳さおり、山田正計、横内孝行、吉澤五美、渡辺啓之助、渡辺順子

事務局：松本市教育委員会文化財課

塩原明彦(課長)、大竹永明(課長補佐)、直井雅尚(主査)、久保田剛(主査)、百瀬耕司(主任)、柳澤希歩(嘱託)

【平成24・25年度 整理事業・報告書刊行】

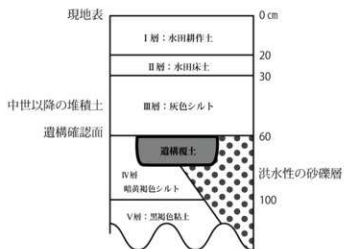
報告書作成：直井雅尚、福沢佳典、原田健司(文化財課嘱託)

調査員：宮嶋洋一

整理協力者：荒井留美子、内田和子、柏原佳子、佐々木正子、竹内直美、竹平悦子、中澤温子、洞沢文江、村山牧枝、八坂千佳、安田津由紀

事務局：松本市教育委員会文化財課

伊佐治裕子(課長)、直井雅尚(埋蔵文化財担当係長)、竹原学(同係長)、櫻井了(主査)、百瀬耕司(主任)、柳澤希歩(嘱託)



第1図 調査地の基本土層

第二章 遺跡の環境

第1節 地理的環境

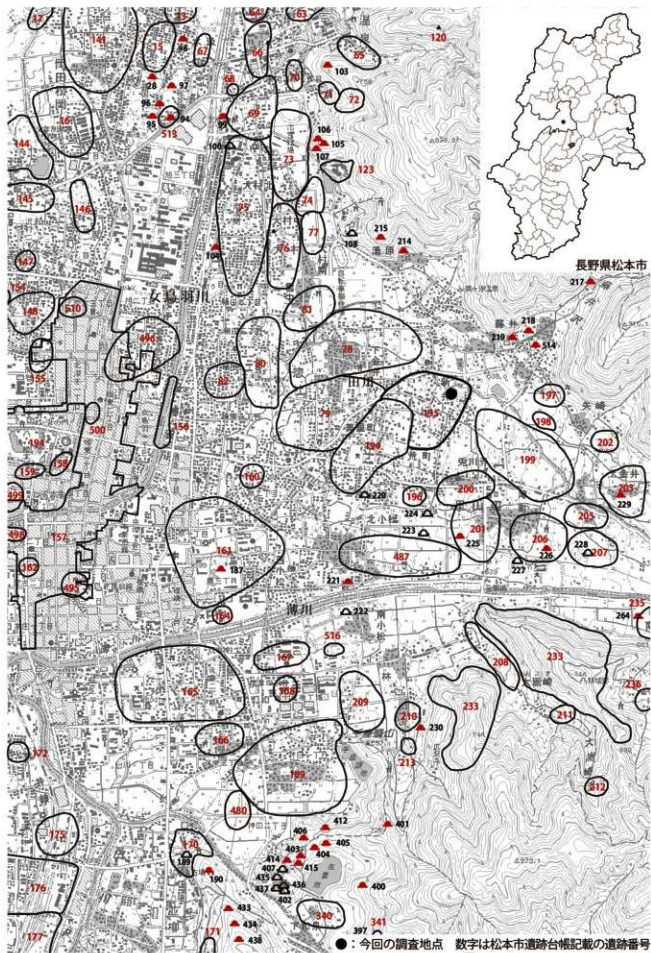
1 新井遺跡付近の地形・地質の概観

新井遺跡は松本市街地の東に位置し、筑摩山地と鉢伏山地に挟まれた山辺構造谷に地形区分される。東側に連なる筑摩山系の三峰山、美ヶ原付近に源を発して西流する薄川によって形成された扇状地と、筑摩山系の三才山峠、武石山、袴越山付近に源を発して西流し、稲倉付近で流路を約90度左に変えて南流する女鳥羽川によって形成された扇状地が合する複合扇状地上に位置する。扇状部に位置し、標高は約620～630mである。本遺跡の周囲には、西に女鳥羽川、南に薄川が流れるが、地形的には薄川の影響が強く、南西に向かって緩く傾斜している。さらに、この両扇状地が交差しやや低地化しているところを、袴越山の西南斜面を流下する沢が集まり湯川となって西流し、本遺跡の北側を流れている。薄川は古くは扇状地の北端を流れ、湯川水域から現在の女鳥羽川水系を流れていたと考えられ、清水、源池、埋橋などで湧水帯を形成している。上流はV字谷を作るが、中流部は河岸段丘が発達し、下流部では舟付橋付近を扇頂として扇状地が形成される。河岸段丘は5～6段を数え右岸に顕著で、現在も上手町、三反田、中村など主要集落が立地している。

薄川右岸には山腹に直線状に三角末端面が連続し、断層が形成されている。なお、平坦部においても湯の原・藤井・上金井・南方・舟付にかけて5～10m幅の断層粘土が見られる。本遺跡の北東に位置する地点であるが、過去の周辺調査においても、低湿地帯の周囲に遺跡が立地し、生産域が確保されていた可能性が指摘されている。また、薄川は堀の内、鎌田、石上、薄町等の調査においても、N-30～40°-Wの流路方向を示す河床跡が確認されている。これらの河床跡は今回の調査区でも確認されており、古墳時代後期～平安時代の住居地に切られている。堀の内遺跡の調査成果によると、縄文～古墳時代の住居地が切られており、古墳時代において大洪水があったことが考えられる。これらによって、入江状にふるい分けの悪い幾筋もの微高地が形成され、この上部に古墳時代の遺構が形成される。その後、これらの堆積物中のシルト層が小洪水や雨水で洗い出されて微高地の低部を埋めている。この洗い出し層の上部にも奈良～平安時代にかけて集落が営まれるようになる。

2 発掘調査地点の地形・地質

今回の発掘調査地点は松本市里山辺1796番1ほかにあり、現況は田畑である。すぐ北側を湯川、南約1.2kmに薄川が西流する。調査地の北約0.7kmには筑摩山地が迫るため、周囲は緩やかに南西へ低くなっていき、田畑の段差でもそれを窺い知ることができる。いずれの調査区も現況が水田であるため、地表下0.2～0.3mまでは水田耕作土および基盤土層(床土)が堆積する。その下、Ⅲ層は灰色系のシルト質層で中世以降の堆積層と考えられる。試掘・本調査時に青磁・白磁等の遺物が少量だが出土している。また、遺構検出後も、明らかに平安時代以前の遺構の覆土とは異なる暗灰色シルトの遺構が確認でき、中世以降にも遺跡が存在していた可能性が高い。このⅢ層は各調査区において確認できるが、一番北東に位置するB東区では削平のためか顕著ではない。その後、地表下約60～80cmに遺構面が存在するが、調査区ごとで状況は異なる。A・C南区は洪水性自然流路が多く、砂礫が多量に混じり、ふるい分けの悪いシルト上に遺跡が立地する。B西・C北区も同様であるが、本流が南側にあったためか礫が小振りで礫が混じらない洗い出し層が多くなる。B東区は全く異質で、洪水層の検出は少ない。遺構覆土の合間に見られる地山は暗黄褐色シルト層で礫はほとんど混入しない。この地山より下には、再び黒褐色粘質土層が堆積する。また、B東区北東隅のトレンチの土層観察では、地表下80cmから粘質土層の堆積が確認され、出水も多い。上記のように、湯の原・藤井・上金井に形成されている断層粘土が本調査地内まで及んでいることが明らかになった。古墳時代中期の住居地の立地もこれらに関係するものかもしれない。また、遺構面より下は何層もの洪水性砂礫層が堆積し、深さ200cmまで及んでおり、遺構・遺物は確認できない。



第2図 調査地の位置と周辺遺跡(S=1/25,000)

No	遺跡名	時代	No	遺跡名	時代	No	遺跡名	時代
13	杵坂	縄・平	148	沢村	縄～古・平	202	上金井矢崎	縄・中
15	岡田七日市場	古・平	154	蟻ヶ崎	奈・平	203	上金井	縄
16	トウコン原	縄・古～平	155	田町	縄・古	205	里山辺鎌田	縄～古
17	天神ノ木	平安	156	女鳥羽川	縄・弥	206	薄町	縄・平
63	鳥居前	弥・古	157	松本城下町跡	近	207	石上	縄・古・平
64	本郷上高田	縄・古・平	158	丸の内	縄	208	林山腰	縄・古・中
65	大音寺	弥	159	大名町	縄・中	209	千鹿頭北	縄～平
66	本郷高田	縄・古	160	四ツ谷	弥・奈・平	210	御符	縄・古・中
67	水汲西原	縄・弥・古	161	県町	弥・奈・平	211	大鷹崎	中
68	芝田	縄・弥・奈・平	162	本町南	古～中	212	わび沢	中
69	柳田	縄・奈・平	165	筑摩	弥～平	213	林	縄・古・平
70	新潟南裏	縄	166	三才	古・中	233	林城跡	中・近
71	真観寺	古・平	167	筑摩北川原	古・平	235	里山辺南方	中・近
72	飯治洞	古・平	168	筑摩南川原	弥・古	236	橋倉	縄
73	大村	弥・奈・平・中	169	神田	縄・古・平	340	生妻	縄～平
74	大村古屋敷	弥～平	170	平畑	弥・古・平	341	弥生	縄
75	大幡原	古～平	171	山行法師	縄～平	480	神田西	古・平
76	大村立石	縄・平	175	出川	弥・古・平	487	北小松	平
77	大村前田	弥・古・平	176	出川西	弥・古～中	495	天神西	古
78	惣社	縄・古	177	出川南	弥～平・中	496	岡の宮	古・平
79	宮北	弥・古・平	194	下原	古～平	498	伊勢町	中
80	横田	縄・平	195	新井	弥～平	499	土居尻	古
81	大村塚田	縄	196	荒町	弥・平	500	片端	弥
82	横田古屋敷	弥・古・平	197	藤井山田	平	510	堂町	古・平
144	狐塚	縄・古～平	198	藤井	平	513	水汲	古・平
145	旧射的場西	縄・古～平	199	堀の内	縄～中	516	小松下	奈
146	元原	奈	200	兎川寺	古～平			
147	沢村北	弥	201	針塚	弥・奈・平			

No	古墳名	調査年等	No	古墳名	調査年等	No	古墳名	調査年等
28	松岡		215	御母家2号		401	生妻2号	
94	水汲1号	S8発掘	217	里山辺丸山	煙滅、H3発掘	402	中山31号	煙滅
95	水汲2号	S41発掘	218	藤井1号		403	中山32号	
96	水汲3号	S40発掘	219	藤井2号		404	中山33号	
97	水汲4号	S41発掘	220	荒町	煙滅	405	中山34号	
98	水汲5号	S41発掘	221	北河原屋敷		406	中山35号	
99	大屋敷1号		222	中上		407	仁能田山	煙滅、S46・H6発掘
100	大屋敷2号	煙滅	223	大塚1号	煙滅	412	中山56号	
103	桜ヶ丘	S30・31発掘	224	大塚2号	煙滅	414	中山58号	
104	国司塚		225	針塚	H1・2・5発掘	415	中山59号	
105	妙義山1号	S30・31発掘	226	古宮		433	北尾根1号	
106	妙義山2号	S30・31発掘	228	石上	煙滅、H1発掘	434	北尾根2号	
107	妙義山3号	S30・31発掘	229	上金井		435	棺藪山1号	煙滅、S34発掘
108	桃仙園	煙滅	230	御符		436	棺藪山2号	煙滅、S34発掘
187	県塚1号		235	南方	煙滅、S63発掘	437	棺藪山3号	煙滅、S34発掘
189	平畑	煙滅、H2発掘	237	里山辺踏塚	煙滅	438	北尾根3号	
190	弘法山	S49発掘	397	弥生山1号		514	藤井3号	
214	御母家1号		400	生妻1号				

第1表 周辺遺跡・古墳一覧表

第2節 歴史的環境

新井遺跡が位置する薄川扇状地と背後の山辺構造谷には数多くの遺跡が立地し、河岸段丘および扇状地上に分布している。大きく分けて扇頂・扇尖・扇端部に分けられ、集落の展開もそれに左右される。近年の調査により次第にその様相が明らかになってきており、当該地域では時期幅を有した複合遺跡が多く見られる。ここでは、発掘調査の行われた遺跡を中心に、時期別に周辺遺跡を概観したい。

旧石器時代は、この地域においては弘法山古墳東麓において尖頭器が採取されているのみで、発掘調査では遺物・遺構ともに発見されていない。ただし、今回の発掘調査において、洪水層からナイフが出土しており、薄川中流域でも遺跡が発見される可能性はある。

縄紋時代は、主に薄川兩岸の山麓斜面から薄川扇状地奥部にかけて分布している。薄川上流の大和合周辺では早期の遺物が出土している。薄川左岸では、昭和62年の林山腰遺跡の調査において中期初頭の竪穴住居3軒、後期の敷石住居1軒が確認されている。また、大形石棒2本が出土している。昭和63年の南方遺跡の発掘調査でも早期～晩期の遺物が出土している。右岸では、平成元年調査の石上遺跡で前期末～中期初頭の竪穴住居3軒、鎌田遺跡で前期末～中期初頭の竪穴住居1軒が検出されている。山麓では、堀の内遺跡で中期初頭の竪穴住居が検出されたほか、藤井、上金井遺跡でも遺物が出土している。

弥生時代になると、薄川中・下流域の河岸段丘と扇端部に遺跡が分布する。昭和57年の調査で針塚遺跡より前期末の再葬墓が発見されている。出土した遠賀川・糸痕文・水式系の土器群は中部高地における弥生文化の波及過程を究明するうえで重要な資料となった。また、近接する鎌田遺跡では平成元年の調査で後期の竪穴住居2軒が検出されている。薄川下流域では、県町遺跡で中期末を中心に後期にかけての竪穴住居が42軒確認されている。当該期の中心的な集落として考えられる。このほか、横田古屋敷遺跡では礎床木棺墓4基が発見されている。

古墳時代では、薄川兩岸縁辺部と山麓部に20数基の古墳が確認され、大塚・南方・針塚・丸山の各古墳が発掘調査をされている。集落遺跡は、中・下流域の河岸段丘と扇状地部に立地する。昭和62年に発掘された薄川右岸の千鹿頭北遺跡で前期の竪穴住居7軒、後期40軒、平成元年の鎌田遺跡の調査で中期の竪穴住居が1軒、平成4年の下原遺跡で後期の竪穴住居が5軒見つかっており、新井遺跡における今回の報告も含めて、扇尖部一帯に遺跡が立地するようである。

奈良・平安時代になると、薄川中・下流域兩岸の各遺跡で竪穴住居が確認される。右岸では堀の内遺跡で67軒、県町遺跡で47軒、石上・薄町遺跡で43軒のほか、宮北遺跡、針塚遺跡などでも見つっている。左岸では、千鹿頭北遺跡で17軒、林山腰遺跡で2軒のほか、南方、神田遺跡でも検出されている。分布からみると、薄川右岸扇尖部から先端部にかけて広範囲に集落が展開していたと考えられる。

中近世は、大塚古墳、薄町、石上、南方遺跡などで中近世の遺物が出土しているが、調査例が少なくまだその様相は明らかになっていない。

第3節 過去の調査成果

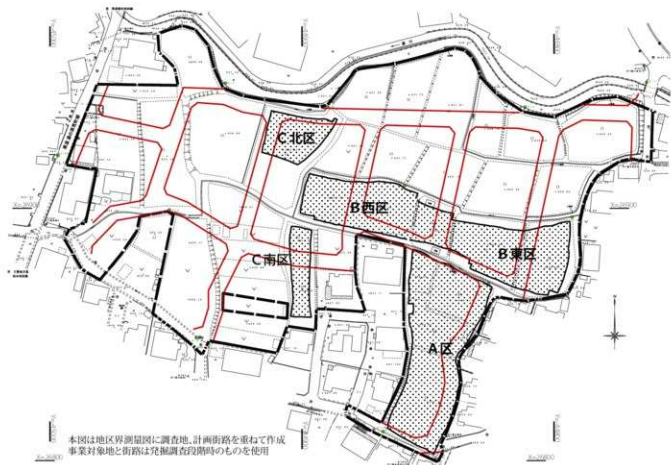
本遺跡は平成8年に第1次発掘調査が行われており、概要は以下のとおりである。今回の調査地より南南西に300mの位置にあり、その間の様相は不明であるため、即座に同一集落とは判断できない。

発掘期間：平成8年12月6～23日 発掘調査面積：402㎡ 発掘主体者：松本市教育委員会

発見された遺構：竪穴住居址3、掘立柱建物址3、土坑8、溝址1(いずれも平安時代前期8世紀末～9世紀後半と推定)

出土遺物：土師器、黒色土器、須恵器、窯壁材

調査所見：竪穴と掘立を中心とする平安時代前期集落址の一部。第1号溝址は幅が320cm前後の人工的な区画溝と考えられ、内部から窯壁材が出土。また第8号土坑は覆土に炭化物や骨片を含み墓址と考えられる。



第3図 事業対象地と調査区の範囲 (S=1/1500)



調査地周辺の航空写真（平成16年撮影）

第三章 調査成果

第1節 調査の方法

1 調査区の設定

調査対象地は、湯川と住宅地に挟まれた水田・畑地であり、長らく開発が及ばなかった場所である。試掘調査の結果、竪穴住居址のカマドと考えられる被熱面や多量の土器片が出土し、遺跡の広がりが確認された。また、湯川に近い北側は出水を伴う河川の流路跡であり、その下層も湿地性の粘土層が堆積しており、遺構・遺物が残存する可能性は低いと考えられた。そのため事業予定地の北側を除外し、残りを調査対象地とした。

本調査に際して調査対象地を大きくA～Dの4区に分けた。耕作地や現場事務所等の用地確保を考慮し、試掘調査の結果から遺構密度が高いと推測されるA区から順に調査を開始することとした。実際に発掘調査を実施できたのはA・B西・B東・C北・C南の5地区であり、掘削土をそれぞれ隣接する用地に仮置きできたため、反転せずに遺構検出を行っている。調査面積は合計4455.163㎡で、遺構検出面は1面である。

2 発掘手順

まず、大型のパワーシャベルによりA区南東隅にトレンチを設定、掘削した。土層の堆積状況を確認し、試掘調査の結果と併せて地表下約0.6～0.8mを遺構検出面とし面的な掘り下げを行った。その後、人力により遺構検出を行い、調査区全面に洪水性の砂礫層とそれを切る遺構群を検出した。遺構検出後は、検出状況の写真撮影・図面記録を行い、個別の掘削調査を行った。

遺構番号は、遺構の種類毎とし、竪穴住居址は新井遺跡第1次調査からの通し番号を付し、5号からとした。その他の遺構は今回の調査で1号から通し番号を付した。個々の遺構の掘削時に、土層観察などの所見から遺構ではないと判断できたものは、遺構番号を欠番とした。

各遺構の調査終了後、各調査区の完掘状況写真を撮影し、パワーシャベルにより埋め戻しを行った。A区の調査終了後、同様の手順でB西・B東・C北・C南区の発掘調査を行った。発掘調査期間は平成23年5月19日～平成24年3月30日である。

3 測量・写真記録

測量調査は、区画整理事業予定地の地形測量のために設定された基準点B-6を原点(NSO, EWO)とし、調査区の西をもとに調査区内に3mグリッドを設定した。X・Y軸は世界測地系平面直角座標に基づき設定し、座標値は任意のものとした。基準としたB-6の世界測地系平面直角座標および標高は以下のとおりである。

$$B-6: X=26909.508 \quad Y=-44859.238 \quad \text{標高} Z=627.948\text{m}$$

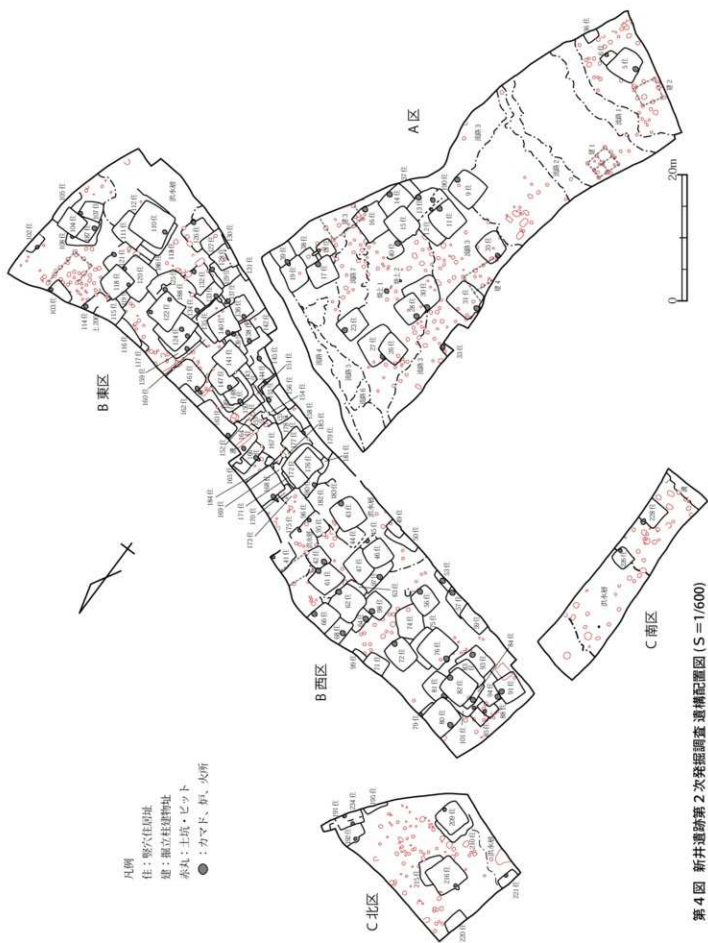
平面図はこれをもとに簡易遣り方測量により作成し、部分的に光波測距儀を併用した。平面図・断面図の縮尺は1/20を原則とし、詳細図が必要なものは1/10で作成した。

出土遺物のうち、遺構の覆土土層のものは、住居址など大きな遺構は4分割した区画毎に、出土位置が把握できるように一括で取り上げ、下層および床面直上出土のものは詳細出土状況図を作成し、標高を記録し取り上げた。

調査区全景、土層・遺構の状況、遺物出土状況等は、35mm一眼レフカメラ(リバーサル、白黒フィルム)とデジタルカメラで撮影した。

4 整理作業

発掘作業に並行して写真・図面等の整理を行った。図面類は平面図・土層断面図の点検・照合を行い、報告書に掲載するものについてはトレース作業を行った。遺物は洗浄・クリーニングを行った後、土器は洗浄後に注記(遺跡名、調査次、通し番号、所属遺構等)を行い、石器・金属器は台帳登録を行った。この後、遺構単位で接合作業を行い、遺存度の良好なものと特徴的な遺物について実測・トレースを行った。



第4図 新井遺跡第2次発掘調査遺構配置図 (S=1/600)

第2節 遺構

1 概要

竪穴住居址185軒、掘立柱建物址6棟、土坑349基、ピット376基、焼土、溝、流路などが確認された。遺構の重複は著しく、全形を確認できたものは少ない。出土遺物から推定すると、古墳時代前期から平安時代中期にかけての、主に竪穴住居で構成される集落址を調査したものと見える。

2 竪穴住居址(第2表)

遺構検出の段階で5号から237号までの233棟の存在を把握し番号を付したが、その後の掘り下げ作業等の中で48棟が遺構ではないことが判明したため欠番とした。したがって実質の棟数は185棟である。また作業の手順や調査期間の関係で掘り下げに至らなかったものが47棟生じている。掘り下げを行った138棟のうち85棟については出土土器の検討により属する時期を把握できた。1棟が古墳時代前期に遡る可能性があるほかは、すべて古墳時代中期から平安時代中期までの範囲内に収まっている。

竪穴住居址の平面形は概ね方形を基調としており、まれに長方形や不整な方形のものが認められた。規模は一辺が最大で約7m、最少で約2.5m、検出面からの深さにはばらつきがあり7～60cmほどである。古墳時代後期以降のものは西または東壁にカマドを有する。古墳時代中期以前のものは他遺構の重複で破壊されて明瞭ではないが、住居内の奥寄りに地床炉や埋燗炉を持つ。

3 掘立柱建物址(第3表)

A区に4棟、B東区と西区に各1棟の6棟が確認された。ただし、ほかにも土坑やピットが集中している部分が数カ所あり、これらの中にも掘立柱建物址と認めて良いものが含まれている可能性がある。全形が判るのは総柱式の1建のみである。時期は概ね竪穴住居址と同じで古墳時代後期から平安時代前期の間に収まると推定するが、出土遺物が少なく、詳細は確定できない。

4 土坑・ピット(土坑:第4表)

土坑は検出段階で1号から398号までの番号を付したが、その後の掘り下げ等の作業の中で49基が欠番となり、実質は349基を確認した。このうち212基は調査手順等の都合で未掘である。各地区に分布するが、特にA区が127基と多く、ほかはB東区98基、B西区56基、C北区33基、C南区35基を数える。覆土の特徴から中世に属すると判断されるものがわずかにあるが、ほとんどが竪穴住居址と同様の時期と推定される。最終的に掘立柱建物址を構成する掘り方となったものもある。

ピットは401基を確認したが、うち25基が欠番となり、実質は376基である。A区147基、B東区100基、B西区53基、C北区59基、C南区17基という分布をみせる。228基は未掘である。覆土の特徴から中世に属するものが多いと考えている。

5 焼土

焼土のみが検出された地点が数カ所あったが、ほとんどが竪穴住居址と関連付けて理解できたため、焼土単体として把握したのはA地区の2基に限られた。これらについても削平等で煙滅した竪穴住居址などに付随していたカマド・炉などであった可能性が高いと考えている。

6 溝・流路

B東区以外の調査区には、遺構検出面を設定した深度の土層付近に全面的に洪水起源の砂礫層が広がっていて、特に調査地南側のA区、C南区は著しかった。これらの砂礫層をさらに切り込むように溝や流路が確認されたが、溝9条のうち明らかに人為的と認められるものは1本のみで、他は小規模な流路である可能性が高い。流路は覆土に多くの礫を含み、平面形や底面の状態に人為的な掘り込みの痕跡が認められない大規模な溝状のもので、検出面付近の砂礫層形成後に起こった新たな洪水等に起源をもつものと推定する。

No.	地区	平面形態 主軸方位	柱軸×直交軸×深さ (m)		カマド位置 カマド位置	遺構重複 (古)		出土土器の時期	備 考
			床面積 (㎡)			遺構重複 (新)			
5	A	方形	494	451×42	被熱面	6住		7～8期	北・東壁よりにも被熱面あり 礎礎壁住居
		N94E	16.36		西壁中央	P2・4～7			
6	A	不整形方形	(165)	×306×36	石組			8期	
		N86E	3.39		東壁中央	5住			
7	欠番								
8	欠番								
9	A	方形	496	505×62	石組	黄3		8期	
		N107E	18.43		東壁中央	P45			
10	欠番	方形	541	499×38	石組	12・13・190住,黄3		9～11期	2時期あり
		N108E	22.64		東壁中央				
12	A	方形	(500)	×(450)×25	被熱面	(190住)		7期	調査時に13住と切り合い混認
		N102E			東壁中央?	11・13・15住			
13	A	隅丸方形	(310)	×(668)×50	石組	12・14・37・190住,黄3		8期	調査時に12住と切り合い混認
		N109E	14.6		東壁中央	11・15住			
14	A	方形	(450)	×475×29	被熱面	10・37住		5期前後	
		N111E	(18.56)		東壁南寄り	13・15住			
15	A	方形?	(465)	×(463)×25	未確認	10・13・14住		8期	16住との切り合いは遺物から15住が新
		N105E	(19.53)			572住			
16	A	方形	(510)	×(496)×25	石組	黄7		3期	礎(土・85)と重複
		N108E	(22.22)		東壁中央	14・15住,土82・84・87・123・125,P104			
17	A	方形	377	×411×14	被熱面	18・19・38住,黄7		7～8期	
		N112E	13.83		東壁北寄り				
18	A	方形	277	×256×21	被熱面	38住		4期	礎あり
		N20E	6.29		北壁東寄り	17住,土95,P109			
19	A	方形	(386)	×(327)×15	未確認	38住		未確認	遺物少ない
		N63W	(13.43)			17・39住,P114・147			
20	A	方形?	455	×360×11	未確認			7～8期	範囲内に礎土1・2あり 30住との重複あり
		N30E	(16.45)			±29・130,P88～90・140・150・156,黄			
21	A	不整形方形	(439)	×425×7	未確認	黄7		7～8期	
		N74W	(16.66)						
22	欠番								
23	A	方形	446	×385×16	被熱面	黄7		10～11期	
		N14E	14.26		北壁中央				
24	欠番								
25	欠番								
26	A	方形	365	×349×22	未確認	27住		8期	西壁寄りにわずかに礎土 礎礎壁住居
		N77W	10.69						
27	A	方形	487	×574×27	被熱面			7C前半	礎礎壁住居 5～6Cの土師器高杯混入
		N67W	(25.19)		西壁中央				
28	A	方形	419	×401×38	石組	30住,黄3		1～2期	
		N74W	14.08		西壁中央	P140・141			
29	欠番	隅丸方形	475	×(520)×32	粘土	黄3		6～7C 7～8期	2時期あり。後者は他遺構の混入品と推定
		N73W	(21.06)		西壁北寄り	28住,土66,P61～63			
31	A	方形	460	×470×30	石組?	壁4,黄3		3～5期	礎4(土126)との重複あり 9～10期の土師器杯1点
		N86W	17.13		西壁中央	±120,P64・67			
32	欠番								
33	A	方形?	205	×(120)×13	被熱面	黄3		8～9期	カマド近くに土師器・須恵器が散見 られる
		N93E	(1.97)		東北隅	P83・142			
34	A	方形?	532	×(130)×-	不明	黄3		未確認	
		N16W	(5.81)			31住,土50・51,P50			
35	A	方形	401	×417×22	被熱面	壁4,黄3		7～8期	礎4(土115・119)との重複
		N75W	13.40		西壁中央	±48,P48・136・138・139			
36	A	方形?	380	×(167)×47	被熱面	土17・133,P151		未確認	
		N22E	(3.29)		北西隅				
37	A	方形?	(470)	×(391)×24	未確認	黄3		未確認	
		N22E	(7.67)			13・14住			
38	A	不整形方形?	(232)	×(165)×17	未確認			未確認	
		N68W	(2.98)			17～19住,P110			
39	A	方形	(250)	×268×13	被熱面	19住,P135		3～4期	
		N66W	(5.87)		西壁南寄り				
40	A	方形?	(315)	×(196)×20	未確認	±132・133		未確認	15住との重複あり
		N22E	(3.83)			±128,P95			
41	B西	方形	365	×(315)×18	未確認	236住,土198		7～8期	調査区外へ続く
		N16E	(10.40)			±199・371,P203			
42	B西	方形	(320)	×288×26	石組	61住,土142		5～6期	カマドが取外し振出す 南東隅にテラス状部分あり
		N78W	(8.17)		西壁南寄り				
43	B西	方形	485	×431×18	被熱面	44住		7～8期	
		N106E	18.00		西壁中央				
44	B西	長方形?	320	×(469)×-	不明			未認	検出面で北壁東寄りに礎土 P200がカマドに相当
		N2W	-			43・45住			
45	B西	方形?	(73)	×(313)×17	被熱面	44住,P397		未確認	
		N104E	-		東壁南寄り				
46	B西	方形	422	×410×18	未確認	45・47・97住		未確認	
		N73W	15.19						
47	B西	方形	460	×(343)×25	未確認	44・45・63・97住		1期	礎あり
		N80W	(14.76)			46住			

第2表 竪穴住居址一覧 (1/6)

№	地区	平面形態 主軸方位	柱×瓦交脚×深さ(m) 床面積(m ²)	カマド形態 カマド位置	遺構重複(古) 遺構重複(新)	出土土器の時期	備 考
48	欠番						
49	B西	方形 N82W	280×(143)×21 (3.31)	未確認	50住 P164	未統計	調査区外へ続く
50	B西	方形 N8W	(183)×515×18 (5.09)	被熱面 北壁東寄り	49住	未統計	調査区外へ続く
51	欠番						
52	欠番						
53	B西	方形? N77W	(319)×(97)×35 (2.38)	未確認	57住	未統計	瓦溝あり
54	欠番						
55	欠番						
56	B西	方形 N102E	374×392×26 11.77	右側 東壁中央	74住、±169	7～8期	
57	B西	方形? N102E	(420)×(230)×27 (6.26)	被熱面 東壁	53住 59住、±194	未統計	
58	欠番						
59	B西	方形? N79W	497×(228)×40 (9.11)	未確認	57住 ±194	4～5期	
60	B西	方形? N78W	437×383×-	不明	59住、P201・202	未統計	未測
61	B西	方形 N98E	403×420×15 15.72	右側 西壁中央	42住 ±151	6期	カマドが壁外に張り出す 南東隅にテラス状部分
62	B西	方形 N92E	484×456×31 (21.00)	右側 西壁中央	63・64・98・100住 66・68住	7～9期 3期	カマドが壁外に張り出す 2時期あり。後者は他遺構の混入品と推定
63	B西	方形 N88E	352×(100)×20 (2.25)	未確認	97住 41・62住	(3期?) 7～8期	本址と62住の3期の遺物が本来の時期か?
64	B西	方形 N85W	(262)×(357)×39 (5.85)	被熱面 西壁中央?	62・68・98住	未統計	
65	欠番						
66	B西	方形 N99E	(200)×(391)×24 (7.03)	右側 東壁中央	62・100住 68住	6～7期	カマドが壁外に張り出す
67	欠番						
68	B西	方形 N80W	456×(385)×33 (15.94)	右側 西壁中央	62・64・66住	7～8期 3～4期	調査区外へ続く。カマドが壁外に張り出す 2時期あり。後者は他遺構の混入品と推定
69	欠番						
70	欠番						
71	B西	方形 N82W	379×(254)×43 (9.02)	未確認	99住	未統計	調査区外へ続く
72	B西	方形 N82E	428×381×34 13.34	右側? 東壁中央	75・78住	5～6期	礎礎壁住居
73	欠番						
74	B西	不明方形? N39W	532×435×- -	不明	77住 56・75住、±170	未測	未測
75	B西	方形? N42W	(339)×327×- -	不明	74・77・78住 72・76住	未測	未測
76	B西	方形 N82W	500×518×31 22.40	被熱面 西壁中央	75・77・78・237住 ±187	未測	カマドが壁外に張り出す
77	B西	方形? N40E	(326)×(155)×- -	不明	74～76住	未測	未測
78	B西	方形? N81W	(373)×(115)×(35) -	不明	72・75・76・237住 101住	未測	未測
79	B西	方形 N97E	(335)×(498)×31 (3.05)	被熱面 東壁	80・81住	未統計	調査区域外へ続く
80	B西	方形 N81W	470×(499)×28 (20.97)	被熱面 西壁中央	79・81・101住、±191 ±174	未統計	調査区域外へ続く
81	B西	不明長方形 N71W	488×(376)×30 (10.41)	被熱面 西壁中央	79・83・237住 80・82住	1～2、5～6、 7～8期	瓦溝あり西壁にカマドらしき土 土器は3時期あるが5～6期が本址の時期
82	B西	方形 N92E	488×465×40 19.13	右側 東壁中央	81・83・84住 P205	6期	
83	B西	方形 N103E	495×(458)×37 (7.33)	被熱面? 東壁	84・93・237住 81・82住	4～5期	
84	B西	方形 N87W	(151)×467×38 (4.17)	右側? 西壁南寄り	94・101住 82・83住、P205	未統計	
85	B西	方形 N80W	279×(162)×19 (3.91)	未確認	101住 ±181、P189・392	未統計	瓦溝あり
86	欠番						
87	欠番						
88	B西	方形 N11E	(265)×(298)×36 (6.74)	右側 北壁中央	85・101住 94住、±178・179・181・182・195	6～7期	カマドが壁外に張り出す
89	B西	方形? N81W	(385)×(65)×- -	不明	90住 91住	未測	未測
90	B西	方形? N74W	(414)×(124)×- -	不明	89・91住、±186、P198	未測	未測
91	B西	方形 N21E	382×393×22 (12.99)	被熱面 北壁中央	89・94住 ±186、P199	5～6期	礎礎壁住居
92	欠番						
93	B西	方形 N101E	376×298×35 (9.81)	右側 東壁中央?	±187 83住	6期	礎礎壁住居
94	B西	方形 N79W	(327)×(318)×29 (8.86)	被熱面 西壁南寄り	88住 84・91住、±178	6期?	被熱面弱い

第2表 竪穴住居址一覧 (2/6)

No.	地区	平面形態 主軸方位	軸×前交線×深さ(m) 床面積(m ²)	カマド形態 カマド位置	遺構重複(古) 遺構重複(新)	出土土器の時期	備 考
95	B西	方形? N74W	260×180×6 4.45	未確認		未検討	B東区96住との重複あり
96	B西	不明 N81E	(100×372)× —	被熱面 東壁中央	175住	未検討	B東区95住との重複あり
97	B西	方形? N80W	(167×600)×27 8.17	被熱面 西壁中央	46・47・63住	未検討	
98	B西	方形 N83W	337×(338)×26 9.98	石組? 北壁中央	64住 62住	未検討	礎礎堂住居
99	B西	方形 N83W	(235×199)×46 3.73	未確認	71住, P177	未検討	調査区域外へ続く
100	B西	方形? N87W	—×—×19 —	被熱面 西壁北隅	62・66住, 153, P171・173・175	未検討	一部のみ掘り下げ
101	B西	方形? N79W	(345×1440)×— —	被熱面 西壁中央	79・81・84・85・88・94住, 土176	未検討	
102	B東	方形? N83W	(163×349)×— 4.70	被熱面 西壁中央	P214 土300	未検討	調査区外へ続く 未掘だが検出時に床面まで下がる
103	B東	方形 N108E	383×256×— 6.56	被熱面 東壁中央	土215・296～299・389	1～2期	調査区域外へ続く
104	B東	方形 N2E	392×320×— 11.3	被熱面 北西隅	105・108・187住 107住	未検討	調査時に107住との切り合い確認
105	B東	方形? N13E	442×(150)×— —	不明		未掘	未掘
106	欠番						
107	B東	長方形? N80E	387×281×— 9.66	被熱面 東壁北寄り	104・108・187住	未検討	礎礎堂住居
108	B東	方形 N66E	563×(356)×— 6.05	不明	104・107・187住	5C	
109	欠番						
110	B東	方形 N98W	608×546×— 31.25	石組 西壁中央	111～113住	6～7期 5C	壁際に礎礎堂。カマド被熱面が大きい 2時期あり。後者は111住からの混入品
111	B東	方形 N87W	503×420×— (12.07)	未確認	113・186住 110・121住	5C	
112	B東	方形? N88E	605×(147)×13 —	被熱面あり	110住, P243	5C	
113	B東	方形 N5E	631×(445)×27 (5.76)	未確認	186住 110・111住	5C	
114	B東	方形 N100E	(170×390)×38 (5.91)	石組? 東壁中央	115住, P243 115住, 土200・221・380, P237・239	7～8期	調査時に115住との切り合い確認
115	B東	不整形方形 N76W	436×(402)×18 (11.19)	被熱面あり 西壁中央?	(114住) 116住, 土200	6C 6～7期	調査時に114住との切り合い確認 2時期あり。後者は116住の混入品
116	B東	方形 N73W	550×(181)×30 (6.83)	未確認	117住 115住	未検討	
117	B東	方形? N89W	(420×102)×35 (1.14)	未確認	P250 116住	未検討	
118	B東	方形 N77W	400×(460)×18 16.54	石組 西壁南寄り	115・119～121住 P238	7～8期	カマド新設2基あり
119	B東	方形? N15E	(214×174)×20 3.16	未確認	115・118・120住, 土391	未検討	土392との重複あり
120	B東	方形 N96E	547×545×20 (20.76)	被熱面 東壁中央	119・121住 118住, 土395	3～4期	土398との重複あり
121	B東	方形 N93E	533×510×11 (13.42)	石組 東壁中央	111・186住, 土229 118・120住, 土201・236, P242	4期	
122	B東	方形 N97E	465×464×38 18.88	石組 北壁北東隅	124・125・134・188住, 溝5	未検討	
123	欠番						
124	B東	方形 N80E	(518×535)×27 8.37	石組? 西壁中央	134・159住, 土244 122住	4～5期	床面に別住居のカマド検出
125	B東	不整形方形 N79E	611×543×28 (19.62)	埋蔵炉?	土252 120・122・132・134・188住, 溝5	4～5C	
126	B東	方形 N128E	427×411×12 (12.75)	被熱面 東壁南寄り	127住, 土257～259	未検討	
127	B東	方形? N20E	(386×262)×— —	不明	126住 128・130住, 土261	未検討	未掘。調査区域外へ続く
128	B東	方形 N69W	(329×355)×— —	不明	127・129住 130住	未検討	未掘
129	B東	方形? N21E	(335×417)×— —	不明		未検討	未掘。北東隅の礎はカマドの可能性
130	B東	不明 N63W	(248×(46)×— —	不明	127・128住	未検討	未掘
131	B東	方形? N68W	(284×(69)×— —	不明	129住	未検討	未掘
132	B東	方形 N103E	430×(370)×25 (12.70)	石組 東壁中央	125・133・134住, 土270 土260	未検討	
133	B東	方形 N81W	(226×(350)×23 6.69)	被熱面 西壁南寄り	135住 134住	2～3期	礎礎あり
134	B東	方形 N86W	(416×(335)×30 (11.31)	被熱面 西壁南寄り	125・133住 122・124・132・(188)住	1期以前	礎礎あり

第2表 竪穴住居址一覧(3/6)

No	地区	平面形態 主軸方位	主軸×副軸×深さ 棟面積 (㎡)	カマド形態 カマド位置	遺構重視(古)		出土土器の時期	備 考
					遺構重視(古)	遺構重視(新)		
135	B東	方形 N16E	531×494×41 (11.85)	未確認	133+140住, P274		7C	
136	B東	方形? N75W	□177×468×— —	不明 西壁南寄り	137+138住 140住		未検討	未掘 掘出面で被熱跡確認
137	B東	方形 N23E	□330×430×— —	— 北壁?	129+136住		未検討	未掘 北壁に煙道あり主軸とする
138	B東	方形 N64W	□338×279×— —	不明 西壁中央?	142住 136+139+140住, 土279		未検討	未掘 西壁に煙土あり主軸とする
139	B東	方形 N118E	□410×313×— —	石組 東壁南寄り	138+140+142住 141住, 土294		未検討	未掘 140住範囲内7月時にカマド確認
140	B東	方形 N72W	□338×425×37 (15.27)	被熱面 西壁中央	135+136+138住 139住, 土294, P273-275		7C	調査時に139住との切り合い確認
141	B東	方形 N80W	426×395×28 (16.05)	被熱面 北壁西寄り	139+142+143+149住 147住, P287		未検討	
142	B東	長方形? N23E	(524)×(425)×— —	不明	138+139+141+143+145住		未掘	
143	B東	方形 N20W	(365)×(298)×27 4.80	被熱面 西壁中央?	142+151住 141+149住		7C	148住の下層に被熱面あり西カマドか
144	B東	方形 N105E	(284)×(331)×25 2.50	石組? 東壁北寄り	147住 155住		未検討	
145	B東	方形? N83W	(162)×395×10 4.40	被熱面 北壁東寄り	142住		1期以前 1～3期	2時期あり、遺構所見からの時期判別は不能
146	穴蔵	方形	433×350×36	被熱面 西壁中央	141+148+149住 P268～270		6～7期	確実発見居
147	B東	方形 N75W	(13.88)	被熱面 西壁中央	149住		7C	煙道あり、カマドに煙を揺える
148	B東	方形 N71W	(231)×397×18 8.53	被熱面 西壁中央	147住		6～7期	
149	B東	方形 N20E	558×495×23 26.04	未確認	143+150+151住, 土273, P281		6～7期	
150	B東	方形? N15E	465×(193)×— —	不明	141+147住, P287 151+152住, 土278, P283		未掘	未掘
151	B東	方形? N73E	(296)×(75)×— —	不明	143+149+150+152住 154住		未掘	未掘
152	B東	不明 N17E	(543)×385×— —	不明	152住 □305×398×27, □245×375×28, 溝		未掘	未掘
153	B東	不明 N83W	(272)×250×— —	不明	152住 167住, 土277-285		未掘	未掘
154	B東	不明 N70W	433×(100)×— —	不明	157住 144+152+155住, P285		未掘	未掘
155	B東	方形 N18E	(315)×458×18 7.11	石組 北壁中央	144+154+157住 156住		8期	
156	B東	方形 N74W	503×(159)×20 6.81	未確認	155+158住		8～9期	
157	B東	方形? N22E	(272)×(163)×— —	不明	178住 154～156+158住, P298-299		未掘	未掘
158	B東	方形? N76W	(422)×(160)×— —	不明	157+178住 156+179住, 土286		未掘	未掘
159	B東	方形 N78W	428×520×25 8.35	石組 西壁中央?	土266 124住		未検討	カマドの被熱面2枚
160	穴蔵	方形	513×(474)×29 (17.56)	石組貼土? 西壁中央	土267-268 162住, 土265, P261		7C	煙道あり
161	B東	方形 N80W	475×(148)×27 6.32	未確認	161+163住		4～5期	南東側に礎集中
162	B東	方形 N77W	688×(224)×29 14.07	石組? 西壁南寄り	164住, 土274 162住, P280		7C	
163	B東	方形 N92W	420×420×29 (16.03)	未確認	152+166+167+235住 溝6		7C	北西に礎土
164	B東	方形 N80W	232×(180)×33 3.37	未確認	166+235住 165+167住		未検討	
165	B東	方形 N100W	210×(352)×26 5.90	方形 西壁中央	164+235住, P295		6C	
166	B東	方形? N69W	(485)×(430)×— —	不明	178住 164+166+177+185住, 土283		未検討	未掘, プラン不明確
167	B東	方形 N75W	457×(496)×43 (21.23)	石組 西壁中央	169+170+184住, 土283-291, P290 P292		1～2期	壁際5カ所に被熱面
168	B東	方形 N106E	472×(285)×— —	不明	173+184住 168+170～172+185住, 土284		未掘	未掘
169	B東	方形? N18E	228×136×— —	不明	169+173住 168住		未掘	未掘, 大型土坑か
170	B東	方形 N75W	326×(49)×— —	不明	169住 172住		未掘	未掘
171	B東	長方形 N10E	627×475×— —	不明	169+171～173+180+181+185住 176住		未掘	未掘
172	B東	不明 N18E	(319)×(120)×— —	不明	170～172+180住, 土282, P307		未掘	未掘
173	B東	不明 N18E	—	不明	—		未掘	未掘
174	穴蔵	不明	—	不明	—		未掘	未掘

第2表 竪六住居址一覧 (4/6)

No.	地区	平面形態 主軸方位	幅×直交軸×深さ(m) 床面積(㎡)	方マド形態 方マド位置	遺構重視(古) 遺構重視(新)	出土土器の時期	備 考
175	B東	方形? N83E	140×93×12 -	被熱面 東壁北寄り	96住 172・180・181住	未検討	
176	B東	方形 N82W	360×330×-	不明	172・180・181住	未測	未測
177	B東	方形? N80W	400×360×- -	不明	167・178・179・185住 172住, P297・300	未測	未測
178	B東	方形? N13E	380×286×- -	不明	157・158・167・177・179住	未測	未測
179	B東	方形? N75W	(595)×(164)×- -	不明	158・178・(181)住 172・177住, P200	未測	未測 検出面で東壁に出土
180	B東	方形? N102W	(190)×425×- -	不明	173・181・182住 172・176住	未測	未測 検出面で西壁に出土
181	B東	不明	244×140×- -	不明	172・178・179・180住	未測	未測
182	B東	方形? N12E	390×315×- -	不明	183住 180住	未測	未測 B西区へ続く
183	B東	方形? N16E	(135)×(70)×- -	不明	182住	未測	未測
184	B東	不明	270×95×- -	不明	107住, 土283 168・169・185住, 土284	未測	未測
185	B東	方形? N86W	(130)×(80)×- -	不明	167・169・184住 172・177住, 土284, P296	未測	未測
186	B東	方形? N96E	309×140×27 (311)	未確認	111・113・121住 108住	5C	
187	B東	方形 N96W	200×350×11 6.19	石組 西壁南寄り	104・107住 122住	4期 5～6C	2時期あり。後者は187住の混入品と推定
188	B東	不明	-×-×- -	石組	125住, 溝5	6～7期 5C, 7C	方マドのみの検出でプラン不明 3時期あり。5Cの一部は125住からの混入
189	欠番	不明	-×-×- -	被熱面	溝3	未検討	被熱面、P1・2のみ確認
190	A	不明	-×-×- -	石壁	11～13住	未検討	
191	C北	方形 N55W	200×413×13 7.79	被熱面 西壁南寄り	192・234住	7～8期	
192	C北	方形 N80W	429×387×21 10.12	石組 西壁中央	193・(234)住 191住	7期	瓦、輪軸出土
193	C北	方形? N89W	260×200×- -	不明	192住	未検討	
194	欠番	不明	-×-×- -	不明	197住	7C	
195	C北	方形? N25E	365×108×- -	不明	197住	7C	
196	欠番	不明	-×-×- -	不明	197住	7C	
197	C北	方形? N76W	(335)×(250)×- -	不明	195住, P310～313	未測	未測
198	C北	方形? N79W	510×(250)×- -	不明	195住, P310～313	未検討	一部のみ掘り下げ
199	欠番	不明	-×-×- -	不明			
200	欠番	不明	-×-×- -	不明			
201	欠番	不明	-×-×- -	不明			
202	欠番	不明	-×-×- -	不明			
203	欠番	不明	-×-×- -	不明			
204	C北	方形? N21W	(355)×(325)×- -	不明	205住 土310, P338・339・341・342	未測	未測
205	C北	不明	-×-×- -	不明	205・206・217住, 土303, P341・346	未測	未測
206	C北	長方形? N67W	503×340×- -	不明	207住, P320～323・329・344	未検討	
207	C北	方形 N74W	440×425×- -	不明	205・206・217住 土302・303・305・305, P222・324・329	未検討	
208	C北	方形 N17W	530×345×- -	不明	207住 209住, 土304	未検討	一部のみ掘り下げ
209	C北	長方形 N101E	314×420×47 9.97	石組? 東壁中央	208・210住, 土304 207・217住, 溝13	5期	方マド石抜き取り穴あり 土跡出土
210	C北	方形 N13E	497×440×38 -	不明	207・217住, 溝13 209住, 土304	未検討	一部のみ掘り下げ
211	欠番	不明	-×-×- -	不明			
212	C北	方形 N13E	(375)×(330)×- -	不明	213住 土314・324, P358・359	未検討	
213	C北	不明	(210)×(158)×- -	不明	214住 212・215・218住	未検討	
214	C北	不明	(225)×(215)× -	不明	213・215・216・218住, 土326・327	未検討	
215	C北	方形 N30E	400×396×27 8.30	未確認	204・205・213・214・217住 216住, 土313	1期	
216	C北	方形 N73W	478×482×30 19.59	石組粘土 西壁中央	213～215・217住, 土318 P364・365	7C	傍道あり
217	C北	長方形 N17E	400×300×- -	不明	205住 207・210住, 土315～318, 溝6～30	未検討	未測

第2表 竪穴住居址一覧 (5/6)

No	地区	平面形態		カマド形態	遺構重複(古)		出土土器の時期	備 考
		主軸方位	床面積 (㎡)		カマド位置	遺構重複(新)		
218	C北	方形 N75W	510×385×-	不明	212~214住 220F、130F-35F-38F、P30-F33		未検計	
219	欠番							
220	C北	圓丸方形? N14E	373×(197)×32 (6.00)	未確認	218住 土369、P389-390		7C	
221	C北	圓丸方形? N14E	345×(169)×41 (4.56)	焼熱面 東壁南寄り	土323、黒13		5期	
222	欠番							
223	欠番							
224	欠番							
225	欠番							
226	C南	方形 N100E	274×250×18 5.95	石組 東壁南寄り	黒13 土352、P386		8期	
227	欠番							
228	C南	方形 N3E	355×(321)×20 (10.65)	石組 北壁中央			5期	カマドが壁外に張り出す 中央に煙突壁
229	欠番							
230	欠番							
231	欠番							
232	欠番							
233	欠番							
234	C南	不明 N139W	-×-×11	焼熱面 南壁	191・192住		未検計	焼土のみ検出
235	B東	方形? N76W	65×(264)×32 (1.53)	不明 西壁中央?	163・166住 164住		未検計	焼熱地はないがカマド石らしきものあり 調査後の整理作業で遺構認定
236	B西	不明 N75W	(70.×251)×	焼熱面	41住		未検計	
237	B西	方形? N18E	446×(322)×	不明	78住 76・81・83住		未検計	

第2表 竪穴住居址一覧(6/6)

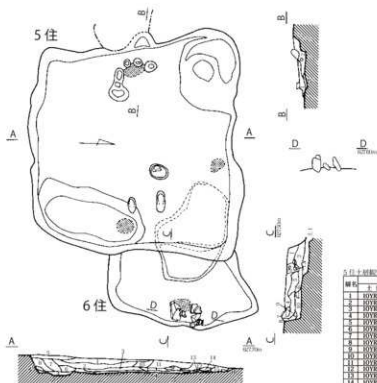
No	平面形 柱配り	主軸方向 面積(㎡)	規 模(cm)	柱間寸法(cm)	柱 穴			備 考
					平面形	規模(cm)	柱痕(cm)	
1	方形	N-12-E	2間×2間	桁行128~172	円形	径26~58	10~20	
	縦 柱	10.9㎡	364×280	梁間152~200		径46~88		
2	方形	N-29-E	2間×2間	桁行152~192	円形	径42~80	なし	
	側 柱	12.2㎡	364×332	梁間168~180		径46~69		
3	長方形	N-17-E	3間×2間以上	桁行228~256	円形	径50~80	不明	西側のみの検出
	側 柱	(22.2㎡)	584×228(440)	梁間188~200		径14~30		
4	長方形	N-19'-E	4間×2間以上	桁行300	円形	径44~74	不明	東側のみの検出
	側 柱	(20.9㎡)	688×300(540)	梁間152~200		径17~33		
5	長方形	N-3-E	5間以上×2間	桁行152~180				個別列の掲載なし
	側 柱	(26.2㎡)	644(796)×360	梁間148~180				
6	長方形	N-20-E	3間以上×1間	桁行292				個別列の掲載なし
	側 柱	(13.3㎡)	392(468)×292	梁間180~212				

第3表 掘立柱建物址一覧

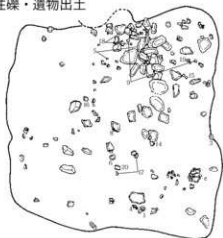
No.	区	地区	平面	名称	面积	用途	地上建物	備考	No.	区	地区	平面	名称	面积	用途	地上建物	備考	
1	A	内町	75	70	35				101	A	内町	51	50	27	住居			
2	A	内町	50	49	19				102	A	内町	62	57	21			形成部分	
3	B2	A	内町	56	57	57		住居、建2	103	A	内町	53	49	32			住居部分	
4	A	内町	82	43	20			形成工事	104	A	内町	65	36	30			住居100	
5	B2	A	内町	63	55	54		住居、建2	105	A	内町	63	58	33			住居100	
6	A	内町	90	80	41				106	A	内町	50	40	10			住居	
7	B2	A	内町	67	66	47		建2	107	A	内町	125	65	20			住居	
8	B2	A	内町	96	68	28	住居117		108	B2	A	内町	88	66	31			住居
9	A	内町	52	49	17				109	B2	A	内町	52	53	67			住居110
10	A	内町	90	45	23				110	A	内町	174	48	36			住居100	
11	A	内町	90	45	23				111	B2	A	内町	176	65	41			住居
12	A	内町	65	150	15				112	B2	A	内町	65	60	—			住居114-197
13	A	内町	49	43	20	住居14、新19			113	A	内町	70	61	68			住居	
14	A	内町	51	45	24	新13			114	B2	A	内町	60	55	45			住居
15	A	内町	96	67	54				115	B2	A	内町	67	50	19			住居
16	A	内町	50	45	45				116	B2	A	内町	69	55	40			住居
17	B	A	内町	70	55	28	住居36		117	B2	A	内町	75	41	37			住居18
18	B	A	内町	60	134	21			118	A	内町	—	—	—			住居	
19	A	内町	30	44	53				119	B2	A	内町	69	48	31			住居
20	A	内町	55	44	24				120	A	内町	52	50	20			住居	
21	A	内町	—	—	—				121	A	内町	—	—	—			形成部分	
22	A	内町	59	52	35				122	A	内町	78	71	26			住居21	
23	A	内町	59	52	17				123	B2	A	内町	69	60	14			住居14
24	A	内町	54	49	33				124	A	内町	49	49	23			住居	
25	B2	A	内町	63	60	26			125	B2	A	内町	67	50	42			住居14-18
26	A	内町	—	—	—				126	B2	A	内町	75	48	21			住居
27	B2	A	内町	65	62	26			127	A	内町	130	115	40			住居、建2、新100、140	
28	A	内町	—	—	—				128	B2	A	内町	180	175	48			住居、建2、新100、140、新100
29	B2	A	内町	55	45	32			129	A	内町	113	113	40			住居、建2、新100、140	
30	A	内町	56	45	30	住居1			130	A	内町	140	106	34			住居14-21	
31	B2	A	内町	78	68	40			131	A	内町	152	50	23			住居、建2	
32	B2	A	内町	85	80	42			132	B2	A	内町	65	56	9			住居
33	B2	A	内町	66	53	43			133	A	内町	—	—	—			住居	
34	A	内町	55	53	47				134	A	内町	—	—	—			形成部分	
35	B2	A	内町	75	70	58			135	A	内町	—	—	—			住居	
36	A	内町	75	72	—				136	A	内町	—	—	—			住居	
37	A	内町	61	42	—	住居3			137	A	内町	—	—	—			住居	
38	A	内町	62	52	19				138	A	内町	—	—	—			住居	
39	A	内町	79	75	7				139	A	内町	—	—	—			住居	
40	A	内町	—	—	—				140	B	内町	62	50	—			住居	
41	A	内町	149	91	32				141	B	内町	50	50	—			住居	
42	A	内町	88	39	11				142	F	内町	82	76	7			住居	
43	A	内町	123	73	25	新144			143	B	内町	56	53	11			住居	
44	A	内町	147	60	24	新143			144	B	内町	48	33	—			住居	
45	A	内町	118	71	33				145	B	内町	75	62	—			住居	
46	B	内町	111	73	19	住居42	219		146	B	内町	65	46	—			住居	
47	A	内町	45	37	14				147	B	内町	37	35	11			住居	
48	A	内町	73	100	—	住居54-1、54-2			148	B	内町	80	36	—			住居	
49	B2	A	内町	57	48	21	住居3		149	B	内町	51	49	—			住居	
50	B2	A	内町	48	43	23	住居3		150	B	内町	52	50	—			住居	
51	A	内町	69	62	25	住居3			151	F	内町	88	73	21			住居	
52	A	内町	55	41	—	住居3			152	A	内町	—	—	—			住居	
53	B2	A	内町	62	59	25	住居3		153	B	内町	62	51	—			住居	
54	B2	A	内町	66	65	34	住居3		154	B	内町	57	48	—			住居	
55	A	内町	63	45	15	住居3			155	B	内町	55	46	—			住居	
56	A	内町	53	46	17	住居3			156	B	内町	47	42	—			住居	
57	A	内町	64	59	29	住居3			157	B	内町	43	42	—			住居	
58	A	内町	69	56	16	住居3			158	B	内町	52	46	—			住居	
59	A	内町	58	48	18	住居3			159	B	内町	51	42	—			住居	
60	A	内町	57	51	28	住居3			160	B	内町	38	38	7			住居	
61	A	内町	65	53	16	住居3			161	B	内町	59	54	—			住居	
62	A	内町	89	146	61	住居3			162	B	内町	51	49	—			住居	
63	A	内町	82	71	30				163	B	内町	48	47	15			住居	
64	A	内町	77	74	26				164	B	内町	80	76	—			住居	
65	A	内町	83	70	28				165	A	内町	—	—	—			住居	
66	B	A	内町	94	65	11	住居30-1、30-2	220~222		166	B	内町	50	44	—			住居
67	A	内町	88	35	13	住居3			167	B	内町	60	53	—			住居	
68	A	内町	72	62	19	住居3	223		168	B	内町	49	34	—			住居	
69	B	A	内町	50	46	14	住居30-1、30-2		169	B	内町	87	50	—			住居	
70	A	内町	63	56	18	住居3			170	B	内町	52	48	18			住居14	
71	A	内町	64	53	25				171	A	内町	—	—	—			住居	
72	A	内町	56	50	25				172	A	内町	—	—	—			住居	
73	A	内町	55	48	32				173	B	内町	63	30	—			住居	
74	A	内町	55	46	41				174	B	内町	58	74	—			住居	
75	A	内町	69	53	12				175	A	内町	—	—	—			住居	
76	A	内町	51	48	30	住居21			176	B	内町	86	83	—			住居	
77	A	内町	54	53	40	住居27			177	B	内町	60	45	—			住居	
78	A	内町	68	59	18	住居27			178	B	内町	41	40	12			住居	
79	A	内町	79	70	25				179	B	内町	67	65	—			住居、建2	
80	B	内町	56	56	7				180	B	内町	103	97	—			住居	
81	A	内町	49	44	17				181	B	内町	40	30	—			住居、建2	
82	B2	A	内町	75	52	21	住居16-1、16-2		182	B	内町	65	25	—			住居	
83	A	内町	61	54	29	住居27			183	B	内町	52	18	—			住居	
84	A	内町	63	34	19	住居16-1、16-2			184	B	内町	67	66	—			住居	
85	B2	A	内町	59	55	14	住居16		185	B	内町	56	65	—			住居、建2、新100、140	
86	B2	A	内町	55	50	51	住居18		186	B	内町	127	117	12			住居、建2、新100、140	
87	B2	A	内町	40	34	10	住居18		187	B	内町	213	147	—			住居、建2	
88	B2	A	内町	61	45	15	住居27		188	A	内町	—	—	—			住居	
89	B2	A	内町	77	68	49			189	B	内町	—	—	—			住居	
90	B2	A	内町	65	60	24	住居27		190	A	内町	—	—	—			住居	
91	A	内町	—	—	—				191	B	内町	159	149	25			住居	
92	B2	A	内町	72	65	26			192	B	内町	68	67	—			住居	
93	B2	A	内町	70	65	39			193	B	内町	58	45	—			住居	
94	A	内町	57	53	21				194	F	内町	98	125	51			住居、建2	
95	A	内町	83	71	29	住居1			195	B	内町	55	45	10			住居、建2	
96	A	内町	55	45	20	住居27			196	B	内町	37	37	—			住居	
97	B2	A	内町	62	24	14	住居134-1、134-2		197	B	内町	62	75	—			住居、建2、新100、140	
98	A	内町	—	—	—				198	B	内町	170	—	12			住居、建2、新100、140	
99	A	内町	77	65	12	住居27			199	B	内町	181	66	—			住居、建2、新100、140	
100	A	内町	37	47	17	住居27			200	B	内町	161	—	31			住居、建2、新100、140	

第4表 土坑一覧(1/2)

№	區	地址	平面形	名稱	用途	竣工	新用途	出土地	備考	№	區	地址	平面形	名稱	用途	竣工	新用途	出土地	備考	
201	15	台東	內側	111	331	—	—	—	—	301	C.北	西門路	370	71	—	—	—	—	—	
202	15	台東	北門路	60	49	—	—	—	—	302	C.北	西門路	84	74	—	—	—	—	—	
203	15	台東	內側	55	50	—	—	—	—	303	C.北	西門路	54	21	—	—	—	—	—	
204	15	台東	北門路	40	82	—	—	—	—	304	C.北	西門路	230	293	—	—	—	—	—	
205	15	台東	北門路	37	45	—	—	—	—	305	C.北	西門路	50	50	—	—	—	—	—	
206	15	台東	北門路	67	57	—	—	—	—	306	C.北	西門路	100	55	—	—	—	—	—	
207	15	台東	北門路	87	59	—	—	—	—	307	C.北	西門路	50	45	—	—	—	—	—	
208	15	台東	北門路	73	65	—	—	—	—	308	C.北	西門路	48	50	—	—	—	—	—	
209	15	台東	北門路	60	51	—	—	—	—	309	C.北	西門路	55	40	—	—	—	—	—	
210	15	台東	北門路	66	54	—	—	—	—	310	C.北	西門路	55	53	—	—	—	—	—	
211	15	台東	內側	57	50	—	—	—	—	311	C.北	西門路	70	63	—	—	—	—	—	
212	15	台東	內側	49	48	—	—	—	—	312	C.北	西門路	53	45	—	—	—	—	—	
213	15	台東	內側	68	61	—	—	—	—	313	20	C.北	西門路	80	50	—	—	—	—	
214	15	台東	內側	51	47	—	—	—	—	314	C.北	西門路	70	60	—	—	—	—	—	
215	14	台東	北門路	53	37	—	—	—	—	315	C.北	西門路	73	62	—	—	—	—	—	
216	15	台東	內側	51	48	—	—	—	—	316	C.北	西門路	100	87	—	—	—	—	—	
217	15	台東	內側	44	39	—	—	—	—	317	C.北	西門路	68	50	—	—	—	—	—	
218	15	台東	北門路	75	51	—	—	—	—	318	C.北	西門路	55	87	—	—	—	—	—	
219	15	台東	北門路	55	46	—	—	—	—	319	C.北	西門路	60	50	—	—	—	—	—	
220	15	台東	北門路	38	59	—	—	—	—	320	C.北	西門路	100	96	—	—	—	—	—	
221	15	台東	北門路	74	57	—	—	—	—	321	C.北	西門路	70	58	—	—	—	—	—	
222	15	台東	內側	75	68	—	—	—	—	322	C.北	西門路	58	50	—	—	—	—	—	
223	15	台東	內側	50	47	—	—	—	—	323	C.北	西門路	140	90	—	—	—	—	—	
224	15	台東	內側	55	52	—	—	—	—	324	C.北	西門路	78	90	—	—	—	—	—	
225	15	台東	北門路	60	49	—	—	—	—	325	C.北	西門路	130	70	—	—	—	—	—	
226	15	台東	北門路	59	52	—	—	—	—	326	C.北	西門路	75	60	—	—	—	—	—	
227	15	台東	內側	61	60	—	—	—	—	327	C.北	西門路	73	53	—	—	—	—	—	
228	15	台東	北門路	71	54	—	—	—	—	328	C.北	西門路	55	44	—	—	—	—	—	
229	15	台東	北門路	48	52	—	—	—	—	329	C.北	西門路	50	59	—	—	—	—	—	
230	15	台東	北門路	54	37	—	—	—	—	330	C.北	西門路	75	55	—	—	—	—	—	
231	13	台東	內側	55	48	—	—	—	—	331	C.北	西門路	125	70	—	—	—	—	—	
232	15	台東	北門路	63	49	—	—	—	—	332	C.北	西門路	205	205	—	—	—	—	—	
233	15	台東	內側	52	51	—	—	—	—	333	C.北	西門路	63	55	—	—	—	—	—	
234	15	台東	內側	—	—	—	—	—	—	334	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
235	15	台東	內側	69	50	—	—	—	—	335	C.南	西門路	115	105	—	—	—	—	—	
236	15	台東	北門路	69	50	—	—	—	—	336	C.南	西門路	75	55	—	—	—	—	—	
237	15	台東	內側	50	48	—	—	—	—	337	C.南	西門路	90	60	—	—	—	—	—	
238	15	台東	內側	50	48	—	—	—	—	338	C.南	西門路	90	60	—	—	—	—	—	
239	15	台東	內側	46	45	—	—	—	—	339	C.南	西門路	65	55	—	—	—	—	—	
240	15	台東	內側	51	46	—	—	—	—	340	C.南	西門路	60	50	—	—	—	—	—	
241	15	台東	內側	—	—	—	—	—	—	341	C.南	西門路	120	118	—	—	—	—	—	
242	15	台東	北門路	60	45	—	—	—	—	342	C.南	西門路	75	50	—	—	—	—	—	
243	15	台東	內側	52	49	—	—	—	—	343	C.南	西門路	80	50	—	—	—	—	—	
244	15	台東	北門路	136	79	—	—	—	—	344	C.南	西門路	68	58	—	—	—	—	—	
245	15	台東	北門路	36	51	—	—	—	—	345	C.南	西門路	43	43	—	—	—	—	—	
246	15	台東	北門路	70	55	—	—	—	—	346	C.南	西門路	75	63	—	—	—	—	—	
247	15	台東	內側	—	—	—	—	—	—	347	C.南	西門路	50	48	—	—	—	—	—	
248	15	台東	內側	—	—	—	—	—	—	348	C.南	西門路	71	61	—	—	—	—	—	
249	15	台東	內側	—	—	—	—	—	—	349	C.南	西門路	99	80	—	—	—	—	—	
250	15	台東	內側	56	50	—	—	—	—	350	C.南	西門路	55	51	—	—	—	—	—	
251	15	台東	北門路	67	46	—	—	—	—	351	C.南	西門路	82	56	—	—	—	—	—	
252	15	台東	北門路	70	58	—	—	—	—	352	20	C.南	西門路	100	82	—	—	—	—	—
253	15	台東	北門路	80	52	—	—	—	—	353	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
254	15	台東	內側	—	—	—	—	—	—	354	C.南	西門路	60	55	—	—	—	—	—	
255	15	台東	內側	72	65	—	—	—	—	355	C.南	西門路	100	70	—	—	—	—	—	
256	15	台東	內側	68	65	—	—	—	—	356	C.南	西門路	130	85	—	—	—	—	—	
257	15	台東	北門路	101	81	—	—	—	—	357	C.南	西門路	75	70	—	—	—	—	—	
258	15	台東	北門路	65	54	—	—	—	—	358	C.南	西門路	75	50	—	—	—	—	—	
259	15	台東	北門路	55	48	—	—	—	—	359	C.南	西門路	77	70	—	—	—	—	—	
260	15	台東	北門路	157	88	—	—	—	—	360	C.南	西門路	83	70	—	—	—	—	—	
261	15	台東	北門路	55	51	—	—	—	—	361	C.南	西門路	105	76	—	—	—	—	—	
262	15	台東	北門路	82	43	—	—	—	—	362	39	C.南	西門路	117	—	—	—	—	—	
263	15	台東	內側	94	55	—	—	—	—	363	C.南	西門路	130	83	—	—	—	—	—	
264	15	台東	內側	—	—	—	—	—	—	364	19	C.南	西門路	71	58	—	—	—	—	—
265	18	台東	北門路	104	78	—	—	—	—	365	C.南	西門路	130	58	—	—	—	—	—	
266	15	台東	北門路	53	51	—	—	—	—	366	C.南	西門路	147	45	—	—	—	—	—	
267	15	台東	北門路	123	38	—	—	—	—	367	C.南	西門路	77	60	—	—	—	—	—	
268	15	台東	內側	45	42	—	—	—	—	368	C.南	西門路	—	—	—	—	—	—	—	
269	15	台東	內側	—	—	—	—	—	—	369	39	C.南	西門路	60	50	—	—	—	—	—
270	15	台東	北門路	40	60	—	—	—	—	370	C.南	西門路	—	—	—	—	—	—	—	
271	15	台東	北門路	75	39	—	—	—	—	371	C.南	西門路	81	63	—	—	—	—	—	
272	15	台東	北門路	115	49	—	—	—	—	372	B.南	西門路	54	45	—	—	—	—	—	
273	15	台東	北門路	51	144	—	—	—	—	373	B.南	西門路	137	52	—	—	—	—	—	
274	15	台東	北門路	77	15	—	—	—	—	374	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
275	15	台東	北門路	86	65	—	—	—	—	375	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
276	15	台東	北門路	165	113	—	—	—	—	376	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
277	15	台東	北門路	100	89	—	—	—	—	377	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
278	15	台東	北門路	93	60	—	—	—	—	378	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
279	15	台東	北門路	56	49	—	—	—	—	379	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
280	15	台東	北門路	40	34	—	—	—	—	380	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
281	15	台東	內側	—	—	—	—	—	—	381	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
282	15	台東	北門路	60	51	—	—	—	—	382	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
283	15	台東	北門路	151	119	—	—	—	—	383	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
284	15	台東	北門路	73	71	—	—	—	—	384	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
285	15	台東	北門路	61	51	—	—	—	—	385	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
286	15	台東	北門路	57	23	—	—	—	—	386	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
287	15	台東	北門路	77	58	—	—	—	—	387	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
288	15	台東	北門路	76	54	—	—	—	—	388	3	西側	—	—	—	—	—	—	—	
289	15																			



5住礎・遺物出土



5住土器調査表 (Aライン)

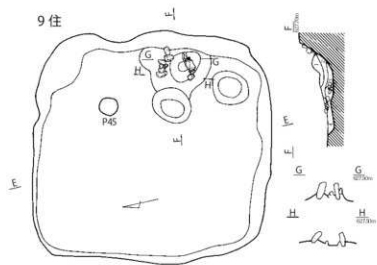
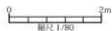
層別	土色	陶器形状・編り	礎土	出土物	種	属名	数量	土	備考
1	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
2	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
3	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
4	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
5	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
6	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
7	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
8	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
9	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
10	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
11	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
12	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
13	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
14	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
15	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
16	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ

5住カマド土器調査表 (Bライン)

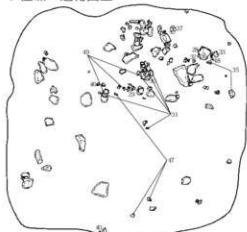
層別	土色	陶器形状・編り	礎土	出土物	種	属名	数量	土	備考
1	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
2	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
3	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ

6住土器調査表 (Cライン)

層別	土色	陶器形状・編り	礎土	出土物	種	属名	数量	土	備考
1	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
2	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
3	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
4	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
5	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
6	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
7	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
8	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
9	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
10	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ



9住礎・遺物出土



9住土器調査表 (Fライン)

層別	土色	陶器形状・編り	礎土	出土物	種	属名	数量	土	備考
1	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
2	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
3	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
4	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
5	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
6	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
7	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
8	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
9	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
10	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
11	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
12	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
13	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
14	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
15	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
16	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ

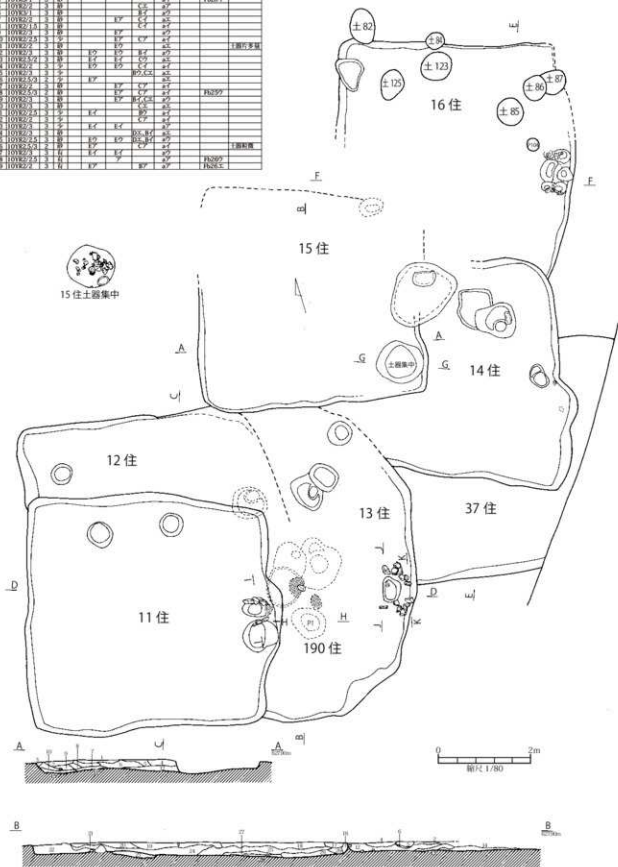
9住カマド土器調査表 (Fライン)

層別	土色	陶器形状・編り	礎土	出土物	種	属名	数量	土	備考
1	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
2	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
3	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ
4	10YR2/2	3 中				灰イ	灰イ		灰イ

第5図 遺構実測図(1)

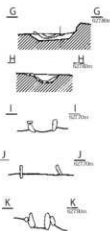
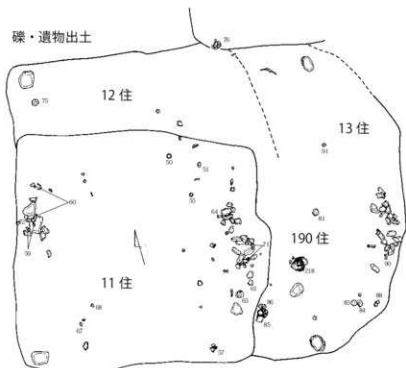
3・15住土器調査表 (A-ライン)

順	土色	土質	形状	高さ	直径	厚さ	備考
1	10782.2	3	80		1.4	2.0	H2097
2	10782.2	3	80		1.7	2.0	H2097
3	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
4	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
5	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
6	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
7	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
8	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
9	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
10	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
11	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
12	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
13	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
14	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
15	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
16	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
17	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
18	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
19	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
20	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
21	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
22	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
23	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
24	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
25	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
26	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
27	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
28	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
29	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
30	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
31	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
32	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
33	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
34	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
35	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
36	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
37	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
38	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
39	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
40	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
41	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
42	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
43	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
44	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
45	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
46	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
47	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
48	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
49	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
50	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
51	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
52	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
53	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
54	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
55	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
56	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
57	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
58	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
59	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
60	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
61	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
62	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
63	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
64	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
65	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
66	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
67	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
68	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
69	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
70	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
71	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
72	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
73	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
74	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
75	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
76	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
77	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
78	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
79	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
80	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
81	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
82	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
83	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
84	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
85	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
86	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
87	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
88	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
89	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
90	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
91	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
92	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
93	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
94	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
95	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
96	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
97	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
98	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
99	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097
100	10782.2	3	80		1.4	1.4	H2097



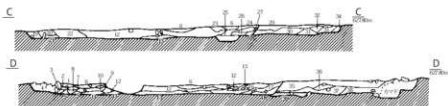
第6図 遺構実測図(2)

礎・遺物出土



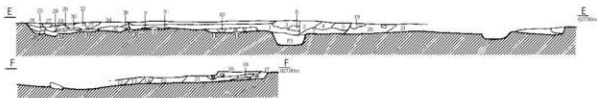
15住土層断面表 (G・Dライン)

層別	層名	層厚	層位	層高	層底	層厚	層位	層高	層底
1	表土	0.10	100.00	100.10	100.00	0.10	100.00	100.10	100.00
2	黒土	0.15	99.85	99.95	99.85	0.15	99.85	99.95	99.85
3	黄砂	0.20	99.70	99.80	99.70	0.20	99.70	99.80	99.70
4	赤土	0.10	99.60	99.70	99.60	0.10	99.60	99.70	99.60
5	黄砂	0.15	99.45	99.55	99.45	0.15	99.45	99.55	99.45
6	赤土	0.10	99.35	99.45	99.35	0.10	99.35	99.45	99.35
7	黄砂	0.15	99.20	99.30	99.20	0.15	99.20	99.30	99.20
8	赤土	0.10	99.10	99.20	99.10	0.10	99.10	99.20	99.10
9	黄砂	0.15	98.95	99.05	98.95	0.15	98.95	99.05	98.95
10	赤土	0.10	98.85	98.95	98.85	0.10	98.85	98.95	98.85
11	黄砂	0.15	98.70	98.80	98.70	0.15	98.70	98.80	98.70
12	赤土	0.10	98.60	98.70	98.60	0.10	98.60	98.70	98.60
13	黄砂	0.15	98.45	98.55	98.45	0.15	98.45	98.55	98.45
14	赤土	0.10	98.35	98.45	98.35	0.10	98.35	98.45	98.35
15	黄砂	0.15	98.20	98.30	98.20	0.15	98.20	98.30	98.20
16	赤土	0.10	98.10	98.20	98.10	0.10	98.10	98.20	98.10
17	黄砂	0.15	97.95	98.05	97.95	0.15	97.95	98.05	97.95
18	赤土	0.10	97.85	97.95	97.85	0.10	97.85	97.95	97.85
19	黄砂	0.15	97.70	97.80	97.70	0.15	97.70	97.80	97.70
20	赤土	0.10	97.60	97.70	97.60	0.10	97.60	97.70	97.60



11・12・13住土層断面表 (C・Dライン)

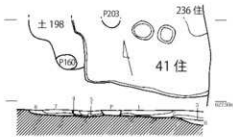
層別	土層	土層名	土層厚	土層位	土層高	土層底	土層厚	土層位	土層高	土層底
1	表土	0.10	100.00	100.10	100.00	0.10	100.00	100.10	100.00	100.00
2	黒土	0.15	99.85	99.95	99.85	0.15	99.85	99.95	99.85	99.85
3	黄砂	0.20	99.70	99.80	99.70	0.20	99.70	99.80	99.70	99.70
4	赤土	0.10	99.60	99.70	99.60	0.10	99.60	99.70	99.60	99.60
5	黄砂	0.15	99.45	99.55	99.45	0.15	99.45	99.55	99.45	99.45
6	赤土	0.10	99.35	99.45	99.35	0.10	99.35	99.45	99.35	99.35
7	黄砂	0.15	99.20	99.30	99.20	0.15	99.20	99.30	99.20	99.20
8	赤土	0.10	99.10	99.20	99.10	0.10	99.10	99.20	99.10	99.10
9	黄砂	0.15	98.95	99.05	98.95	0.15	98.95	99.05	98.95	98.95
10	赤土	0.10	98.85	98.95	98.85	0.10	98.85	98.95	98.85	98.85
11	黄砂	0.15	98.70	98.80	98.70	0.15	98.70	98.80	98.70	98.70
12	赤土	0.10	98.60	98.70	98.60	0.10	98.60	98.70	98.60	98.60
13	黄砂	0.15	98.45	98.55	98.45	0.15	98.45	98.55	98.45	98.45
14	赤土	0.10	98.35	98.45	98.35	0.10	98.35	98.45	98.35	98.35
15	黄砂	0.15	98.20	98.30	98.20	0.15	98.20	98.30	98.20	98.20
16	赤土	0.10	98.10	98.20	98.10	0.10	98.10	98.20	98.10	98.10
17	黄砂	0.15	97.95	98.05	97.95	0.15	97.95	98.05	97.95	97.95
18	赤土	0.10	97.85	97.95	97.85	0.10	97.85	97.95	97.85	97.85
19	黄砂	0.15	97.70	97.80	97.70	0.15	97.70	97.80	97.70	97.70
20	赤土	0.10	97.60	97.70	97.60	0.10	97.60	97.70	97.60	97.60



14・15・16住土層断面表 (E・Fライン)

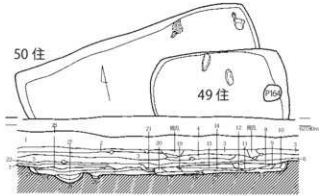
層別	土層	土層名	土層厚	土層位	土層高	土層底	土層厚	土層位	土層高	土層底
1	表土	0.10	100.00	100.10	100.00	0.10	100.00	100.10	100.00	100.00
2	黒土	0.15	99.85	99.95	99.85	0.15	99.85	99.95	99.85	99.85
3	黄砂	0.20	99.70	99.80	99.70	0.20	99.70	99.80	99.70	99.70
4	赤土	0.10	99.60	99.70	99.60	0.10	99.60	99.70	99.60	99.60
5	黄砂	0.15	99.45	99.55	99.45	0.15	99.45	99.55	99.45	99.45
6	赤土	0.10	99.35	99.45	99.35	0.10	99.35	99.45	99.35	99.35
7	黄砂	0.15	99.20	99.30	99.20	0.15	99.20	99.30	99.20	99.20
8	赤土	0.10	99.10	99.20	99.10	0.10	99.10	99.20	99.10	99.10
9	黄砂	0.15	98.95	99.05	98.95	0.15	98.95	99.05	98.95	98.95
10	赤土	0.10	98.85	98.95	98.85	0.10	98.85	98.95	98.85	98.85
11	黄砂	0.15	98.70	98.80	98.70	0.15	98.70	98.80	98.70	98.70
12	赤土	0.10	98.60	98.70	98.60	0.10	98.60	98.70	98.60	98.60
13	黄砂	0.15	98.45	98.55	98.45	0.15	98.45	98.55	98.45	98.45
14	赤土	0.10	98.35	98.45	98.35	0.10	98.35	98.45	98.35	98.35
15	黄砂	0.15	98.20	98.30	98.20	0.15	98.20	98.30	98.20	98.20
16	赤土	0.10	98.10	98.20	98.10	0.10	98.10	98.20	98.10	98.10
17	黄砂	0.15	97.95	98.05	97.95	0.15	97.95	98.05	97.95	97.95
18	赤土	0.10	97.85	97.95	97.85	0.10	97.85	97.95	97.85	97.85
19	黄砂	0.15	97.70	97.80	97.70	0.15	97.70	97.80	97.70	97.70
20	赤土	0.10	97.60	97.70	97.60	0.10	97.60	97.70	97.60	97.60

第7図 遺構実測図(3)



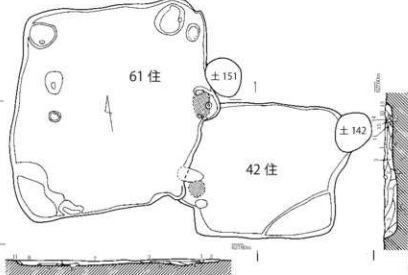
41住土断絶景表

階	主 上 部	材	間	筋	幅	筋	材	間	筋	層	土	断 絶
1	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
2	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
3	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
4	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
5	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
6	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002



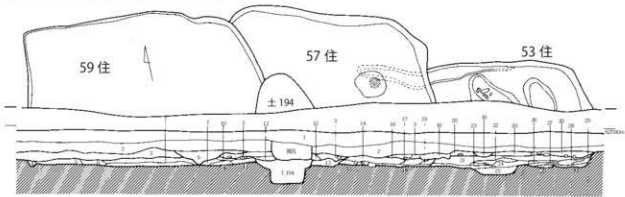
49・50住土断絶景表

階	主 上 部	材	間	筋	幅	筋	材	間	筋	層	土	断 絶
1	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
2	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
3	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
4	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
5	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
6	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002



61住土断絶景表

階	主 上 部	材	間	筋	幅	筋	材	間	筋	層	土	断 絶
1	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
2	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
3	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
4	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
5	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
6	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002

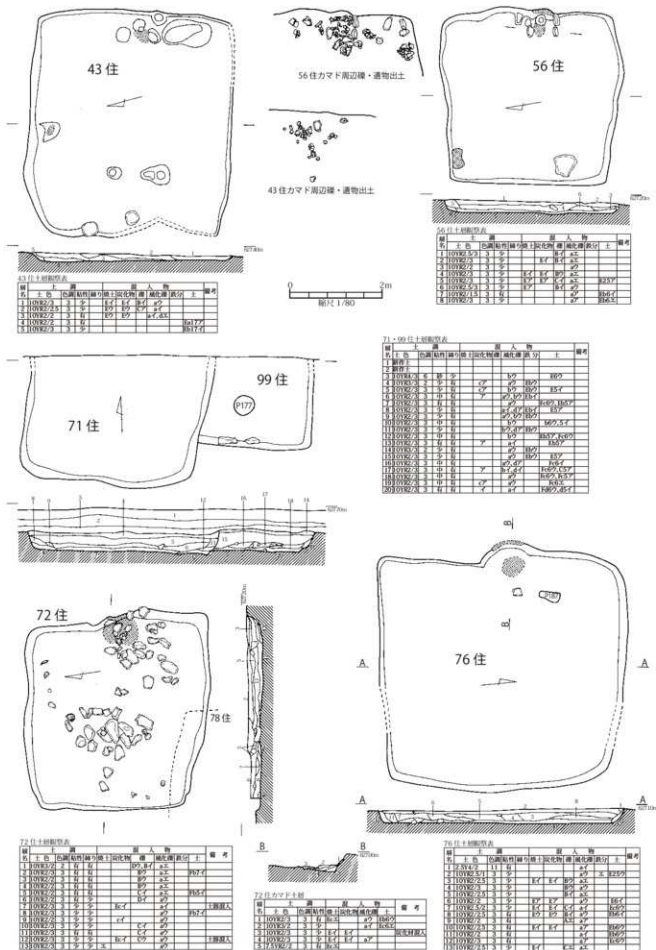


53・57・59住土断絶景表

階	主 上 部	材	間	筋	幅	筋	材	間	筋	層	土	断 絶
1	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
2	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
3	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
4	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
5	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002
6	1100923	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1002



第11図 遺構実測図(7)



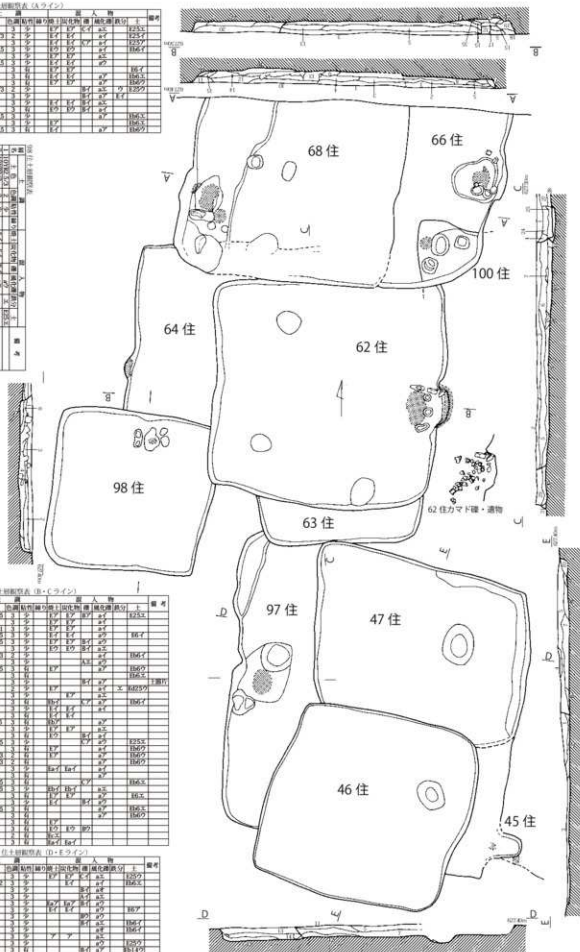
第12図 遺構実測図(8)

68・66住十壁断面表 (Aライン)										
階	土色	位置	発見時期	出土物	層位	備考				
1	黄褐色	上	FV	FV	外		柱石			
2	黄褐色	中	FV	FV	外					
3	黄褐色	下	FV	FV	外					
4	黄褐色	上	FV	FV	外					
5	黄褐色	中	FV	FV	外					
6	黄褐色	下	FV	FV	外					
7	黄褐色	上	FV	FV	外					
8	黄褐色	中	FV	FV	外					
9	黄褐色	下	FV	FV	外					
10	黄褐色	上	FV	FV	外					
11	黄褐色	中	FV	FV	外					
12	黄褐色	下	FV	FV	外					
13	黄褐色	上	FV	FV	外					
14	黄褐色	中	FV	FV	外					
15	黄褐色	下	FV	FV	外					

62・64住十壁断面表 (B・Cライン)										
階	土色	位置	発見時期	出土物	層位	備考				
1	黄褐色	上	FV	FV	外					
2	黄褐色	中	FV	FV	外					
3	黄褐色	下	FV	FV	外					
4	黄褐色	上	FV	FV	外					
5	黄褐色	中	FV	FV	外					
6	黄褐色	下	FV	FV	外					
7	黄褐色	上	FV	FV	外					
8	黄褐色	中	FV	FV	外					
9	黄褐色	下	FV	FV	外					
10	黄褐色	上	FV	FV	外					
11	黄褐色	中	FV	FV	外					
12	黄褐色	下	FV	FV	外					
13	黄褐色	上	FV	FV	外					
14	黄褐色	中	FV	FV	外					
15	黄褐色	下	FV	FV	外					

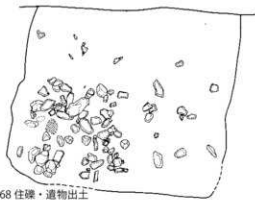
62・64住十壁断面表 (B・Cライン)										
階	土色	位置	発見時期	出土物	層位	備考				
1	黄褐色	上	FV	FV	外		柱石			
2	黄褐色	中	FV	FV	外					
3	黄褐色	下	FV	FV	外					
4	黄褐色	上	FV	FV	外					
5	黄褐色	中	FV	FV	外					
6	黄褐色	下	FV	FV	外					
7	黄褐色	上	FV	FV	外					
8	黄褐色	中	FV	FV	外					
9	黄褐色	下	FV	FV	外					
10	黄褐色	上	FV	FV	外					
11	黄褐色	中	FV	FV	外					
12	黄褐色	下	FV	FV	外					
13	黄褐色	上	FV	FV	外					
14	黄褐色	中	FV	FV	外					
15	黄褐色	下	FV	FV	外					

46・47・97住十壁断面表 (D・Eライン)										
階	土色	位置	発見時期	出土物	層位	備考				
1	黄褐色	上	FV	FV	外		柱石			
2	黄褐色	中	FV	FV	外					
3	黄褐色	下	FV	FV	外					
4	黄褐色	上	FV	FV	外					
5	黄褐色	中	FV	FV	外					
6	黄褐色	下	FV	FV	外					
7	黄褐色	上	FV	FV	外					
8	黄褐色	中	FV	FV	外					
9	黄褐色	下	FV	FV	外					
10	黄褐色	上	FV	FV	外					
11	黄褐色	中	FV	FV	外					
12	黄褐色	下	FV	FV	外					
13	黄褐色	上	FV	FV	外					
14	黄褐色	中	FV	FV	外					
15	黄褐色	下	FV	FV	外					

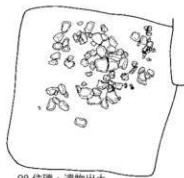


第13図 遺構実測図(9)

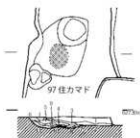
0 2m
縮尺 1/80



68 住壊・遺物出土

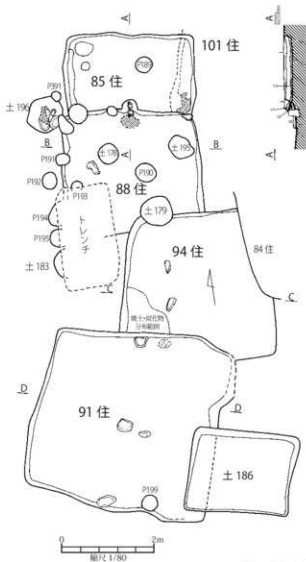


98 住壊・遺物出土



97住カマド土器

編	土器	区画	発掘層	出土	図号	人物	焼成	形状	備考
1100K20	3	住	II	土	3	10	土	丸底鉢	
1100K21	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K24	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K25	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K26	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K27	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K28	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K29	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1110K23	3	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	



85住土器表(Aライン)

編	土器	区画	発掘層	出土	図号	人物	焼成	形状	備考
1100K20	3	住	II	土	3	10	土	丸底鉢	
1100K21	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K24	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K25	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K26	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K27	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K28	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K29	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1110K23	3	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	



88住土器表(Bライン)

編	土器	区画	発掘層	出土	図号	人物	焼成	形状	備考
1100K20	3	住	II	土	3	10	土	丸底鉢	
1100K21	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K24	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K25	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K26	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K27	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K28	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K29	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1110K23	3	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	



91住土器表(Cライン)

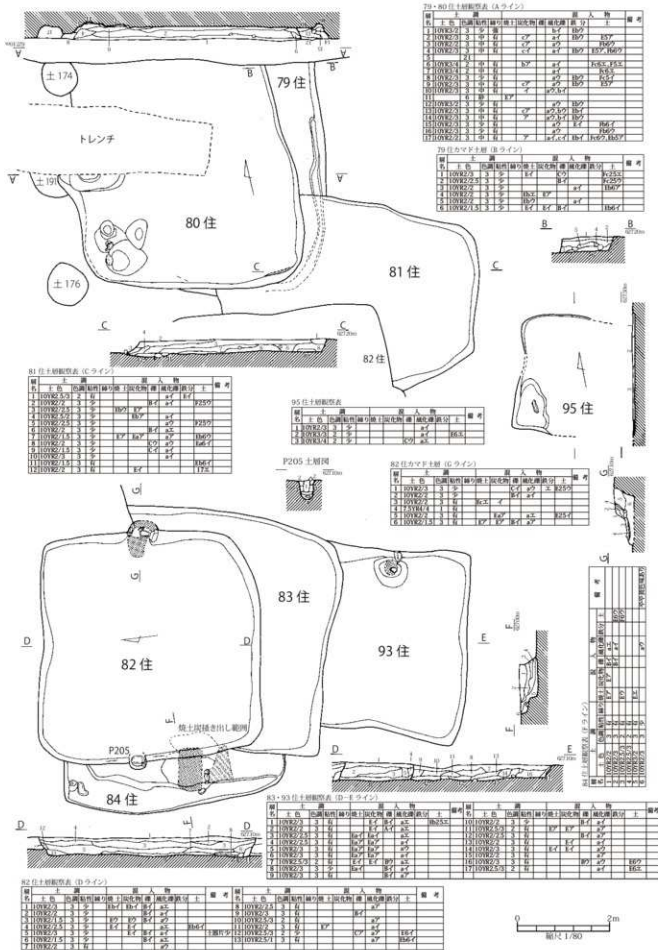
編	土器	区画	発掘層	出土	図号	人物	焼成	形状	備考
1100K20	3	住	II	土	3	10	土	丸底鉢	
1100K21	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K24	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K25	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K26	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K27	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K28	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K29	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1110K23	3	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	



91住土器表(Dライン)

編	土器	区画	発掘層	出土	図号	人物	焼成	形状	備考
1100K20	3	住	II	土	3	10	土	丸底鉢	
1100K21	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	
1100K24	2	住	IV	土	4	10	土	丸底鉢	

第14図 遺構実測図(10)



79・80住土壁断面表 (Aライン)

層	土色	土質	断面	層厚	1mあたり	層底	層高	層位	備考
1	10B0K2	3	少	薄	イ	イ	イ	100	
2	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
3	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
4	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
5	10B0K3	3	少	薄	イ	イ	イ	100	
6	10B0K3	3	少	薄	イ	イ	イ	100	
7	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
8	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
9	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
10	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
11	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
12	10B0K3	3	少	薄	イ	イ	イ	100	
13	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
14	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
15	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
16	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
17	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
18	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	

79住カマド土壁 (Bライン)

層	土色	土質	断面	層厚	1mあたり	層底	層高	層位	備考
1	10B0K2	3	少	薄	イ	イ	イ	100	
2	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
3	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
4	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
5	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
6	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	

81住土壁断面表 (Cライン)

層	土色	土質	断面	層厚	1mあたり	層底	層高	層位	備考
1	10B0K2	3	少	薄	イ	イ	イ	100	
2	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
3	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
4	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
5	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
6	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
7	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
8	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
9	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
10	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
11	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
12	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	

95住土壁断面表

層	土色	土質	断面	層厚	1mあたり	層底	層高	層位	備考
1	10B0K2	3	少	薄	イ	イ	イ	100	
2	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
3	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
4	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	

82住カマド土壁 (Eライン)

層	土色	土質	断面	層厚	1mあたり	層底	層高	層位	備考
1	10B0K2	3	少	薄	イ	イ	イ	100	
2	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
3	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
4	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
5	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
6	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	

P205土壁断面



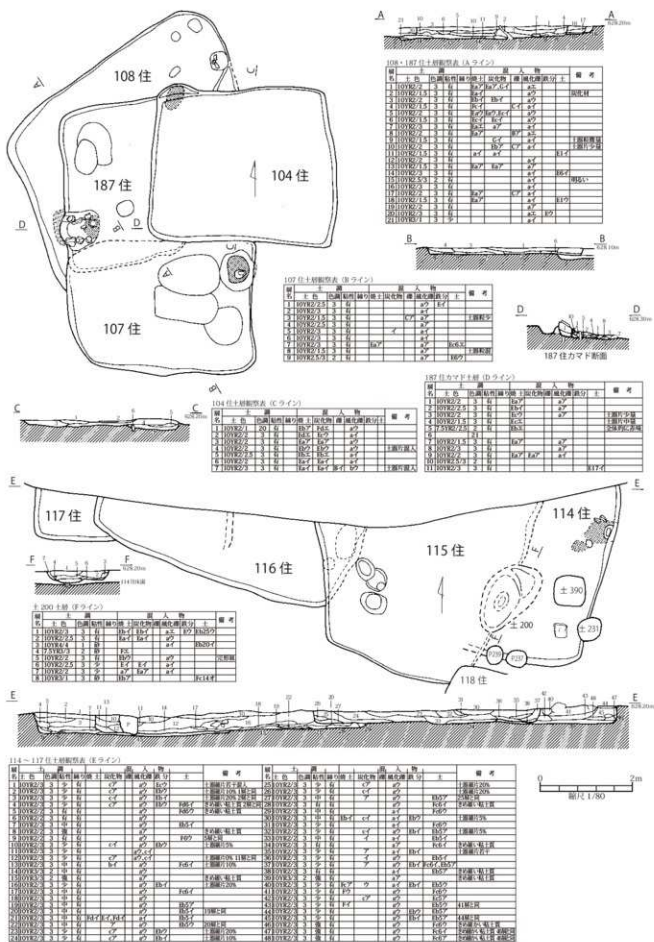
83・93住土壁断面表 (D-Eライン)

層	土色	土質	断面	層厚	1mあたり	層底	層高	層位	備考
1	10B0K2	3	少	薄	イ	イ	イ	100	
2	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
3	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
4	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
5	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
6	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
7	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
8	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
9	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
10	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
11	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
12	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
13	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
14	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
15	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
16	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
17	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
18	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	

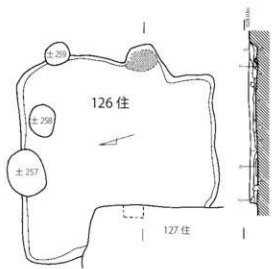
82住土壁断面表 (Fライン)

層	土色	土質	断面	層厚	1mあたり	層底	層高	層位	備考
1	10B0K2	3	少	薄	イ	イ	イ	100	
2	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
3	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
4	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
5	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
6	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
7	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
8	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
9	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	
10	10B0K2	2	少	薄	イ	イ	イ	100	

第15図 遺構実測図(11)



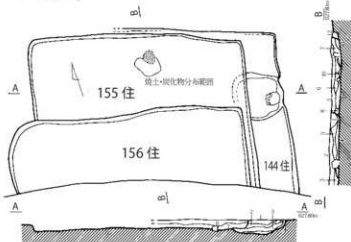
第17図 遺構実測図(13)



126住十割断面表

層	土名	位置	色	質	厚	備考
1	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
2	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
3	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
4	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
5	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
6	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
7	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
8	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
9	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
10	11082-2	1	黄褐色	粘	10	

層	土名	位置	色	質	厚	備考
1	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
2	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
3	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
4	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
5	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
6	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
7	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
8	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
9	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
10	11082-2	1	黄褐色	粘	10	



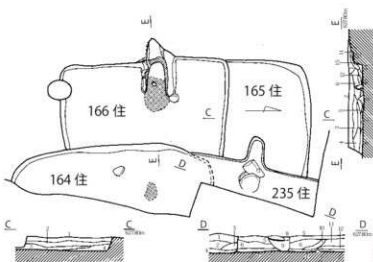
155・156住十割断面表 (Aライン)

層	土名	位置	色	質	厚	備考
1	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
2	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
3	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
4	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
5	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
6	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
7	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
8	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
9	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
10	11082-2	1	黄褐色	粘	10	



155・156住十割断面表 (Bライン)

層	土名	位置	色	質	厚	備考
1	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
2	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
3	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
4	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
5	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
6	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
7	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
8	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
9	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
10	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
11	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
12	11082-2	1	黄褐色	粘	10	



164・165・166住十割断面表 (Eライン)

層	土名	位置	色	質	厚	備考
1	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
2	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
3	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
4	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
5	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
6	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
7	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
8	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
9	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
10	11082-2	1	黄褐色	粘	10	

166住十割断面表 (Fライン)

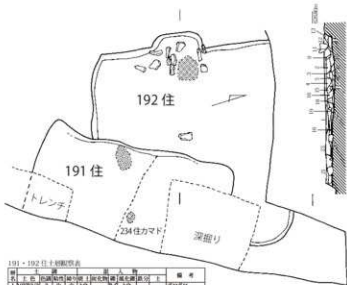
層	土名	位置	色	質	厚	備考
1	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
2	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
3	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
4	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
5	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
6	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
7	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
8	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
9	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
10	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
11	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
12	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
13	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
14	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
15	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
16	11082-2	1	黄褐色	粘	10	



164・165・166住十割断面表 (Dライン)

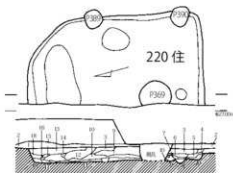
層	土名	位置	色	質	厚	備考
1	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
2	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
3	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
4	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
5	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
6	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
7	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
8	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
9	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
10	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
11	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
12	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
13	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
14	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
15	11082-2	1	黄褐色	粘	10	
16	11082-2	1	黄褐色	粘	10	

第20図 遺構実測図(16)



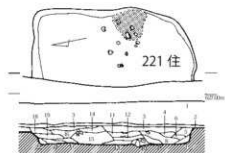
191・192住土物調査表

住	土物	種類	数量	備考
1	191	土	100	調査土
2	191	土	100	調査土
3	191	土	100	調査土
4	191	土	100	調査土
5	191	土	100	調査土
6	191	土	100	調査土
7	191	土	100	調査土
8	191	土	100	調査土
9	191	土	100	調査土
10	191	土	100	調査土
11	191	土	100	調査土
12	191	土	100	調査土
13	191	土	100	調査土
14	191	土	100	調査土
15	191	土	100	調査土
16	191	土	100	調査土
17	191	土	100	調査土
18	191	土	100	調査土
19	191	土	100	調査土
20	191	土	100	調査土
21	191	土	100	調査土
22	191	土	100	調査土
23	191	土	100	調査土
24	191	土	100	調査土



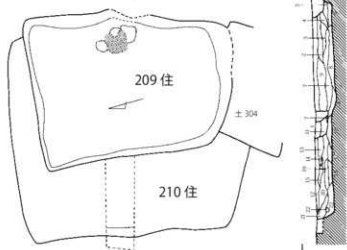
220住土物調査表

住	土物	種類	数量	備考
1	220	土	100	調査土
2	220	土	100	調査土
3	220	土	100	調査土
4	220	土	100	調査土
5	220	土	100	調査土
6	220	土	100	調査土
7	220	土	100	調査土
8	220	土	100	調査土
9	220	土	100	調査土
10	220	土	100	調査土
11	220	土	100	調査土
12	220	土	100	調査土
13	220	土	100	調査土
14	220	土	100	調査土
15	220	土	100	調査土
16	220	土	100	調査土
17	220	土	100	調査土
18	220	土	100	調査土
19	220	土	100	調査土
20	220	土	100	調査土



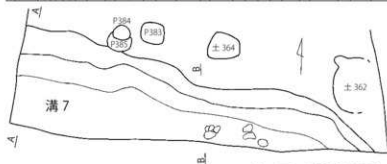
221住土物調査表

住	土物	種類	数量	備考
1	221	土	100	調査土
2	221	土	100	調査土
3	221	土	100	調査土
4	221	土	100	調査土
5	221	土	100	調査土
6	221	土	100	調査土
7	221	土	100	調査土
8	221	土	100	調査土
9	221	土	100	調査土
10	221	土	100	調査土
11	221	土	100	調査土
12	221	土	100	調査土
13	221	土	100	調査土
14	221	土	100	調査土
15	221	土	100	調査土
16	221	土	100	調査土
17	221	土	100	調査土
18	221	土	100	調査土
19	221	土	100	調査土
20	221	土	100	調査土



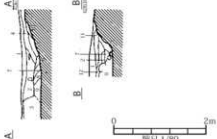
209・210住土物調査表

住	土物	種類	数量	備考
1	209	土	100	調査土
2	209	土	100	調査土
3	209	土	100	調査土
4	209	土	100	調査土
5	209	土	100	調査土
6	209	土	100	調査土
7	209	土	100	調査土
8	209	土	100	調査土
9	209	土	100	調査土
10	209	土	100	調査土
11	209	土	100	調査土
12	209	土	100	調査土
13	209	土	100	調査土
14	209	土	100	調査土
15	209	土	100	調査土
16	209	土	100	調査土
17	209	土	100	調査土
18	209	土	100	調査土
19	209	土	100	調査土
20	209	土	100	調査土

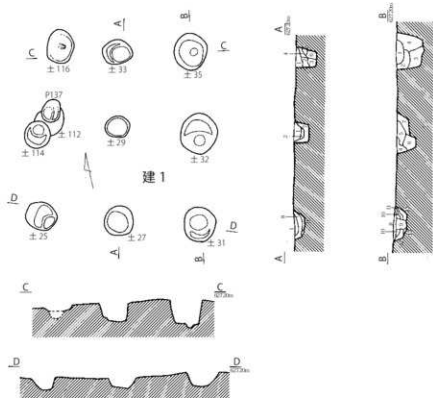


溝7土物調査表 (A-Bライン)

住	土物	種類	数量	備考
1	溝7	土	100	調査土
2	溝7	土	100	調査土
3	溝7	土	100	調査土
4	溝7	土	100	調査土
5	溝7	土	100	調査土
6	溝7	土	100	調査土
7	溝7	土	100	調査土
8	溝7	土	100	調査土
9	溝7	土	100	調査土
10	溝7	土	100	調査土
11	溝7	土	100	調査土
12	溝7	土	100	調査土
13	溝7	土	100	調査土
14	溝7	土	100	調査土
15	溝7	土	100	調査土
16	溝7	土	100	調査土
17	溝7	土	100	調査土
18	溝7	土	100	調査土
19	溝7	土	100	調査土
20	溝7	土	100	調査土



第23図 遺構実測図(19)

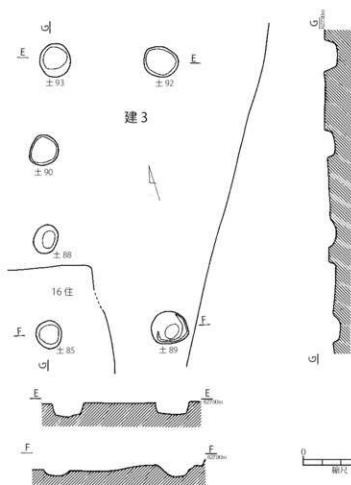


建1上層部写真 (Bライン)

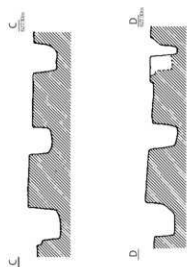
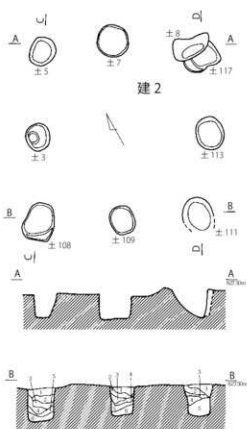
測点	土質	深さ	直径	形状	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					
53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					
83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					

建1上層部写真 (Aライン)

測点	土質	深さ	直径	形状	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					
53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					
83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					

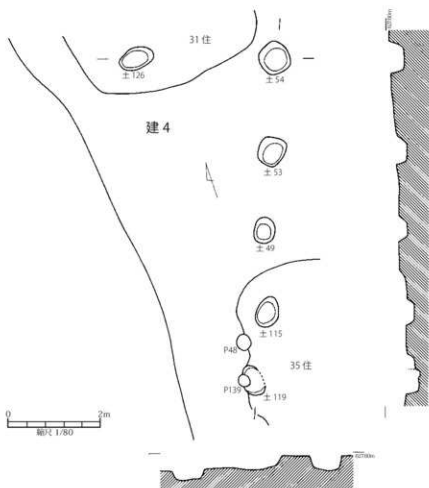


第25図 遺構実測図 (21)



建2土坑埋没点 (北方向)

検出	土層	土質	埋没物の種類	出土品	遺人物	備考
1	1000	1	土	土	土	
2	1000	1	土	土	土	
3	1000	1	土	土	土	
4	1000	1	土	土	土	
5	1000	1	土	土	土	
6	1000	1	土	土	土	
7	1000	1	土	土	土	
8	1000	1	土	土	土	
9	1000	1	土	土	土	
10	1000	1	土	土	土	
11	1000	1	土	土	土	
12	1000	1	土	土	土	
13	1000	1	土	土	土	
14	1000	1	土	土	土	
15	1000	1	土	土	土	
16	1000	1	土	土	土	
17	1000	1	土	土	土	
18	1000	1	土	土	土	
19	1000	1	土	土	土	
20	1000	1	土	土	土	
21	1000	1	土	土	土	
22	1000	1	土	土	土	
23	1000	1	土	土	土	
24	1000	1	土	土	土	
25	1000	1	土	土	土	
26	1000	1	土	土	土	
27	1000	1	土	土	土	
28	1000	1	土	土	土	
29	1000	1	土	土	土	
30	1000	1	土	土	土	
31	1000	1	土	土	土	
32	1000	1	土	土	土	
33	1000	1	土	土	土	
34	1000	1	土	土	土	
35	1000	1	土	土	土	
36	1000	1	土	土	土	
37	1000	1	土	土	土	
38	1000	1	土	土	土	
39	1000	1	土	土	土	
40	1000	1	土	土	土	
41	1000	1	土	土	土	
42	1000	1	土	土	土	
43	1000	1	土	土	土	
44	1000	1	土	土	土	
45	1000	1	土	土	土	
46	1000	1	土	土	土	
47	1000	1	土	土	土	
48	1000	1	土	土	土	
49	1000	1	土	土	土	
50	1000	1	土	土	土	
51	1000	1	土	土	土	
52	1000	1	土	土	土	
53	1000	1	土	土	土	
54	1000	1	土	土	土	
55	1000	1	土	土	土	
56	1000	1	土	土	土	
57	1000	1	土	土	土	
58	1000	1	土	土	土	
59	1000	1	土	土	土	
60	1000	1	土	土	土	
61	1000	1	土	土	土	
62	1000	1	土	土	土	
63	1000	1	土	土	土	
64	1000	1	土	土	土	
65	1000	1	土	土	土	
66	1000	1	土	土	土	
67	1000	1	土	土	土	
68	1000	1	土	土	土	
69	1000	1	土	土	土	
70	1000	1	土	土	土	
71	1000	1	土	土	土	
72	1000	1	土	土	土	
73	1000	1	土	土	土	
74	1000	1	土	土	土	
75	1000	1	土	土	土	
76	1000	1	土	土	土	
77	1000	1	土	土	土	
78	1000	1	土	土	土	
79	1000	1	土	土	土	
80	1000	1	土	土	土	
81	1000	1	土	土	土	
82	1000	1	土	土	土	
83	1000	1	土	土	土	
84	1000	1	土	土	土	
85	1000	1	土	土	土	
86	1000	1	土	土	土	
87	1000	1	土	土	土	
88	1000	1	土	土	土	
89	1000	1	土	土	土	
90	1000	1	土	土	土	
91	1000	1	土	土	土	
92	1000	1	土	土	土	
93	1000	1	土	土	土	
94	1000	1	土	土	土	
95	1000	1	土	土	土	
96	1000	1	土	土	土	
97	1000	1	土	土	土	
98	1000	1	土	土	土	
99	1000	1	土	土	土	
100	1000	1	土	土	土	



第26図 遺構実測図(22)

第3節 遺物

1 概要

遺構内、検出面及び包含層から土器類を中心に多量の遺物が出土している。他に土製品、金属製品、石器・石製品がある。

2 土器・陶磁器(第5表、第27～47図)

遺構内と検出面から大量に出土している。総量は777.9kgであった。種別は土師器(内黒土師器・黒色土器を含む)、須恵器(軟質須恵器を含む)、灰釉陶器、緑釉陶器でわずかに縄紋土器、中世陶器が伴う。主に古墳時代前期から平安時代に属するもので、おおむね出土遺構の時期を示していると考えられる。前述のとおり、掘り下げを行った竪穴住居址のうち85棟について、出土土器の図化と時期比定のための検討を行っている。

(1) 古墳時代前期の土器

125住出土品(41図480～483)のみである。高杯2点、小型丸底壺1点、壺1点、甕1点を図示した。壺は二重口縁壺の口縁部で、中段の稜は突帯で刻みが行われている。

(2) 古墳時代中期の土器

代表的なものとして111・112住の出土品(第39図389～424)を挙げることができる。種別はすべて土師器で、器種は小型丸底埴・直口壺・高杯・甕がある。

(3) 古墳時代後期の土器

後期後半に属する代表的なものとして27・30・140・149・163・166・216住の出土品(第31・32・42～44・46・47図159～171・177～188・494～502・529～531・554・555・557～563・640～650)を挙げることができる。種別に土師器と須恵器があり、土師器の器種は杯・鉢・高杯・甕・小形甕、須恵器の器種には杯・蓋・甕・甕・フラスコ瓶がある。

また、後期終末期に属するものは47・145・168・215住の出土品(第35・42・44・46図266～268・505～513・564～577・633～639)が相当する。種別は土師器と須恵器、器種は土師器が杯・高杯・甕、須恵器が杯・蓋・高杯・台付長頸壺、甕である。

(4) 奈良・平安時代の土器

今回の調査で確認した住居址の半数以上は奈良時代後半から平安時代前半まで(4～9期:長野県埋蔵文化財センター1990:以下、出典は同じ。)に属するものであり、それらから同期の土器・陶器が大量に出土している。種別には土師器、黒色土器A・B、須恵器、軟質須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器があり、器種器形は杯A・B、碗、皿、耳皿、托、鉢、盤、坏蓋B、壺蓋A、甕B・C、小形甕C・D、羽釜、壺、円筒形土器がみられる。土器群としては9・11・23・110・118・124住、土坑200から良好なまとまった内容のものが出土している。

ア 124住出土品(第41図469～479)

須恵器杯A 4点・杯B 2点・杯蓋2点・鉢1点、土師器甕Bと甕Cの各1点ずつを図示しており、4～5期のまとまった資料である。

イ 110住出土品(第38図365～379・385～388)

重複する111住(古墳時代中期)から由来するものを若干含んでいるが(380～384)、それらを除外すると6期(あるいは6～7期)の良好な土器群で、黒色土器Aの杯A 1 4点・A II 3点、碗1点、皿4点、托1点、須恵器杯A 1点・杯B 1点、土師器甕B 2点、小形甕D、須恵器長頸壺1点を図示している。

ウ 土坑200出土品(第45図593～603)

黒色土器Aの杯2点、皿2点、黒色土器Bの皿1点、須恵器杯A 5点、杯B 1点が出土しており、杯Bはコップ形をした珍しいものである。7期のまとまった資料である。

エ 118住出土品(第40図439～457)

黒色土器Aの杯4点、椀5点、須恵器杯A 3点、軟質須恵器杯A 2点、灰軸陶器椀1点、土師器甕B 3点、円筒型土器1点を図示できており、8期(あるいは7～8期)のまとまった資料である。

オ 9住出土品(第27・28図27～49)

土師器杯3点・椀1点、黒色土器A 杯6点・椀1点、灰軸陶器椀5点・皿3点、土師器小形甕D 4点を図示できた。8～9期のまとまった資料である。

カ 11住出土品(第28図50～72)

土師器杯5点・椀1点、黒色土器A 杯5点・椀4点、灰軸陶器椀2点・皿1点、土師器甕B 1点・羽釜1点、須恵器大甕を図示できた。8～9期のまとまった資料である。

キ 23住出土品(第30図130～147)

土師器杯8点・椀2点、黒色土器A 椀1点、灰軸陶器椀1点、土師器甕B 5点、小形甕D 1点を図示できた。10～11期のまとまった資料である。

(5) 中世の陶磁器

検出面や古代の遺構覆土表層からわずかに出土しており、鉢を1点図示した(28図73)。

(6) 文字関係資料

陶硯、転用硯、墨書土器がある。45図608は風字硯の破片でB東区の検出面から出土した。裏面に低い脚が付されている。転用硯はいずれも灰軸陶器の底部(34図254、35図278)で、高台部を中心にして外周を意図的に打ち欠いている。278には外面に墨痕、内面に朱墨痕がある。墨書土器は9住から出土した黒色土器Aの杯(27図33)の体部外面に「福」ともう1文字が書かれている。

3 土製品(第5表、第48図683～697)

土鍾5点、紡錘車1点、土玉15点、鏡形模造品1点を図示した。土鍾は古墳時代後期から平安時代に属し、他の土製品は古墳時代後期の所産である。土玉は古墳時代後期の115住から15点がまとめて出土したもので、径1.3～1.8cmのやや歪んだ球形で、直径1～2mmの1孔が貫通する。ただし691のみは孔の中央部が未貫通である。鏡形模造品は古墳時代後期の134住から出土したもので、直径5.6cm、厚さ1.2cmの円盤状を呈し、片面の中央に一部を欠損してはいるが鈕を表現しているとみられる突起がある。付け根付近には突起を横断して貫通する小孔が穿たれていた痕跡が残る。

4 金属製品(第6表、第49～51図)

110点の出土を確認しており、うち34点を図化した。1点を除いて鉄を材質としている。器種が判別できるものとしては刀子、釘、楔、鎌、鋤先、鎌、紡錘車、火打金具がある。

平安時代前期の35住から出土した鉄製品塊は総重量が962gで、錆取りと個体分離作業の結果、同一形態の鉄器が9本錆着したものと分かった。この鉄器の状態や器種について、保存処理等の作業でご指導をいただいた長野県立歴史館の白沢勝彦専門事から以下のコメントを頂戴している(抄)。

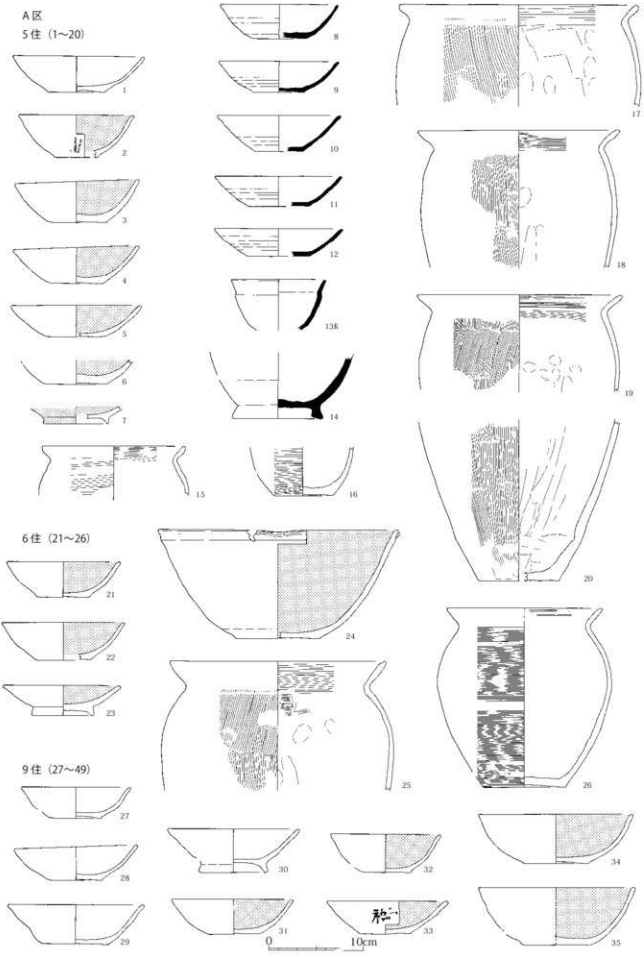
- ① 錆取り、個体分離作業の結果、一部欠損を含め全9個体であることを確認した。いずれも長さ(残存長を含む)15～16cm台で長方形断面、尖頭部に刃はなく、反対側端部の打込み打点仕上げが認められた。少なくとも、鉄釘ではない。
- ② さらに9個体ともそれぞれに長方形断面の短辺側にわずかの反りが認められる。
- ③ この①・②の結果を、神戸市にある竹中大道具館に問い合わせたところ「木部(柄)のはずれた『打抜鑿(穴の屑を叩き出すもの)』に近い形状であること。ただし、平安時代にそのような特定の目的に対応するほど鑿が分化していたとも考えづらく、何らかの裏付けをもって、本出土品を大道具具ないし鑿と特定することは困難」との感想をいただいた。

No	図	地点	種類	器種	口径	底径	器高	残存状態	断面調整・処理		登録番号	実測番号	
									外 面	内 面			
1	27	5E	土 杯	13.0	6.1	3.8	1/3	完	ロクロ→同系	ロクロ	0020	0E1	
2	27	5E	A 杯	(12.2)	(4.6)	4.5	1/8	一部	ロクロ	ロクロ→ミガキ→里	0104	0E3	
3	27	5E	A 杯	13.1	6.3	4.4	7/8	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0010	0E5	
4	27	5E	A 杯	13.3	6.0	3.8	1/3	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0021(重)	0E4	
5	27	5E	A 杯	(13.8)	(6.4)	3.4	1/11	5/1	ロクロ→同系→ケズ	ロクロ→ミガキ→里、黒灰	0008	0E2	
6	27	5E	A 杯		6.7			完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0941	0E6	
7	27	5E	B 皿	(6.9)			1/4		ロクロ→ミガキ→里	ロクロ→ミガキ→里	0003	0E7	
8	27	5E	銅 杯A	(12.5)	(6.0)	3.6	1/8	1/2	ロクロ→同系	ロクロ	0039	0E12	
9	27	5E	銅 杯A	(12.7)	(5.4)	3.3	1/6	2/3	ロクロ→同系	ロクロ	0003(重)	0E10	
10	27	5E	銅 杯A	(13.0)	(5.0)	3.2	1/4	1/8	ロクロ→同系	ロクロ	0083	0E9	
11	27	5E	銅 杯A	(13.4)	(6.7)	3.2	1/4	1/8	ロクロ→同系	ロクロ	0080	0E11	
12	27	5E	銅 杯A	(13.6)	(6.4)	2.9	1/5	1/4	ロクロ→同系	ロクロ	0075	0E18	
13	27	5E	銅 鉢	(10.0)			1/8		ロクロナデ	ロクロ	0101	0E13	
14	27	5E	銅 盃	(9.6)			2/3	子釘→同系	ロクロ	0013(重)	0E20		
15	27	5E	土 小甕D	(15.2)			1/8		ロクロ→カキ	ロクロ→カキ	0066	0E17	
16	27	5E	土 小甕D		6.6			完	ロクロ→カキ、同系	ロクロ	0035(重)	0E14	
17	27	5E	土 甕	(25.2)					ヨコ→蓋ハケ	カキ目→蓋ナデ	0022(重)	0E16	
18	27	5E	土 甕	(21.4)			1/3		ロクロ→同系	カキ目→蓋ナデ	0051(重)	0E15	
19	27	5E	土 甕	(21.6)			1/3		ヨコ→蓋ハケ	カキ目→蓋ナデ	0075	0E18	
20	27	5E	土 甕		(8.6)			1/4	蓋ハケ→底蓋ナデ	蓋ナデ	0042	0E19	
21	27	6E	A 杯	(12.0)	(5.7)	3.8	1/18	1/3	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0135(重)	0E1	
22	27	6E	A 杯	(13.0)	(5.9)	4.0	1/4	1/4	ロクロ	ロクロ→ミガキ→里	0129(重)	0E2	
23	27	6E	A 甕	12.5	6.6	3.2	1/3	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0135	0E3	
24	27	6E	A 片口鉢	25.4	9.0	11.5	2/3	2/5	ロクロ→同系、同系	ロクロ→ミガキ→里、厚灰	0116(重)	0E6	
25	27	6E	土 甕	(22.8)			1/8		ヨコ→蓋ハケ	カキ目→蓋ナデ、蓋ナデ	0123(重)	0E4	
26	27	6E	土 小甕D	(11.8)	8.8	18.9	1/3	2/5	ロクロ→同系、同系	カキ目→ロクロ	0147(重)	0E12	
27	27	9E	土 杯	(11.6)	5.4	3.3	1/6	1/2	ロクロ→同系、同系	ロクロ	0314	0E5	
28	27	9E	土 杯	13.1	6.0	3.6	1/2	5/6	ロクロ→同系	ロクロ	0129(重)	0E3	
29	27	9E	土 杯	14.4	7.2	4.2	1/2	完	ロクロ→同系、同系	ロクロ	0186(重)	0E4	
30	27	9E	土 杯	(14.0)	7.3	4.1	1/3	1/2	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ?	0190(重)	0E5	
31	27	9E	A 杯	12.8	5.8	3.7	1/2	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里、厚灰、黒灰	0148(重)	0E6	
32	27	9E	A 杯	(11.7)	5.6	4.1	1/9	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里、厚灰、黒灰	0180(重)	0E1	
33	27	9E	A 杯	12.0	5.4	3.5	2/3	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0171	0E7	
34	27	9E	A 杯	(16.3)	(7.0)	5.2	1/8	1/2	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0208	0E18	
35	27	9E	A 杯	(16.6)	7.2	6.1	1/4	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0174	0E10	
36	28	9E	A 杯	12.9	6.2	3.9	3/4	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0178	0E19	
37	28	9E	A 杯	13.6	6.4	5.1	3/4	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0160	0E11	
38	28	9E	銅 皿	(13.0)	(6.7)	2.7	1/8	1/4	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0200	0E12	
39	28	9E	銅 皿	13.8	7.0	2.8	1/3	完	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0199(重)	0E14	
40	28	9E	銅 皿	(12.6)	5.4	3.5	2/3	5/8	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0197	0E13	
41	28	9E	銅 皿	(14.4)	(7.2)	4.4	3/8	1/8	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0201(重)	0E15	
42	28	9E	銅 皿	15.4	8.0	5.1	3/4	3/4	ロクロ	ロクロ→同系	0201(重)	0E18	
43	28	9E	銅 皿	(15.7)	(7.8)	5.3	1/8	1/2	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0197(重)	0E17	
44	28	9E	銅 皿	(16.0)	(8.6)	6.1	1/6	1/4	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0209(重)	0E16	
45	28	9E	銅 皿	(17.8)	(8.9)	6.3	1/12	5/12	ロクロ→同系	ロクロ	0201(重)	0E19	
46	28	9E	土 小甕D	13.0				1/2	ロクロ→カキ	カキ・工具	0181(重)	0E21	
47	28	9E	土 小甕D	(20.4)	(8.7)	14.3	1/2	1/2	ロクロ→同系	カキ→ケズ	0144(重)	0E23	
48	28	9E	土 小甕D		7.0		1/8	2/3	ロクロ→同系	ロクロ	0180	0E20	
49	28	9E	土 小甕D	(19.0)			1/4		ロクロ→カキ→ナデ	カキ・工具	0190(重)	0E22	
50	28	11E	土 杯	10.8	5.7	3.3	7/8	完	ロクロ	ロクロ→ミガキ→厚灰	0227	1E16	
51	28	11E	土 杯	11.0	5.8	3.1	1/2	5/6	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→厚灰	0228	1E13	
52	28	11E	土 杯	(11.3)	(6.1)	3.2	1/2	2/5	ロクロ→同系	ロクロ	0244(重)	1E11	
53	28	11E	土 杯	(11.4)	(4.6)	3.1	1/6	3/5	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→厚灰	0266	1E15	
54	28	11E	土 杯	(11.5)	(5.3)	3.6	1/11	1/5	ロクロ→同系	ロクロ	0274	1E12	
55	28	11E	土 杯	(14.3)	7.2	3.2	1/4	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→厚灰	0229(重)	1E18	
56	28	11E	A 杯	11.9	5.5	3.1	2/5	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里、黒灰	0261(重)	1E14	
57	28	11E	A 杯	12.8	(6.1)	4.2	1/2	1/3	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0242(重)	1E13	
58	28	11E	A 杯	(12.8)	(6.0)	5.0	2/5	7/8	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0274	1E12	
59	28	11E	A 杯	(13.2)	(5.2)	3.9	2/5	2/5	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0221(重)	1E14	
60	28	11E	A 杯	13.0	5.8	4.4	3/4	7/8	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里、黒灰	0216(重)	1E15	
61	28	11E	A 杯	(11.8)	6.7	4.2	1/4	完	ロクロ	ロクロ→ミガキ→里、黒灰	0253	1E19	
62	28	11E	A 杯	(12.7)	5.4	4.9	1/4	1/5	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0281	1E14
63	28	11E	A 杯	(13.9)	6.4	4.8	3/5	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里、黒灰	0254	1E17	
64	28	11E	A 杯	(13.8)	(7.4)	5.5	1/8	1/6	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里、黒灰	0233(重)	1E10	
65	28	11E	銅 杯A		(5.8)			2/5	ロクロ→同系	ロクロ	0258(重)	1E120	
66	28	11E	銅 皿	(13.0)	6.9	2.5	1/16	2/3	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0268(重)	1E117	
67	28	11E	銅 皿	(12.8)	(8.0)	3.8	1/3	2/5	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0246	1E118	
68	28	11E	銅 皿	(13.0)	(7.2)	4.0	1/3	2/5	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0247	1E116	
69	28	11E	銅 皿	(13.2)	5.4	4.4	1/8		ロクロ	ロクロ	0267	1E19	
70	28	11E	土 甕	(16.6)			1/8		ヨコ・工具	蓋	0266	1E122	
71	28	11E	土 甕	(19.1)			1/5		ヨコ・工具	ハケ→底蓋・工具	0230(重)	1E124	
72	28	11E	銅 盃	(47.9)			1/8		ロクロ	ロクロ	0219	1E125	
73	28	11E	銅 鉢	(23.6)			1/16		ロクロ	ロクロ	0278	1E121	
74	29	12E	土 杯	12.2	6.3	3.2	8/9	3/4	ロクロ→同系	ロクロ	0293	1E21	
75	29	12E	A 杯	12.5	6.2	4.2	5/9	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0281	1E23	
76	29	12E	A 杯	(12.7)	5.4	4.4	5/9	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0292	1E24	
77	29	12E	A 杯	(14.4)	(7.8)	4.1	1/9	1/4	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里、黒灰	0285	1E25
78	29	12E	B 甕	(16.2)			1/5		ロクロ→ミガキ→里	ロクロ→ミガキ→里	0292	1E26	
79	29	12E	銅 盃D	(16.4)			一部		ロクロ	ロクロ	0292	1E217	
80	29	12E	土 片口甕		(12.8)			1/3	蓋ハケ→ケズ	蓋・具→樽ナデ	0280	1E16	
81	29	13E	土 杯	13.2	5.6	3.4	2/3	完	ロクロ→同系	ロクロ→同系	0302(重)	1E11	
82	29	13E	A 杯	(12.8)	(6.0)	3.8	1/2	1/5	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里、黒灰	0312	1E14	
83	29	13E	A 杯	13.4	6.6	4.2	1/4	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0295	1E16	
84	29	13E	A 杯	14.0	5.9	3.7	3/4	完	ロクロ→同系	ロクロ→ミガキ→里	0317	1E17	
85	29	13E	A 杯	(27.6)	11.3	11.0	一部	1/2	同系	ロクロ→同系	0304	1E111	
86	29	13E	軟 杯A	12.9	6.2	3.7	2/3	完	ロクロ→同系	ロクロ	0305	1E13	
87	29	13E	軟 杯A	13.1	5.6	4.1	2/3	完	ロクロ→同系	ロクロ	0312	1E12	
88	29	13E	軟 杯A	12.5	5.6	3.3	2/3	1/2	同系	ロクロ	0298(重)	1E15	

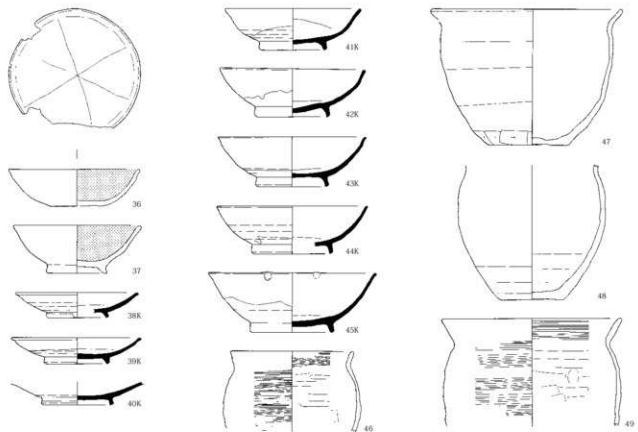
第5表 土器観察表 (1/8)

No.	図	地点	種類	規格	口径	底径	高さ	管内径	調節・処理				注記番号	実測番号		
									外	内	面	面				
89	29	13F	緑	桧		6.4	3.3		3/5	ロクロ-御輪	ロクロ-御輪		0016樹1	13F8		
90	29	13F	土	栗	(19.2)			1/4		ロクロ	ロクロ		0001	13F9		
91	29	13F	土	栗B	(24.2)				1/10	ヨコ-ロウハ	カキ-工具		0003	13F10		
92	29	14F	道	丸A		(6.2)			1/10	ロクロ-御輪	ロクロ		0035	14F1		
93	29	14F	道	丸		(13.8)			一部	ロクロ	ロクロ		0034	14F2		
94	29	14F	道	丸		(10.0)	(6.0)		1/14	1/6	ロクロ-御ケ	ロクロ		0037	14F3	
95	29	14F	道	丸		(8.7)		4.1	1/8		ロクロ	ロクロ		0037	14F4	
96	29	15F	土	丸		13.1	5.8	1.3	3/4	寛	ロクロ-御輪	ロクロ		0048樹1	15F1	
97	29	15F	土	丸		(13.4)	5.3	3.6	1/8	寛	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭		0043	15F4	
98	29	15F	土	丸		(16.8)	6.6	4.2	1/8	寛	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭		0052	15F5	
99	29	15F	土	丸		14.0	7.0	5.8	1/2	保証	ロクロ		0044樹1	15F7		
100	29	15F	土	丸			(8.2)	4.7	1/4		ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭		0051	15F6	
101	29	15F	道	丸A		13.4	6.3			寛	ロクロ-御輪	ロクロ		0045樹1	15F12	
102	29	15F	道	丸A		13.6	5.8			寛	ロクロ-御輪	ロクロ		0046	15F3	
103	29	15F	道	丸		(15.1)	(6.7)	3.2	1/6	1/3	ロクロ-御ケ	ロクロ-御ケ		0055	15F19	
104	29	15F	道	丸		14.8		3.4	1/8		ロクロ-御ケ	ロクロ-御ケ		0065	15F8	
105	29	15F	道	丸		(12.0)				1/4	ロクロ-御ケ	ロクロ		0047	15F10	
106	29	15F	道	丸		12.6				3/4	甲ミケズリ	工員-御神さ	0038樹3	15F12		
107	29	15F	土	円筒型		(10.8)				1/4	羅ハバズリ	羅ハバ		0072	15F11	
108	29	16F	道	丸		(13.1)				1/16	ロクロ	ロクロ		0082	16F2	
109	29	16F	道	丸A		14.6	9.3			7/12	寛	ロクロ-御輪へラ切→ナデ	ロクロ		0073樹3	16F1
110	29	16F	土	栗B			8.4	3.3		1/4	羅ハバズリ	羅ハバ		0064樹1	16F3	
111	30	17F	土	丸		(12.8)	(5.4)			1/19	1/2	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0415	17F4	
112	30	17F	土	丸		(13.4)	(5.6)	4.2	1/5	2/3	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0415	17F1		
113	30	17F	土	丸		(14.6)	(5.9)	4.4	1/2	5/6	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0097樹2	17F1		
114	30	17F	土	丸		(13.2)		5.5	1/6		ロクロ	ロクロ→ミガキ→黒炭	0415	17F3		
115	30	17F	土	丸		(14.4)				1/5	ロクロ	ロクロ→ミガキ→黒炭	0415	17F2		
116	30	17F	土	丸		14.3	5.9		1/2	寛	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0415	17F7		
117	30	17F	土	丸			(6.0)	5.1		1/8	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0407	17F19		
118	30	17F	土	丸		(12.8)	(4.8)		1/4	3/4	ロクロ-御輪	ロクロ		0415	17F5	
119	30	17F	土	丸		(14.1)	(5.8)	4.2	2/3	3/4	ロクロ-御輪	ロクロ		0415	17F10	
120	30	17F	道	丸		(11.5)		3.9	1/5		ロクロナデ	ロクロ		0417	17F8	
121	30	18F	土	栗B		(15.2)			1/2		羅ハバ	カキ-工具	0025樹3	18F1		
122	30	18F	土	栗			(7.8)			1/5	2/3	羅ハバ	工員	0092樹	18F1	
123	30	20F	土	丸			(1.8)			3/4	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0600	20F1		
124	30	20F	土	丸		(16.6)			1/9		ロクロ	ロクロ→ミガキ→黒炭	0601	20F2		
125	30	21F	土	丸			(8.2)			1/3	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0607樹1	21F5		
126	30	21F	土	丸		(15.6)			1/10		ロクロ	ロクロ→ミガキ→黒炭	0606	21F2		
127	30	21F	土	丸		(13.0)	(7.2)			1/11	1/2	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0608	21F3	
128	30	21F	土	丸		(15.4)		3.4	1/13		ロクロ	ロクロ→ミガキ→黒炭	0607	21F4		
129	30	21F	土	栗B		(20.2)				1/5	ヨコ-ロウハ	カキ		0091	21F1	
130	30	23F	土	丸		11.7	5.4		1/2	2/3	ロクロ-御輪	ロクロ		0456樹2	23F7	
131	30	23F	土	丸		(12.4)	(6.2)	3.0	1/12	3/8	ロクロ-御輪	ロクロ		0479	23F1	
132	30	23F	土	丸		(11.8)	(5.1)	3.1	1/2	1/2	ロクロ-御輪	ロクロ		0466樹3	23F5	
133	30	23F	土	丸		(12.4)	6.2	3.1	1/6	寛	ロクロ-御輪	ロクロ		0447樹1	23F16	
134	30	23F	土	丸		(12.5)	5.9	2.6	1/3	寛	ロクロ-御輪	ロクロ		0440	23F4	
135	30	23F	土	丸		(12.8)	5.0	3.8		2/3	ロクロ-御輪	ロクロ		0451	23F12	
136	30	23F	土	丸		(12.8)	(6.4)	3.4	1/4	1/4	ロクロ-御輪	ロクロ		0448	23F13	
137	30	23F	土	丸		12.7	6.9	3.3	7/8	保証	ロクロ-御輪	ロクロ		0454	23F8	
138	30	23F	土	丸				3.4			ロクロ-底部ケズリ	ロクロ		0457	23F19	
139	30	23F	土	丸		11.9	(6.3)		1/2	1/4	ロクロ	ロクロ→ミガキ→黒炭	0459	23F19		
140	30	23F	土	丸		(7.3)		4.5	1/2	3/8	ロクロ-御ケ	ロクロ-御ケ		0487	23F12	
141	30	23F	土	丸		(17.2)	(8.2)		1/4	1/4	ロクロ	ロクロ		0455樹1	23F11	
142	30	23F	土	小栗D		11.1	7.6	6.7	1/2	3/4	ロクロ-御輪	ロクロ		0473樹1	23F18	
143	30	23F	土	栗		(23.8)			1/5		ロクロ	カキ-ロウコ		0474樹1	23F15	
144	30	23F	土	栗		(20.6)			1/8		ロクロ	ロクロ		0469	23F14	
145	30	23F	土	栗		(22.0)			1/4		ヨコ-ロウハ→カキ	カキ-羅工具		0439樹3	23F16	
146	30	23F	土	栗B		21.2			3/8		ヨコ-ロウハ	羅工具		0450樹1	23F14	
147	30	23F	土	栗		(10.2)			1/2		羅工具			0462樹4	23F17	
148	31	26F	土	丸		(9.5)	4.6		1/4	1/4	羅工具-ケズリ	ミガキ摩滅		0509	26F7	
149	31	26F	土	丸		12.8	6.4	6.1	1/2	寛	ロクロ-御輪	ロクロ		0499	26F1	
150	31	26F	土	丸		(11.6)	(5.2)	4.0		3/4	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0498	26F1		
151	31	26F	土	丸		6.0	3.6		保証		ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0512樹1	26F3		
152	31	26F	土	丸		6.1				寛	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0492	26F12		
153	31	26F	土	丸		(13.8)			一部		ロクロ	ロクロ→ミガキ→黒炭	0506	26F4		
154	31	26F	土	丸		(16.0)			1/4		ロクロ	ロクロ→ミガキ→黒炭	0509樹1	26F5		
155	31	26F	土	丸		(16.0)	(7.4)		9/10	3/6	ロクロ-御輪	ロクロ→ミガキ→黒炭	0488	26F8		
156	31	26F	土	栗B		(26.6)		5.2	1/8		ヨコ-ロウハ	カキ-羅工具		0492	26F19	
157	31	26F	土	栗		(11.6)			一部		羅工具			0493	26F19	
158	31	26F	土	栗							釘	釘		0493樹1-0401樹	26F11	
159	31	27F	土	丸		(14.8)			1/8		ヨコ-ミガキ摩滅	ミガキ摩滅		0533	27F3	
160	31	27F	土	丸		(13.8)			1/8		ヨコ-ミガキ摩滅	ミガキ摩滅		0522	27F4	
161	31	27F	土	丸		(15.2)			一部		ヨコ-ミガキ摩滅	ミガキ→黒炭		0533	27F5	
162	31	27F	土	高杉							羅ミガキ	鏡内面、工具-御神さ		0539	27F6	
163	31	27F	土	高杉		(10.2)			1/8		ロクロ	ロクロ		0530	27F1	
164	31	27F	土	高杉D		(12.3)					ロクロ	ロクロ		0537	27F13	
165	31	27F	土	高杉		(27.6)			1/12		ヨコ-工具	工具		0518	27F10	
166	31	27F	土	高杉		(11.0)			1/2		ヨコ-御神さ	ナデ摩滅		0530	27F19	
167	31	27F	土	高杉		(13.6)			1/4		工具-御神さ	ハチ摩滅		0538	27F8	
168	31	27F	土	高杉		(8.6)			1/4		工具	工具		0533	27F7	
169	31	27F	土	高杉		(27.6)			1/10		ロコ-工具	工具		0533	27F11	
170	31	27F	土	高杉		(34.4)			1/5		ロクロ	工具		0531樹3+1054	27F12	
171	31	27F	土	高杉		(14.8)				一部	ロコ-ケズリ	羅工具		0537	27F13	
172	31	28F	土	丸		(12.0)					ロクロ	ロクロ		0543	28F1	
173	31	28F	土	丸		(15.2)			1/8		ロクロ	ロクロ		0568	28F2	
174	31	28F	土	丸		(7.8)			1/4		ロクロ	ロクロ		0563	28F3	
175	31	28F	土	高杉		(14.7)	12.3		1/2	2/3	ヨコ、ミガキ	工具-ミガキ→黒炭	0553	28F4		
176	31	28F	土	高杉		(19.8)		13.1	1/4		ヨコ-ロウハ	工具		0571樹2	28F5	

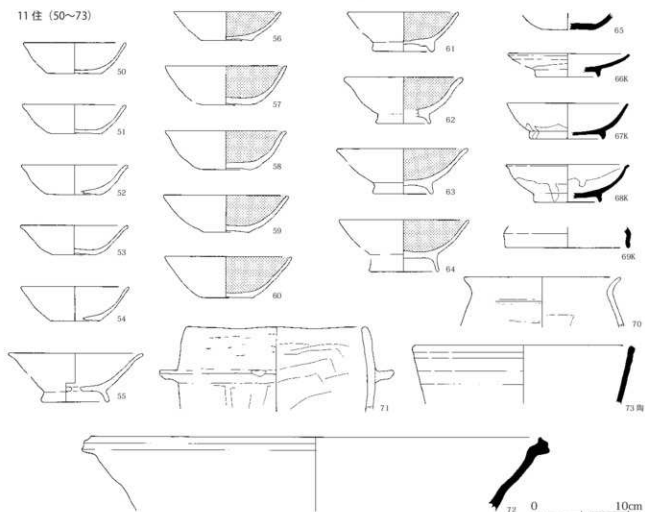
第5表 土器観察表 (2/8)



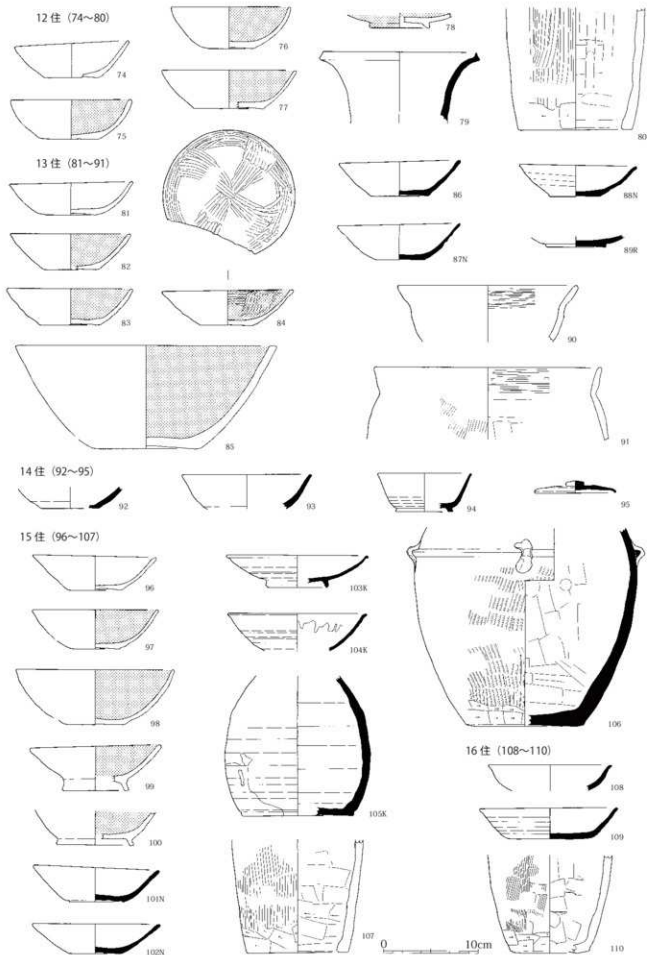
第27図 土器実測図(1)



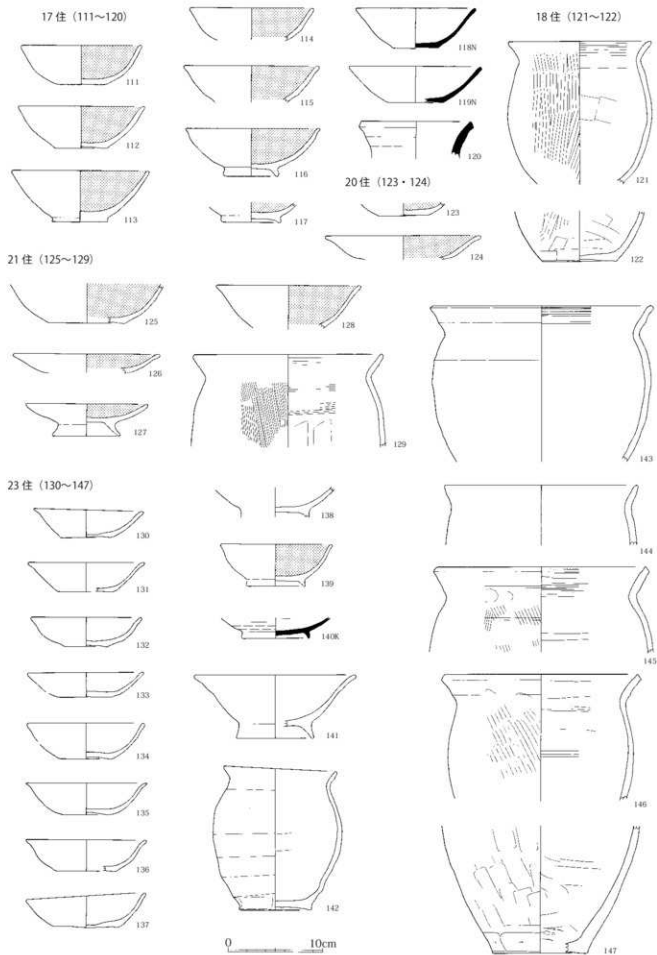
11 住 (50~73)



第28図 土器実測図(2)

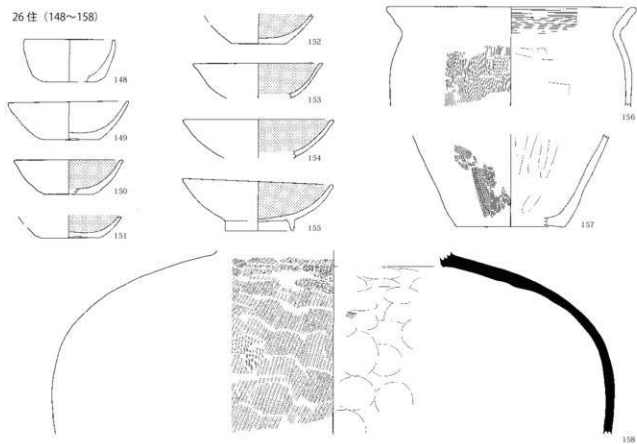


第29図 土器実測図(3)

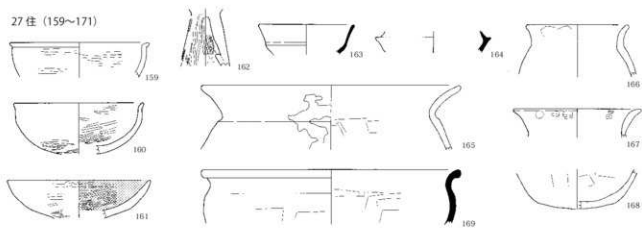


第30図 土器実測図(4)

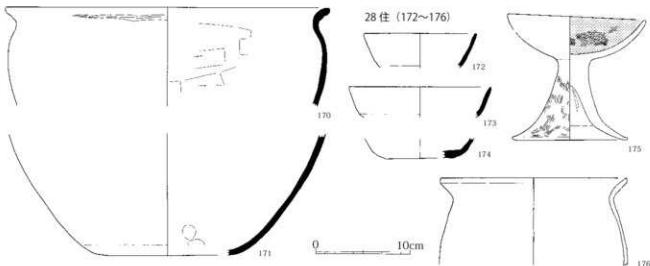
26住 (148~158)



27住 (159~171)

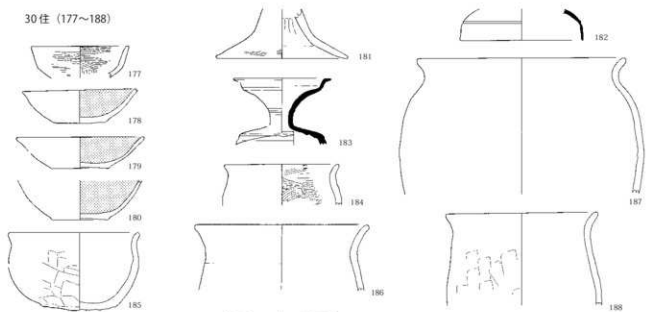


28住 (172~176)

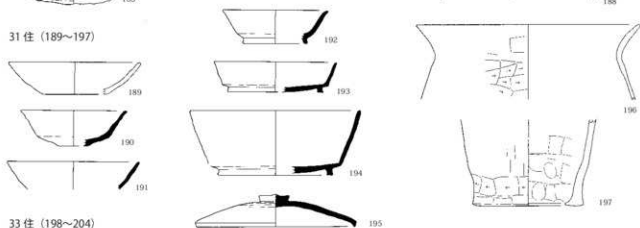


第31図 土器実測図(5)

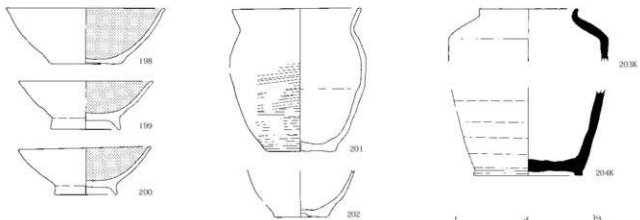
30住 (177~188)



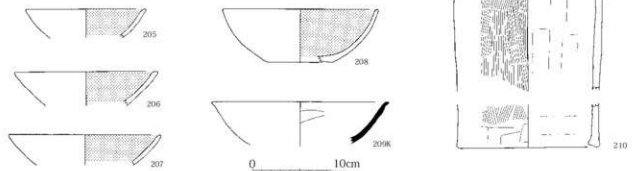
31住 (189~197)



33住 (198~204)

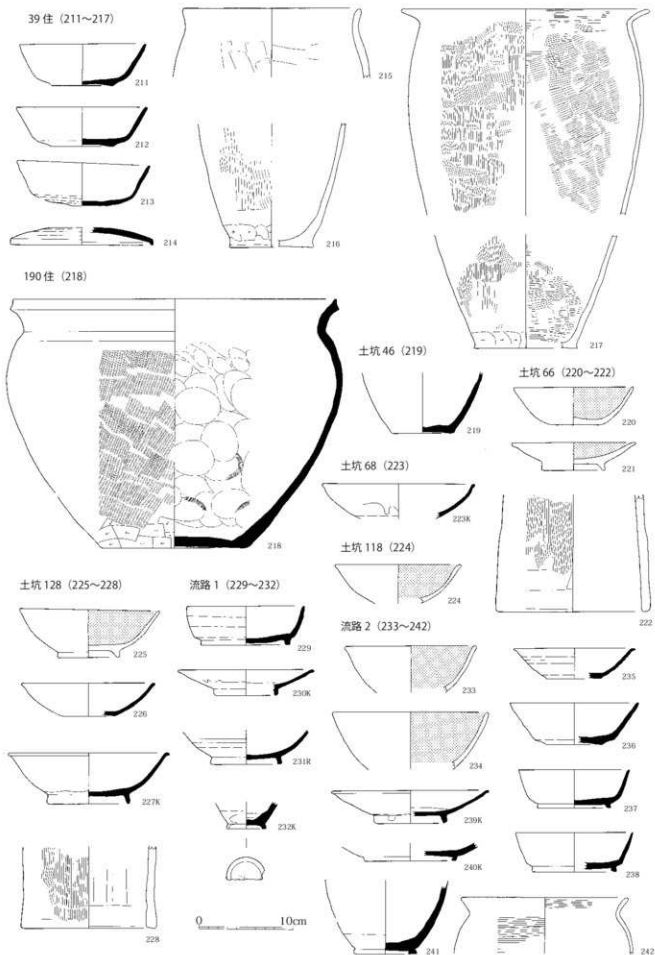


35住 (205~210)

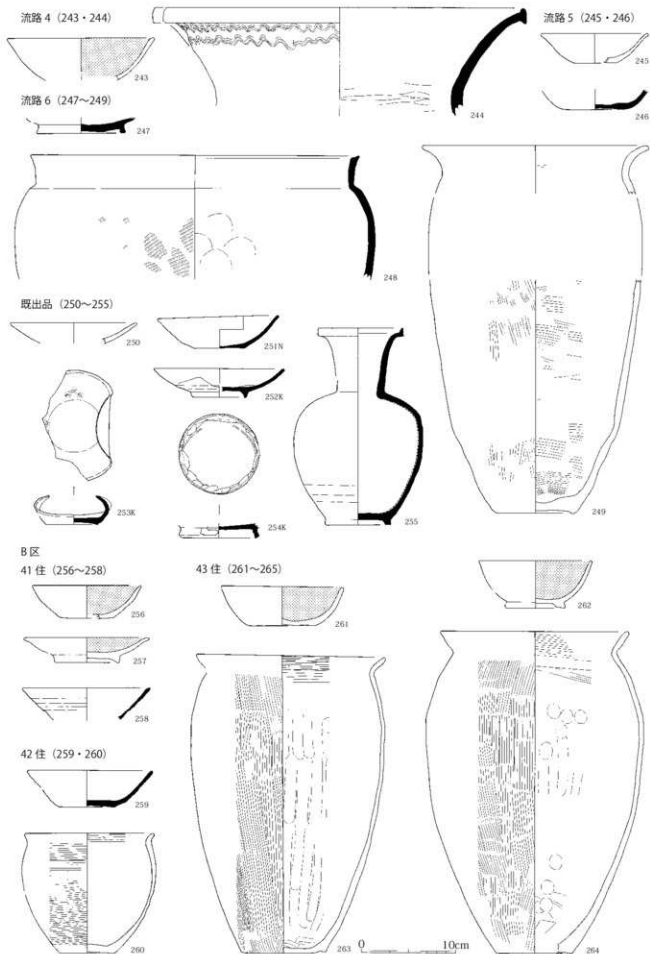


0 10cm

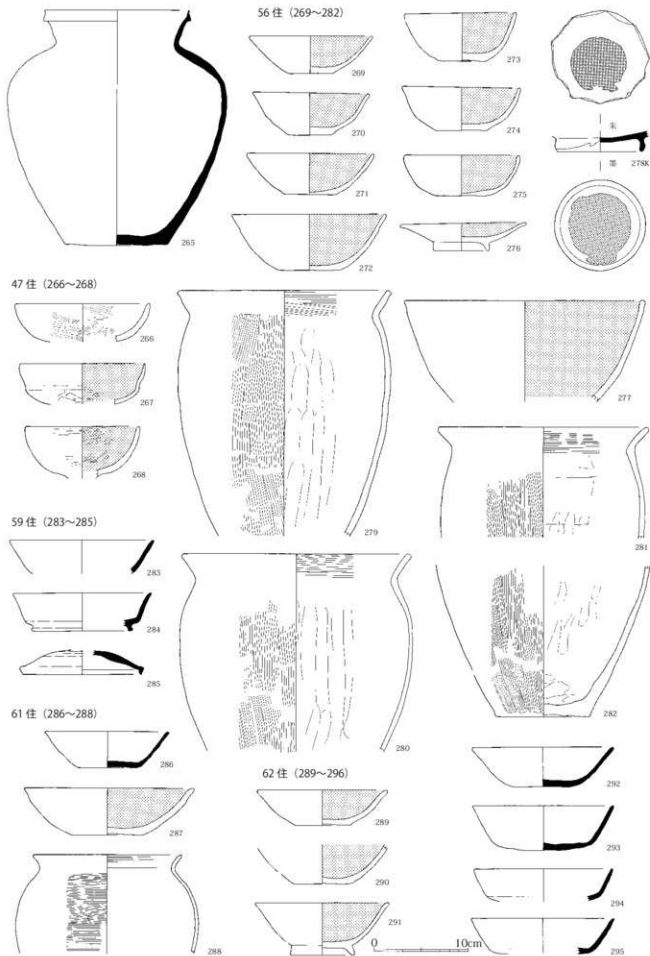
第32図 土器実測図(6)



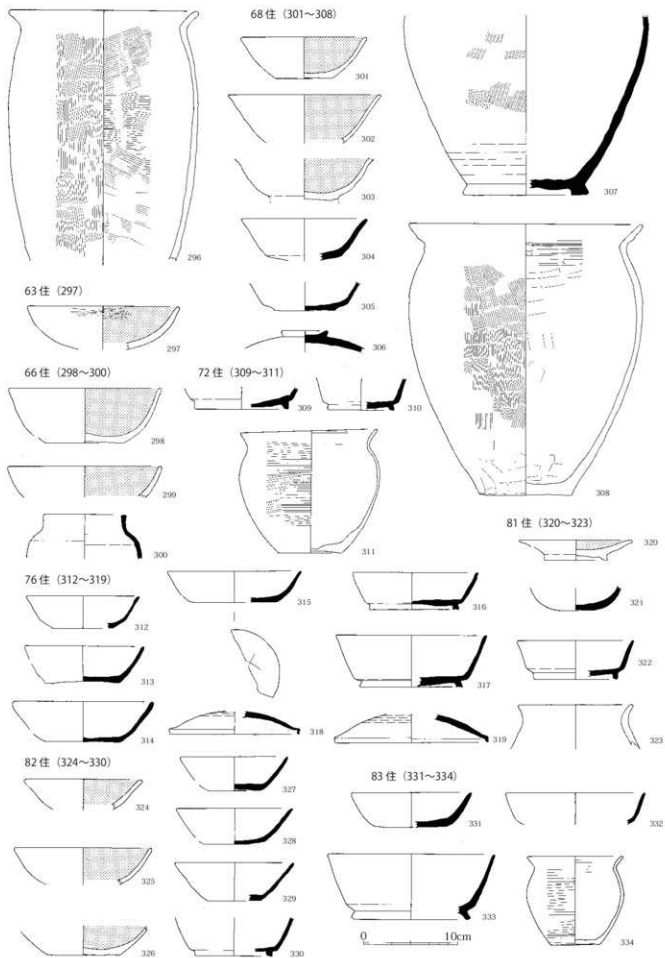
第33図 土器実測図(7)



第34図 土器実測図(8)

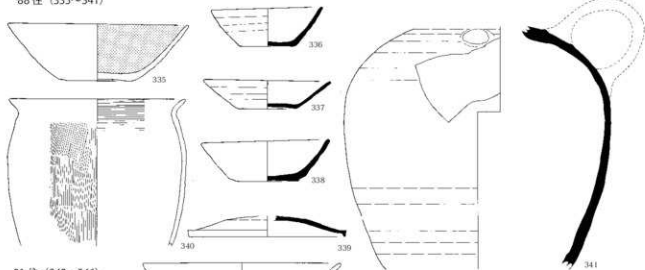


第35図 土器実測図(9)

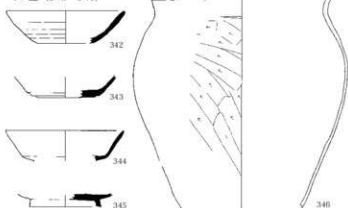


第36図 土器実測図(10)

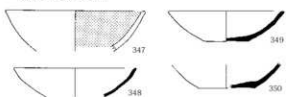
88住 (335~341)



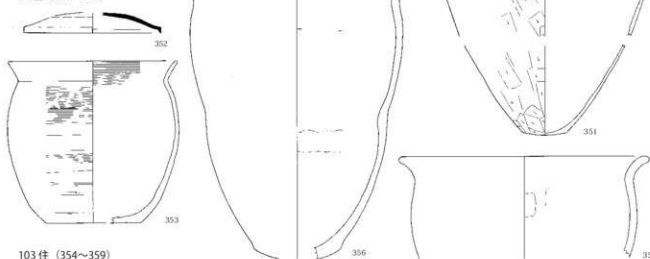
91住 (342~346)



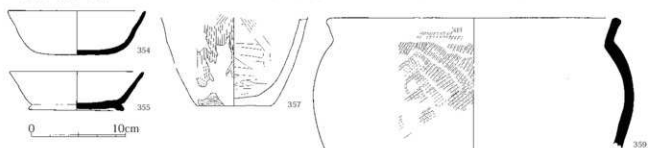
93住 (347~351)



94住 (352・353)

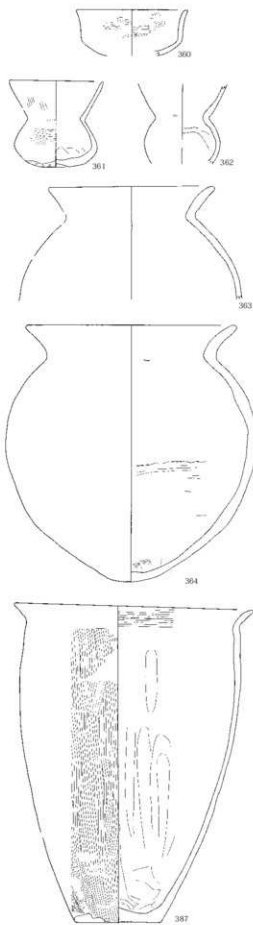


103住 (354~359)

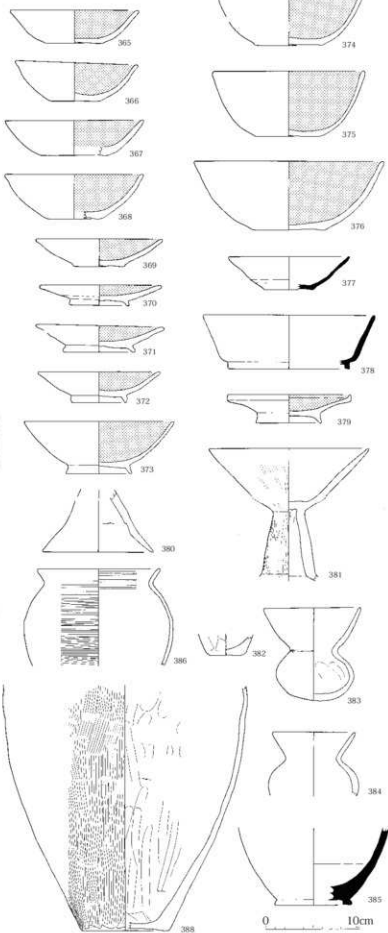


第37図 土器実測図(11)

108 住 (360~364)

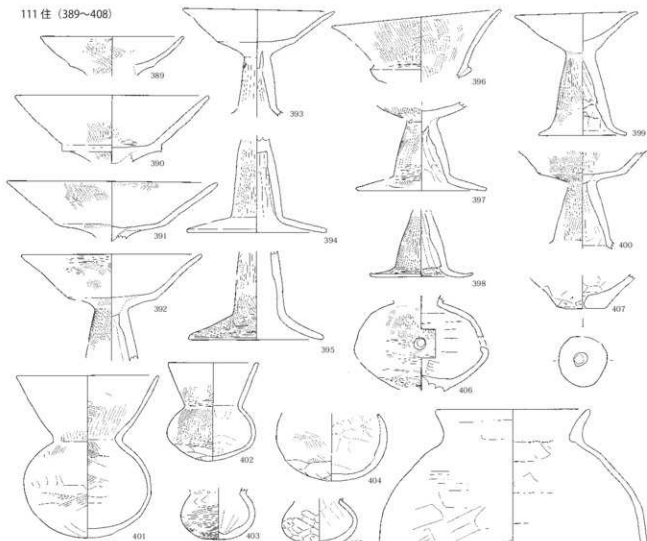


110 住 (365~388)

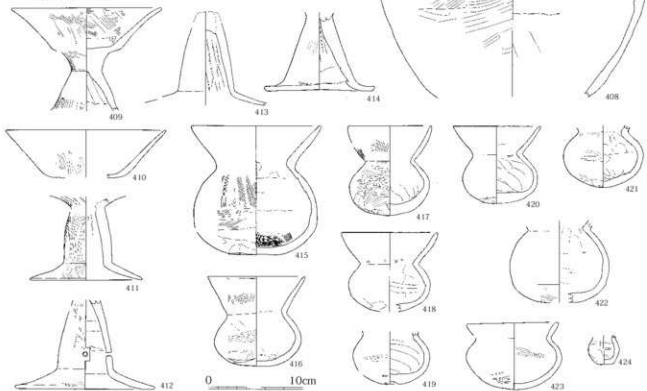


第38図 土器実測図(12)

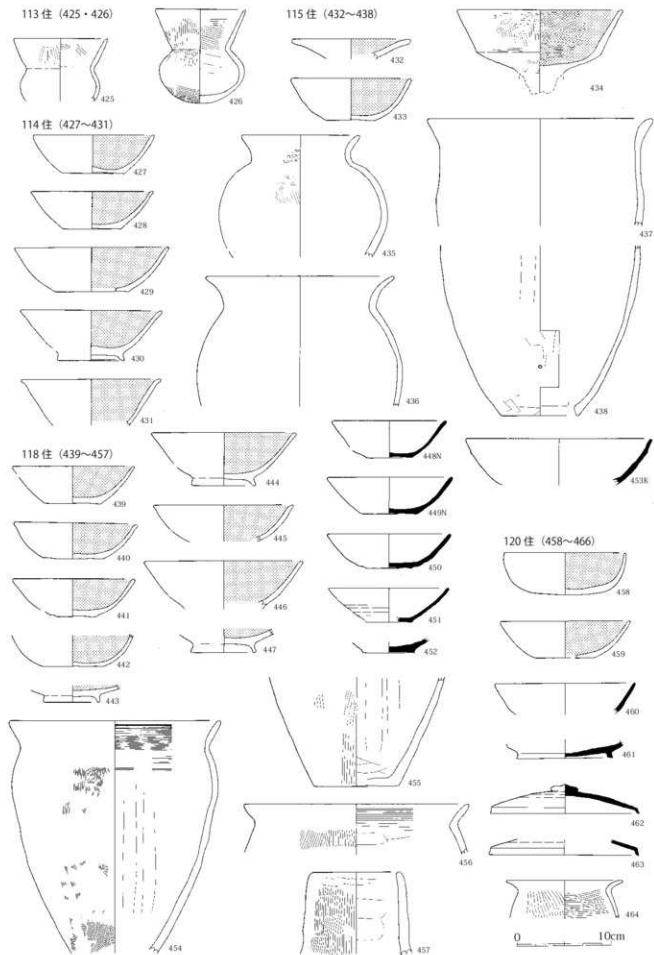
111住 (389~408)



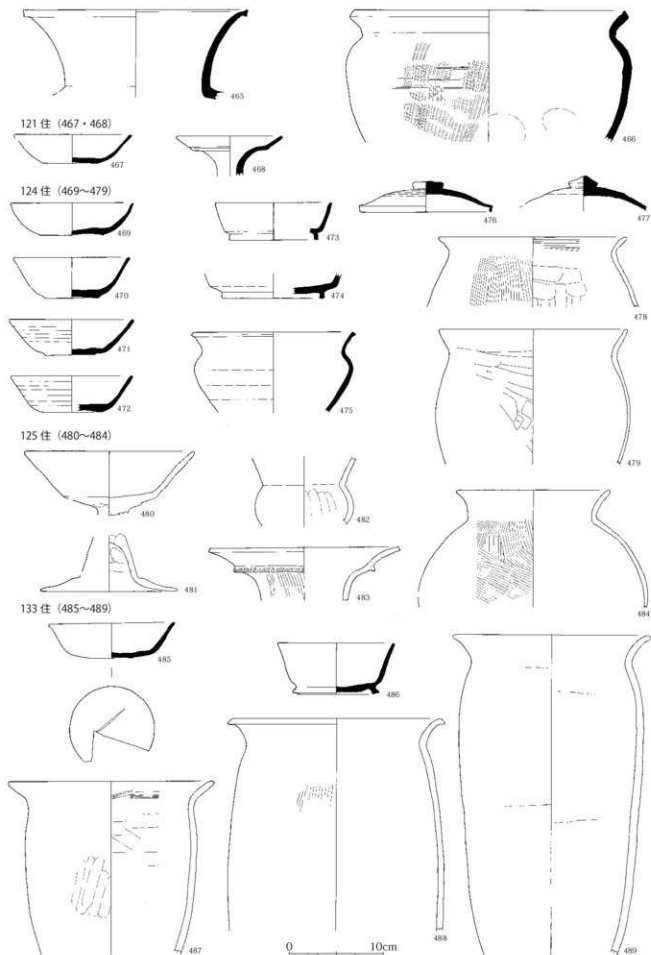
112住 (409~424)



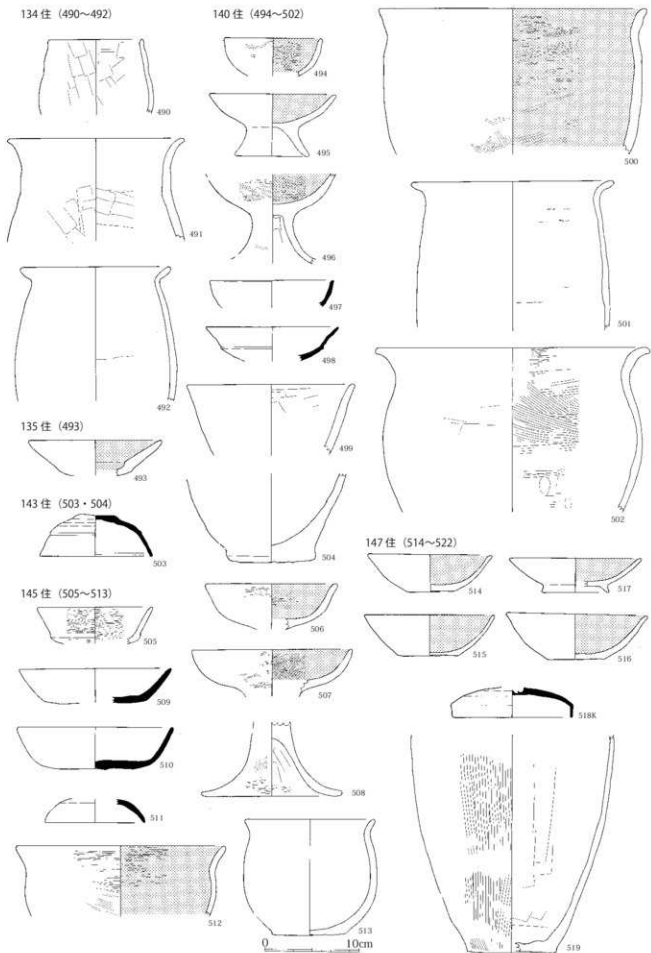
第39图 土器实测图(13)



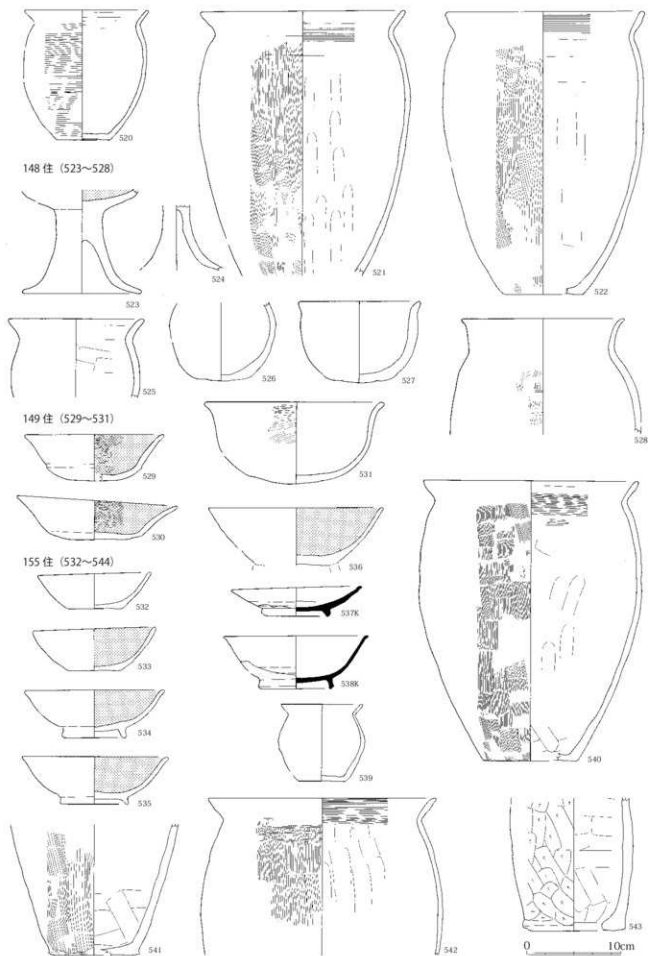
第40图 土器实测图(14)



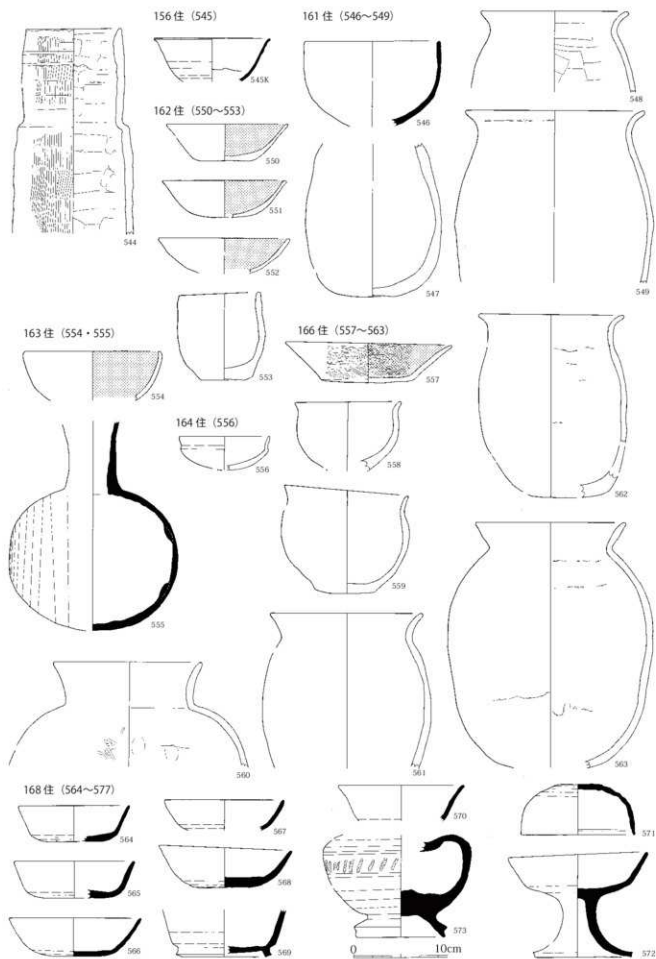
第41图 土器实测图(15)



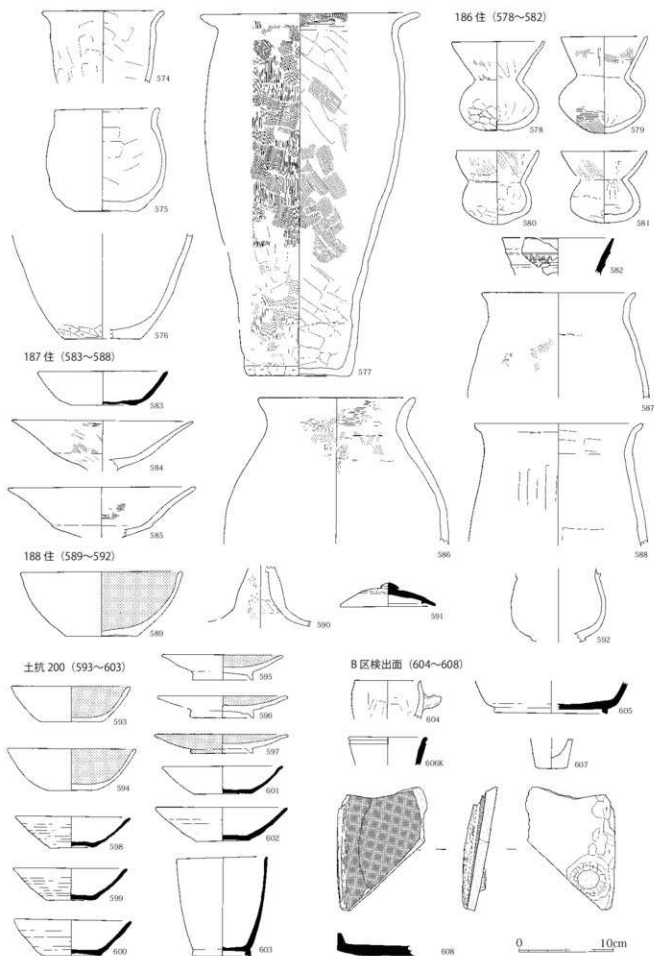
第42図 土器実測図(16)



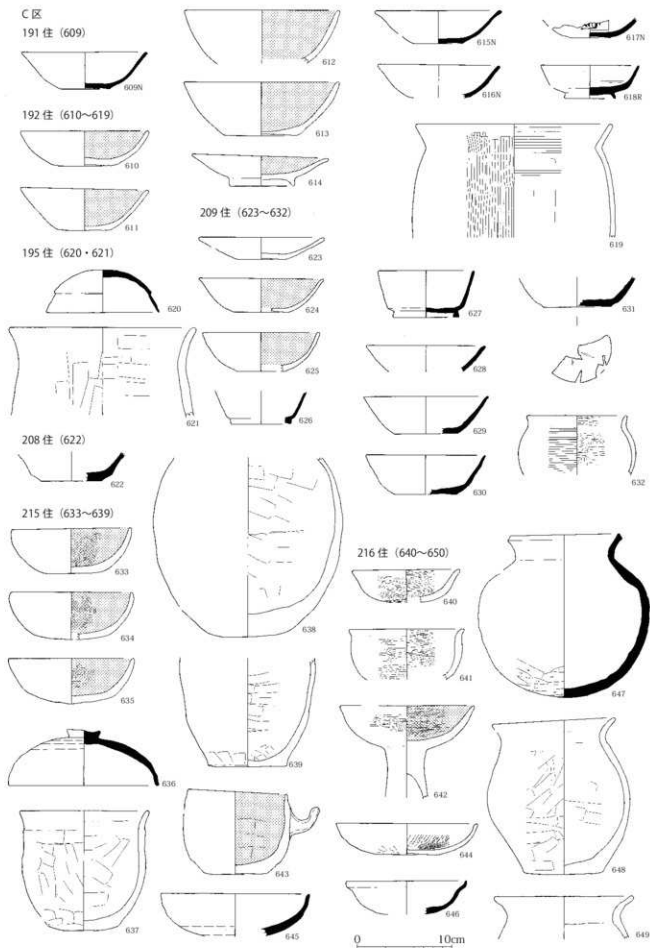
第43図 土器実測図(17)



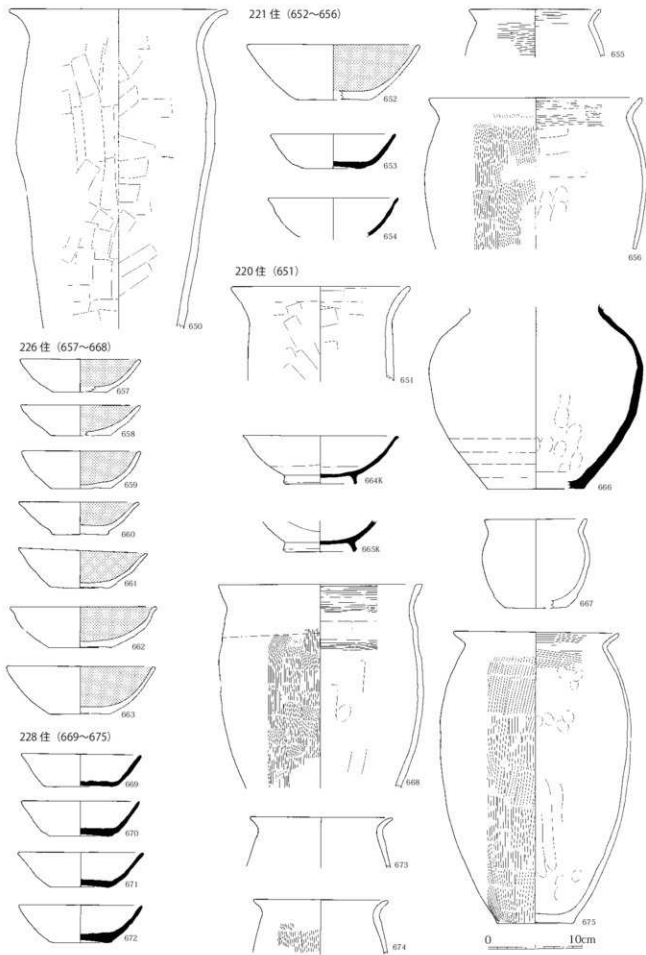
第44图 土器実測图(18)



第45图 土器实测图(19)

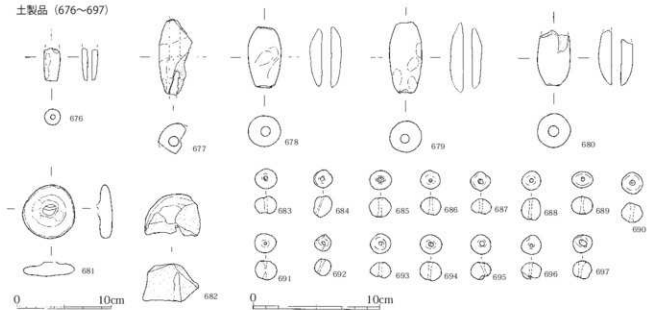


第46图 土器実測图(20)



第47図 土器実測図(21)

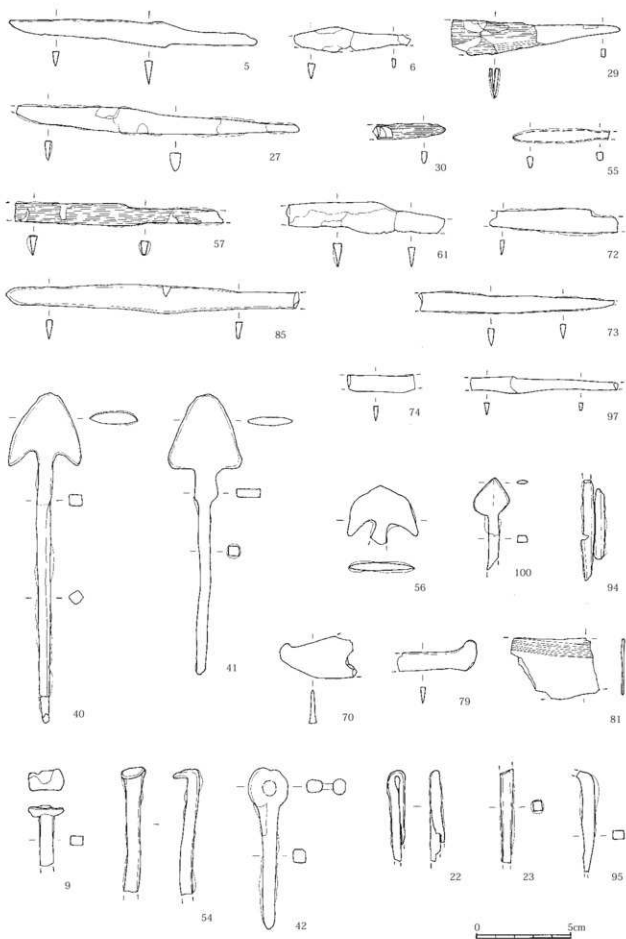
土製品 (676~697)



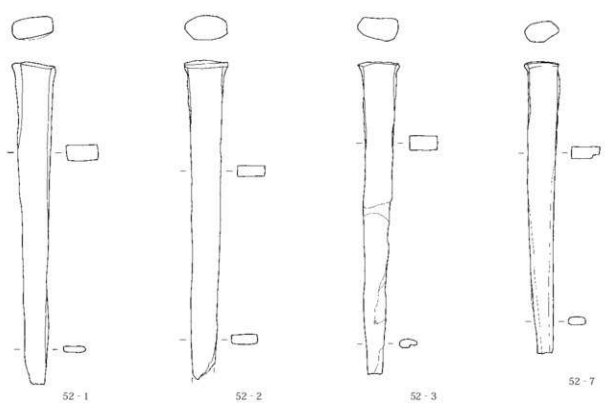
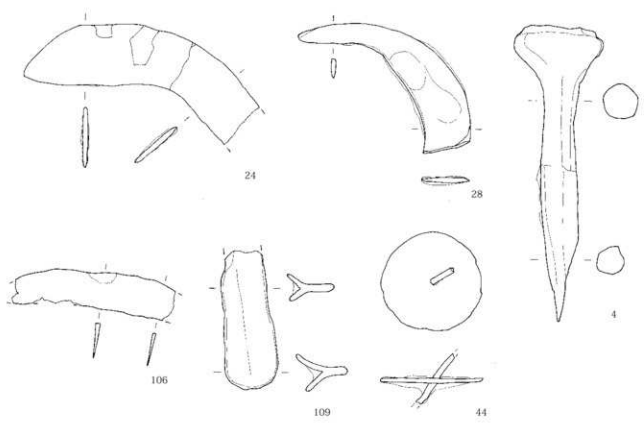
第48図 土製品実測図

物料No	発注No	出仕情報	地区	部種	部位等	組大径	組大高	組大幅	重量	全長(単位)	備考
1	2A	№6 174/177	A	本体	棒状	51.9	5.1	4.3	2.2	根拠:前継ぎ	
2	2A	№6 古代継出鋼	A	本体	棒状	104.2	13.5	9.7	17.9	根拠:前継ぎ	
3	2A	№6 中継上鋼	A	棒		74.6	8.4	6.2	4.6	根拠:一部欠損	
4	50	2A 1110611	A	本体	棒状	138.0	15.0	20.0	14.0	完全	
5	49	2A 1110611	A	本体	棒状	132.3	14.3	6.0	14.7	完全	
6	49	2A 1110611	A	本体	棒状	61.5	14.0	4.0	4.6	継ぎ鋼の無い	
7	2A	№13 915補上鋼	A	棒		29.7	3.1	1.6	1.2	完全	
8	2A	№30 111E	A	本体	棒状	41.3	8.8	6.7	3.8	完全	
9	49	2A 1110611	A	本体	棒状	35.1	18.3	12.5	4.3	左右に鋼筋が露出	
10	2A	№31 111E	A	本体	棒状	134.4	13.3	11.3	3.7	完全	
11	2A	№32 111E	A	本体	棒状	33.1	7.5	6.2	2.3	根拠:前継ぎ	
12	2A	№34 111E	A	本体	棒状	99.4	11.8	9.5	17.4	完全	
13	2A	915補上鋼(25cm-25cm)	A	棒		47.7	7.7	3.2	4.4	完全	
14	2A	50NS補上鋼(継出鋼-25cm)	A	継ぎ鋼		25.2	2.4	3.7	4.0	完全	
15	2A	915補上鋼	A	本体	棒状	35.8	16.7	5.3	5.2	完全	
16	2A	915補上鋼	A	本体	棒状	37.5	14.5	12.8	12.4	完全	
17	2A	915補上鋼	A	本体	棒状	83.5	11.9	4.7	8.4	完全	
18	2A	915補上鋼-1E	A	継ぎ鋼		27.0	23.4	21.6	21.1	根拠:前継ぎ	
19	2A	915補上鋼-1E	A	継ぎ鋼		24.0	5.9	4.1	0.8	完全	
20	2A	915補上鋼-1E	A	継ぎ鋼		20.3	15.2	10.2	3.9	完全	
21	2A	111063	A	本体	棒状	52.5	43.0	27.0	54.7	完全	
22	49	2A 1110611	A	本体	棒状	48.8	10.2	8.1	5.1	根拠:前継ぎ	
23	49	2A 1110644	A	本体	棒状	50.2	9.0	7.8	5.0	継ぎ鋼-1E	
24	50	2A 1110617	A	本体	棒状	126.0	5.3	5.1	38.7	完全	
25	2A	1110644	A	本体	棒状	51.2	11.2	6.3	4.0	完全	
26	2A	1110644	A	本体	棒状	24.3	3.5	5.1	1.1	小片	
27	49	2A 1110645	A	本体	棒状	149.5	15.4	9.3	20.7	完全	
28	50	2A 1110646	A	本体	棒状	106.6	25.7	5.8	38.7	完全	
29	49	2A 1110646	A	継ぎ鋼		89.8	18.9	17.4	13.1	根拠:継ぎ鋼の無い	
30	49	2A 1110646	A	継ぎ鋼		38.5	9.6	5.8	2.5	本貫存在	
31	2A	1110646	A	継ぎ鋼		45.6	9.9	2.6	2.0	完全	
32	2A	1110646	A	継ぎ鋼		21.2	13.1	5.9	2.0	完全	
33	2A	1110646	A	継ぎ鋼		19.3	10.0	5.8	0.9	完全	
34	2A	1110646-20cm	A	継ぎ鋼		24.3	7.6	7.6	2.0	完全	
35	2A	1110646-2E	A	継ぎ鋼		33.0	4.0	4.7	1.8	完全	
36	2A	1110646-2E	A	継ぎ鋼		44.0	2.9	7.6	11.6	完全	
37	2A	1110646-1E	A	継ぎ鋼		28.8	1.9	1.9	0.4	不明	
38	2A	121066	A	継ぎ鋼		84.0	3.1	9.0	9.0	完全	
39	2A	1310610	A	継ぎ鋼		46.3	8.4	4.2	3.7	完全	
40	49	2A 1310613	A	継ぎ鋼		176.5	39.2	9.6	32.4	完全	
41	49	2A 1310614	A	継ぎ鋼		150.7	39.5	13.8	36.9	完全	
42	49	2A 1310617	A	継ぎ鋼		181.4	21.8	10.4	31.5	完全	
43	2A	1310618	A	継ぎ鋼		29.9	9.9	5.7	5.7	完全	
44	50	2A 1710610	A	継ぎ鋼		54.7	54.3	3.9	31.8	完全	
45	2A	171061	A	継ぎ鋼		43.3	30.9	11.4	17.5	完全	
46	2A	21106	A	継ぎ鋼		45.4	8.5	8.2	4.6	完全	
47	2A	231061	A	継ぎ鋼		31.3	12.2	6.1	4.1	完全	
48	2A	231061	A	継ぎ鋼		34.3	2.1	4.6	0.9	完全	
49	2A	2810651-55x50高	A	継ぎ鋼		22.7	7.7	6.4	1.5	完全	
50	2A	301061	A	継ぎ鋼		84.2	15.1	5.6	9.4	完全	
51	2A	311061	A	継ぎ鋼		39.7	12.4	5.4	3.4	完全	
52	50-51	2A 351061	A	継ぎ鋼		250.0	105.0	54.0	962.0	完全	
53	2A	351065	A	継ぎ鋼		23.8	6.6	5.0	1.5	完全	
54	49	2A 351061	A	継ぎ鋼		61.1	13.3	8.0	11.9	完全	
55	49	2A 361061	A	継ぎ鋼		51.7	8.3	6.2	4.2	完全	
56	49	2A 1104-105x70	A	継ぎ鋼		37.7	30.3	7.6	11.0	完全	
57	49	2A 111065	A	継ぎ鋼		110.9	14.6	8.3	18.1	完全	
58	2A	14106	A	継ぎ鋼		25.1	11.7	5.2	2.0	完全	
59	2A	14106	A	継ぎ鋼		33.2	8.8	4.1	1.6	完全	
60	2A	14106	A	継ぎ鋼		44.3	17.5	3.1	20.8	完全	
61	49	2A 14106	A	継ぎ鋼		94.4	17.6	6.5	11.8	完全	
62	2A	14106	A	継ぎ鋼		62.2	22.2	8.6	10.9	完全	
63	2A	17106	A	継ぎ鋼		35.8	6.0	3.2	1.0	完全	
64	2A	17106	A	継ぎ鋼		49.2	9.2	8.3	3.3	完全	
65	2A	17106	A	継ぎ鋼		15.8	7.8	6.5	0.8	完全	
66	2A	18106	A	継ぎ鋼		20.0	7.8	4.5	2.5	完全	
67	2A	18106	A	継ぎ鋼		23.7	11.4	5.2	1.7	完全	
68	2A	17106	A	継ぎ鋼		17.7	5.9	5.5	0.9	完全	
69	2A	17106	A	継ぎ鋼		30.0	4.4	7.2	2.8	完全	
70	49	2A 17106	A	継ぎ鋼		42.1	23.5	6.0	6.6	完全	
71	2A	№36 40E	A	継ぎ鋼		51.0	11.2	10.8	7.6	完全	
72	49	2A 17106	A	継ぎ鋼		67.9	15.5	7.7	12.2	完全	
73	49	2A 17106	A	継ぎ鋼		103.5	13.2	7.1	13.4	完全	
74	49	2A 17106	A	継ぎ鋼		36.3	10.1	4.6	3.9	完全	
75	2B	17106	A	継ぎ鋼		25.8	4.7	4.5	0.8	完全	
76	2B	17106	A	継ぎ鋼		47.7	12.7	6.5	6.1	完全	
77	2B	17106	A	継ぎ鋼		29.8	17.4	3.9	8.9	完全	
78	2B	17106	A	継ぎ鋼		20.3	11.7	9.5	2.4	完全	
79	49	2A 17106	A	継ぎ鋼		42.8	16.2	5.1	3.2	完全	
80	49	2A 17106	A	継ぎ鋼		19.9	13.9	4.5	3.8	完全	
81	49	2A 5610NS上鋼	A	継ぎ鋼		42.6	32.5	5.7	13.2	完全	
82	49	2A 5610NS上鋼	A	継ぎ鋼		31.0	7.4	7.0	3.0	完全	
83	2B	6110E	A	継ぎ鋼		19.7	10.7	7.7	1.7	完全	
84	2B	6110E	A	継ぎ鋼		20.6	18.2	13.7	6.6	完全	
85	49	2A 6810NS	A	継ぎ鋼		154.5	16.2	8.9	31.3	完全	
86	2B	6810NS	A	継ぎ鋼		35.0	12.8	5.9	7.8	完全	
87	2B	7110E	A	継ぎ鋼		39.6	13.8	8.9	6.8	完全	
88	2B	7110E	A	継ぎ鋼		40.5	12.1	5.1	3.7	完全	
89	2B	7110E	A	継ぎ鋼		74.5	8.5	4.6	4.8	完全	
90	2B	7110E	A	継ぎ鋼		14.6	10.4	5.0	1.5	完全	
91	2B	7110E	A	継ぎ鋼		23.8	18.3	16.0	11.1	完全	
92	2B	8310NS	A	継ぎ鋼		21.2	10.4	9.4	3.4	完全	
93	2B	8310NS	A	継ぎ鋼		31.8	25.3	6.2	4.9	完全	
94	49	2B 9310NS	A	継ぎ鋼		54.3	14.5	9.0	9.9	完全	
95	49	2B 1011E	A	継ぎ鋼		55.1	12.1	7.7	6.1	完全	
96	2B	1011E	A	継ぎ鋼		25.2	9.7	5.8	10.7	完全	
97	49	2B 1181E	A	継ぎ鋼		78.5	10.1	4.8	5.1	完全	
98	2B	1241E	A	継ぎ鋼		31.0	12.0	6.7	10.0	完全	
99	2B	1241E	A	継ぎ鋼		49.4	19.5	7.1	4.9	完全	
100	49	2B 1401NS-56x55	A	継ぎ鋼		22.1	10.1	5.8	1.7	完全	
101	2B	1431E	A	継ぎ鋼		38.6	8.8	6.5	1.9	完全	
102	2B	1531E	A	継ぎ鋼		35.8	10.3	7.2	3.8	完全	
103	2B	1531E	A	継ぎ鋼		35.8	10.3	7.2	3.8	完全	
104	2B	1531E	A	継ぎ鋼		28.4	7.7	4.7	2.0	完全	
105	2B	2261E	A	継ぎ鋼		89.5	11.0	8.2	6.2	完全	
106	50	2C 22810E	A	継ぎ鋼		86.3	21.6	3.8	9.6	完全	
107	2C	22810E	A	継ぎ鋼		46.7	10.4	8.1	4.9	完全	
108	2C	2310E	A	継ぎ鋼		28.2	24.8	18.3	6.9	完全	
109	50	2C 2321E	A	継ぎ鋼		75.1	30.8	17.2	43.1	完全	
110	2C	2310E	A	継ぎ鋼		91.6	11.6	11.1	17.4	完全	

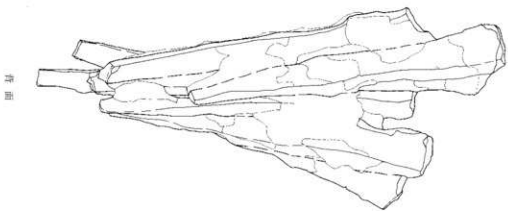
第6表 金属製品一覧表



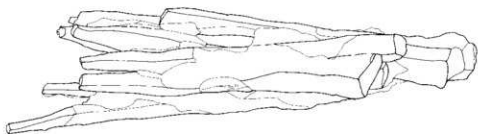
第49图 金属製品実測図(1)



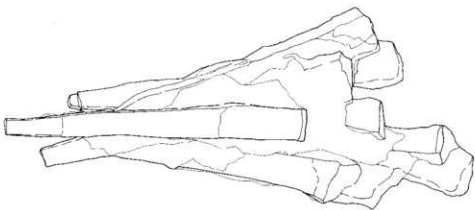
第50図 金属製品実測図(2)



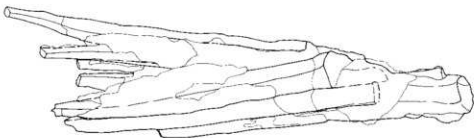
背面



左側



正面



右側

第51圖 金屬製品実測圖(3) 35住出土品(52)出土折斷



5 石器・石製品(第7表・第52～54図)

本次調査において総数191点の石器・石製品を回収し、その内、剥片・砕片・礫片を除く141点を報告対象とした。実際の遺構の時期に該当する石器・石製品は33点が考えられる。これらは共伴する土器形式から古墳時代後期から奈良時代に帰属すると推測される。その他に、混入品ないし流入品である縄紋時代の石器が多数確認できる。遺構から出土した石器・石製品、または定型的な縄紋石器を中心に37点を図示し、概要を述べる。それら以外のものは観察表を参照されたい。

勾玉(第52図1) 1点出土した。滑石製で断面形はやや扁平な円形を呈す。孔径は最大0.23cmで、孔は両端から穿かれている。

砥石(第52図2～11・第52図12・13) 合計16点出土し、12点を図示した。内訳は手持ち砥石が7点(2～4・6・9～11)と置き砥石5点(5・7・8・12・13)がある。両者は重量と寸法により、手で持つての使用が可能かどうかで区別した。多数の砥石に線条痕が観察される。石材はほぼ砂岩製で中砥ないし粗砥に分類できる。2は粗粒の砂岩製で、上部中央に直径最大0.43cmの両面穿孔による孔をもつ。形状は玉斧に似るが、石材や刃部が形成されていないことから砥石として扱った。3は砥面に炭化物の付着が認められる。12・13はそれぞれ別の遺構(118住と147住)からした接合資料である。溝状の線条痕が観察され、砥面が大きく内湾している。

凹石類(第53図14～19) 石材の大きさや凹みの形状、深さに関わらず、凹部が形成されているものを「凹石類」とした。合計10点出土し、6点図示した。14は表裏・側面の4面に凹部が確認でき、さらに凹部以外の表面は1面を除きつぶさに研磨されている。使用により磨面が形成されたというよりは、整形によるものであると考えられる。15・16は平面形が楕円の礫を素材にし、小凹部をもつ。16は裏面に弱い磨面が認められる複合石器である。17～19は平面形が円形の礫を素材にし、大凹部をもつ。18は裏面にも小凹部を有す。

台石(第53図20～22・第54図23) 大形の扁平礫を素材とし、平坦面に研磨・磨耗痕や付着物など人工痕が観察され、床に置いて使用したと想定されるものを「台石」とした。20は片面の中央に直径5.5cm程の範囲でススの付着が認められる。21・22は半分に分れた状態で出土し、表裏面の広範囲に擦り痕が観察できる。23は表裏面に擦り痕がみられ、その中央付近に被熱による表面の剥落や片面に黒色化した被熱痕が重なる様に認められることから、小鍛冶等に関わる鉄床石の可能性が考えられる。

ナイフ形石器(第54図24) 1点出土した。珪質頁岩製で、石刃と思われる縦長剥片を素材としている。打面を下に置き、左側縁と右側縁の尖頭部以外に腹面を打面とする剥離が施されている。右側縁の裏面には縁辺に直行するように線条痕が明瞭に認められる。形態的には茂呂型ナイフ形石器の範疇に含まれるか。

石鏃(第54図25～31) 合計8点出土し、7点図示した。基部による内訳は、無茎凹基が4点(25・27・30・31)、無茎円基1点(29)、有茎凹基1点(28)、不明2点(26)である。円基の29は刃部への調整加工痕が少ないため未製品の可能性も考えられる。石材は29のチャート製を除き、すべて黒曜石製である。

石錐(第54図32・33) 2点出土した。両者とも黒曜石製で、明瞭なつまみ部をもたず、平面形が逆三角形形状を呈す。32は石鏃との区別が困難であるが、錐部と思われる先端部の断面形や、調整加工痕が先端部に集中していることから石錐とした。

エンドスクレーパー(第54図34) 8点出土し、1点図示した。素材の打面部を加工し、刃部が作出されている。末端部は欠損しており、平面形は不明である。肉眼観察で、若干の刃つぶれ状の痕跡が確認できる。

石匙(第54図35) 1点出土した。いわゆる横型の石匙で、明瞭なつまみ部をもつ。刃部の形態は外湾刃で、基本的には両面加工による刃付けが施されている。

打製石斧(第54図36・37) 合計12点出土し、全体形状が確認できる2点を図示した。欠損品の中には、二次加工ある剥片や石核との区別が困難なものも含まれる。36は刃部中央が局所的な剥離によりやや内湾しているため、使用に際した刃こぼれが推測される。

図 No.	注記	種類	地 区	出土地点1	出土地点2	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重量(g)	破損状況	備考
2		石塊	A	5住	SW	黒曜石	2.62	1.00	0.59	1.5		両面割削、2側面に微細彫刻あり
3		石塊	A	5住		黒曜石	2.40	2.24	2.65	10.6		両面割削
4		微細彫刻ある剥片	A	9住	EW-ベルト	黒曜石	2.99	2.39	0.57	4.4		1側縁微細彫刻あり
5		石塊	A	9住	EW-ベルト	黒曜石	2.19	1.34	1.09	2.5		両面割削
6		打製石斧	A	9住	SE上層	千枚石	0.40	6.54	2.20	219.5		刃部・基部折れ
8		石塊	A	11住	NS-ベルト	黒曜石	2.48	0.93	0.64	1.6		両面割削
9		石塊	A	11住	SW	砂岩	14.71	13.28	1.07	23.2		4面折れ
10		打製石斧	A	11住	NS-ベルト	花崗岩片?	7.93	9.48	1.05	48.2		2面折れ?
12		打製石斧	A	13住		花崗岩片?	7.84	14.78	2.08	97.3		2面折れ
13		二次加工ある剥片	A	13住	NE	黒曜石	0.00	1.99	0.62	0.9		折れ
14		二次加工ある剥片	A	13住		黒曜石	2.16	1.62	0.31	1.3		2側縁加工、片面加工(部分的) 、断面状
15		石塊	A	14・16住		チャート	2.21	3.38	2.33	19.0		両面割削
16		石塊	A	19住	No.1	黒曜石	1.69	1.40	0.47	0.7		両面割削あり
3 18		石塊	A	23住	No.16	砂岩	0.81	4.73	2.25	158.5		両面割削、軟状燧石材、手持ち砥石、炭化物付着
19		打製石斧	A	26住	EW-ベルト	硬砂岩	0.42	0.80	0.90	8.5		上下折れ?
20		石塊	A	27住	NW	黒曜石	2.94	1.78	2.37	7.8		両面割削
21		二次加工ある剥片	A	27住	SE	砂岩	0.40	0.33	1.04	0.7		折れ
22		石塊	A	28住	EW-ベルト	黒曜石	1.55	0.85	0.23	0.2		1面片方の定刻のみ現
2 23		石塊	A	30住	No.2(No.23)	砂岩	6.13	3.59	0.65	22.9		全面割削、穿孔(最大φ43cm)
24		打製石斧	A	30住	No.3	ホルンフェルス	10.50	9.04	3.07	365		1面折れ、刃部
18 25		石塊	A	30住	No.5(No.26)	火山岩	1.52	13.2	7.5	1790		大凹欠1・小凹欠1箇所、円礫素材、凹深5.2cm・0.5cm
26 27		石塊	A	32住?	NW	黒曜石	1.33	1.48	0.31	0.6		両面割削・基部折れ
28		石塊	A	33住		黒曜石	2.58	2.11	0.77	3.1		両面割削、側面片材付
29		石塊	A	33住		黒曜石	1.95	3.52	1.67	9.1		両面割削
30		微細彫刻ある剥片	A	39住	P1	黒曜石	2.35	2.45	0.78	3.1		1側縁微細彫刻、主要側面に擦痕あり
31		微細彫刻ある剥片	B	41住		黒曜石	1.86	0.89	0.89	1.3		1側縁微細彫刻あり
27 36		石塊	B	43住	SE	黒曜石	1.50	1.15	0.25	0.2		基部と側面一部折れ 無葉凹基盤、片定刻痕跡後に再調整
28 37		石塊	B	45住?		黒曜石	0.98	1.42	0.48	0.7		有葉凹基盤
38		石塊	B	46住	SE	黒曜石	2.83	1.21	1.12	4.2		両面割削・両面片材付
39		エンドスクレーパー	B	46住	カマド?	砂岩	1.87	2.45	0.68	3.3		両面割削
42		微細彫刻ある剥片	B	53住		黒曜石	0.20	1.92	0.41	1.3		2面折れ
43		微細彫刻ある剥片	B	53住		黒曜石	1.73	2.48	0.63	2.3		1側縁微細彫刻あり
5 45		石塊	B	56住	No.15	砂岩	13.43	7.50	4.83	93.5		両面割削、断面状
46		石塊	B	59住	SW	黒曜石	2.55	1.13	0.78	2.3		両面割削、1側面に微細彫刻あり
47		石塊	B	62住	SW	黒曜石	2.40	4.10	2.14	1.4		両面割削、打面再生
49		二次加工ある剥片	B	62住	NW	黒曜石	1.30	1.62	0.22	0.4		1面折れ
50		打製石斧	B	64住	NW	硬砂岩	7.95	9.99	1.48	54.4		上下折れ
51		石塊	B	66住	NE 床	片岩	19.95	9.35	5.64	1260		両面割削(うち2面は局部的)、直方体燧石材
30 52		石塊	B	66住	No.1	黒曜石	1.70	1.19	0.37	0.4		両面割削先端折れ
15 53		石塊	B	68住	No.11	火山岩	2.22	14.3	11.0	5500		両面割削、基部の持ち手非常に深、側面には内潰し、下部は外潰し
16 54		凹・磨石	B	68住	No.12	火山岩	18.1	11.2	7.3	2260		小凹欠1箇所、磨石燧石材、磨(強い凹部)あり、凹深0.7cm
29 58		石塊	B	71住	NS-ベルト	黒曜石	2.66	1.74	0.63	2.0		小凹欠1箇所、磨石燧石材(側面に平面面を持つ)、磨(両面) 無葉凹基盤、調整すくないため完成の可能性あり
33 59		石塊	B	71住	W	黒曜石	2.76	2.51	0.85	4.6		近三角形
60		石塊	B	71住	NS-ベルト	黒曜石	2.07	3.23	1.67	9.3		両面割削
61		エンドスクレーパー	B	72住	NW	黒曜石	2.82	1.50	0.41	1.7		1面折れ
65		二次加工ある剥片	B	81住	N	黒曜石	1.15	1.90	0.50	0.6		1側縁加工
68		二次加工ある剥片	B	98住	E	黒曜石	1.89	1.87	0.80	2.2		2側縁加工
69		石塊	B	110住	NE	黒曜石	1.35	1.74	1.09	2.1		両面割削
23 70		台石	B	110住	No.20	火山岩	26.4	19.8	7.6	8500		両面割削、中央突起、その周辺が深く割削、磨(両面)
14 71		石塊	B	111住	No.2	火山岩	9.42	8.53	6.63	960		一部表面面切り落ち
12 72		石塊	B	118住	N	砂岩	10.10	7.05	5.30	45.5		両面割削、両面4面(表・裏・両側面)、両面割削あり、直方体燧石材、長さ12と接合
73		石塊	B	118住	N	黒曜石	3.94	2.89	1.45	16.2		両面割削
17 74		石塊	B	121住	No.1	火山岩	21.7	18.2	10.1	4350		4/5現存(表面欠け) 大凹欠1箇所、円礫素材、凹深2.2cm
7 75		石塊	B	122住		砂岩	16.7	12.1	9.1	3320		両面割削、両面2面(表・裏面)、直方体燧石材、磨き砥石
76		凹石?	B	122住		火山岩	9.79	8.30	3.05	310		両面割削
34 77		エンドスクレーパー	B	122住	SW上・中層	凝灰岩	4.53	3.25	0.72	10.2		1面折れ
78		石塊	B	122住	カマド覆土	石英	4.21	2.36	1.82	17.7		両面割削
81		二次加工ある剥片	B	124住	122-124住 NT-レンヂ	黒曜石	2.38	1.08	0.37	0.9		
1 82		均玉	B	125住	No.58	滑石	1.85	1.18	0.46	1.3		穿孔(最大φ0.23cm)
6 83		石塊	B	125住	No.7	砂岩	1.390	(7.12)	(3.16)	(590)		両面割削、両面2面(表・裏・両側面)、両面割削あり、軟状燧石材
21 84		台石	B	125住	No.	火山岩	16.7	22.5	6.95	5180		両面割削、両面6面(凹部)に擦痕あり、長さ12と接合
22 85		台石	B	125住	No.	火山岩	16.7	15.4	6.95	4000		平分に割れ
4 87		石塊	B	132住	S	砂岩	9.90	5.75	2.81	203.3		両面割削、両面1面(強い)、両面割削あり、軟状燧石材
9 89		石塊	B	133住	No.27	砂岩	112.80	8.62	2.68	15.5		1面折れ
19 92		石塊	B	135住		火山岩	25.1	22.4	15.7	9950		両面割削、両面2面(表・裏面)、軟状燧石材、大凹欠1箇所、両面割削あり、凹深3.6・1.3cm

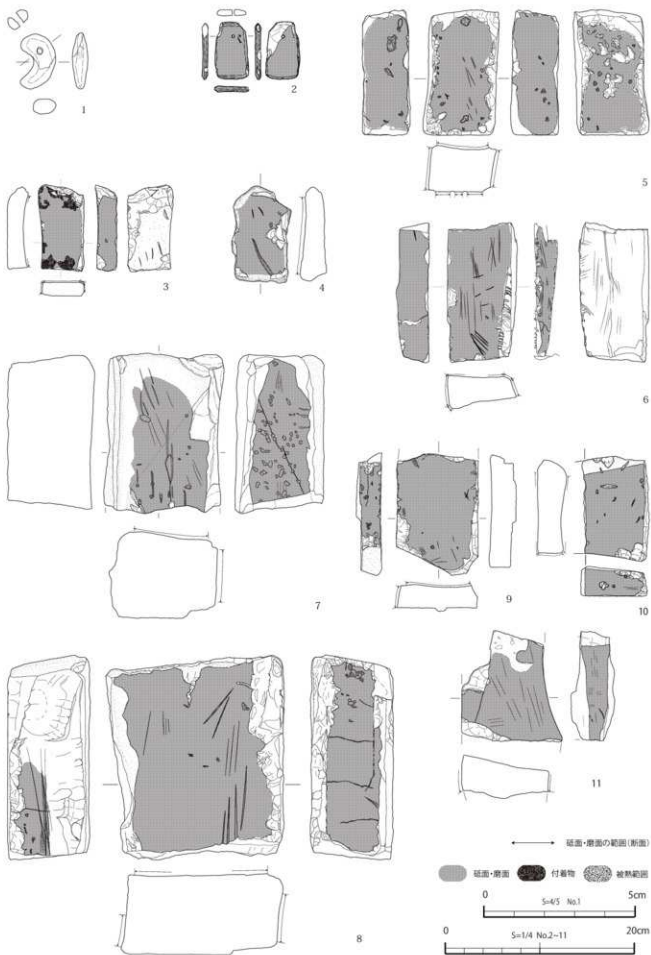
第7表 石器・石製品観察表(1/2)

93	打製石斧	B	135・140位	BWトレンチ 北平	泥岩?	9.90	4.84	1.14	8.29	知照形、円口、水流による磨減か	
13	94	礫石	B	147位	No.10	砂岩?	(12.15)	5.55	5.59 (505)	1面折れ 砥石4面(うち3面に磨痕あり)、直方体、手持ち肌、長110に適合	
95	サイドスクレーパー	B	148位	N	黒曜石	2.69	1.43	0.78	2.8	片割調整	
8	96	礫石	B	155位	No.9	砂岩	(2.14)	18.9	8.4	(6000)	砥石3面(表裏・側面)、板状礫素材、磨き砥石
99	エンドスクレーパー	B	159位	S級下層	チャート	(2.34)	(3.32)	(0.96)	(7.2)	折れ	
10	100	礫石	B	163位	N	砂岩	11.10	(6.71)	(3.12)	(410)	1面折れ 砥石3面(表・裏・側面)、磨痕あり、板状礫素材
101	二次加工ある断片	B	186位	E	チャート	2.86	1.94	0.90	3.8	1面折れ 砥石1面、片面加工	
102	二次加工ある断片	C	191・192位	N	チャート	4.17	3.75	1.13	20.7	2面折れ 2面側縁加工	
103	二次加工ある断片	C	198位	N	黒曜石	4.36	2.16	0.66	2.8	2面側縁加工	
11	105	礫石	C	215位	N	砂岩	(10.65)	(11.24)	(3.94)	(545)	3面折れ(2面は被熱融跡) 砥石3面(表・裏・側面)、板状礫素材
106	大型打製石斧	C	215位	N	頁岩	(4.53)	(2.96)	0.70	(9.5)	1面折れ 片面片面1面側	
108	打製石斧	C	216位	NE	砂岩	8.74	4.19	1.19		砥石1面、直方 側面、各1面、片面加工(部分的に片面加工)	
35	109	石塊	C	216位	NE	滝沢頁岩?	4.95	6.20	1.02	21.7	折れ
110	サイドスクレーパー	C	220位	N	黒曜石	(2.02)	(1.53)	0.30	1.1	2面折れ 片面片面2面側	
111	エンドスクレーパー	C	226位	W	黒曜石	3.63	2.17	0.25	6.5	1面折れ 小凹表1側面1箇所(いずれも磨痕茂り不明)、砥石素材	
112	凹石?	A	±128		安山岩	8.08	7.80	5.94	34.0	1面側縁加工、片面加工	
114	二次加工ある断片	A	±102		黒曜石	1.90	1.59	0.36	0.9	1面側縁加工、片面加工	
116	二次加工ある断片	A	±94周辺 ~20・22位		黒曜石	1.54	(1.72)	(0.45)	(1.2)	折れ 片面・未端加工、片面加工	
117	微細磨ある断片	A	溝1		黒曜石	2.51	1.43	0.45	1.1	1面側縁加工	
118	二次加工ある断片	C	溝7		黒曜石	(0.08)	(0.22)	(0.03)	(0.3)	1面折れ 1面側縁加工	
119	二次加工ある断片	C	溝7		黒曜石	(0.66)	(1.83)	(0.55)	(0.6)	1面折れ 1面側縁加工	
121	石塊	B	溝1		チャート	16.3	11.1	9.0	23.0	折れ	
122	石塊	A	溝1		黒曜石	1.92	2.75	0.92	2.7	1面側縁加工	
124	微細磨ある断片	A	溝路1?		黒曜石	2.18	1.19	0.29	1.1	微細磨、断面素材か 2面側縁磨あり	
126	石塊	A	溝路1・2		石炭	1.34	1.21	1.02	1.5	両面側縁 両面側縁	
127	二次加工ある断片	A	溝路2		チャート	3.12	2.57	0.74	7.5	1面側縁・未端加工、片面加工	
128	石塊	A	溝路2		黒曜石	2.03	1.24	0.86	2.2	断面側縁	
129	石塊	A	溝路4	No.19	安山岩	2.11	1.70	1.73	3.0	断面側縁 断面側縁、砥石素材	
130	石塊	A	溝路4		黒曜石	1.54	1.85	0.85	2.5	断面側縁	
131	二次加工ある断片	A	溝路4		珪質頁岩?	(15.8)	(19.9)	(0.33)	(1.5)	折れ 片面加工、石塊・石炭?	
132	微細磨ある断片	A	溝路4		チャート	(1.37)	(1.17)	(0.64)	(0.7)	折れ 1面側縁磨あり	
36	134	打製石斧	A	溝路4・5	硬砂岩?	9.37	4.95	1.48	104.3	知照形、円口	
31	135	石塊	A	溝路5		7.76	(9.30)	(0.25)	(0.4)	折れ 断面側縁(二次加工三角磨)	
37	136	打製石斧	A	溝路5	ホルンフェルス	16.65	7.83	3.66	46.5	折れ 片面一部折れ	
137	微細磨ある断片	A	溝路5		黒曜石	(5.27)	1.93	0.45	(2.8)	折れ 1面側縁磨あり	
139	凹石?	A	凹路?		安山岩	10.95	8.03	7.80	9.0	1面側縁磨あり 1面側縁(凹)、断面素材	
140	エンドスクレーパー	B	凹路?		黒曜石	2.91	2.03	0.64	4.0	2面片面1面側 2面側縁磨あり	
141	微細磨ある断片	A	凹路?		黒曜石	1.16	1.68	0.44	0.6	1面側縁磨あり	
143	石塊	A	凹路?		砂岩	(8.92)	4.71	1.72	(66.7)	折れ 砥石2面、スズ付着(砥石面にもあり)	
144	凹石?	A	凹路?		安山岩	7.30	3.15	3.05	97.2	3面側縁磨あり	
24	145	ナイフ形石塊	A	横山面	珪質頁岩	6.43	1.97	0.55	7.3	両側加工、縦長断片素材、及び型か	
146	打製石斧	B	横山面	硬砂岩?	(8.87)	(5.70)	(1.15)	(86.1)	(42.9)	折れ 片面一部折れ	
147	打製石斧	C	横山面	硬砂岩	(5.38)	(4.58)	(1.61)	(1.0)	(1.9)	片面先端と上半 側縁	
32	148	石塊	B	横山面	黒曜石	1.86	1.51	0.23	0.5	断面側縁、つまみ部調整加工 不明な磨痕、2側面に二次加工あり	
149	石塊	B	横山面	黒曜石	2.61	4.71	1.86	18.9	1面側縁磨あり		
150	石塊	B	横山面	黒曜石	1.72	2.75	1.41	6.6	両側側縁 両側側縁		
151	石塊	C	横山面	黒曜石	2.62	1.25	1.13	2.9	両側側縁 両側側縁		
152	石塊	A	横山面	黒曜石	0.68	0.66	0.12	1.7	両側側縁		
153	石塊	A	横山面	黒曜石	1.93	2.23	0.93	3.3	両側側縁 両側側縁		
154	石塊	A	横山面	黒曜石	1.89	1.54	1.77	4.9	両側側縁 両側側縁		
155	二次加工ある断片	A	横山面	黒曜石	(1.56)	1.44	(4.1)	(1.1)	折れ 2面側縁加工、石塊未製型?		
156	二次加工ある断片	A	横山面	黒曜石	36.8	33.1	17.5	12.1	1面側縁加工		
157	二次加工ある断片	B	横山面	黒曜石	1.44	1.00	0.39	0.5	1面側縁加工		
158	二次加工ある断片	B	横山面	黒曜石	2.03	2.31	0.69	2.3	1面側縁加工		
159	二次加工ある断片	B	横山面	黒曜石	1.15	1.98	0.98	1.5	1面側縁加工		
160	二次加工ある断片	B	横山面	チャート	3.09	2.65	0.79	5.5	1面側縁加工		
161	二次加工ある断片	C	横山面	緑色片岩	(4.02)	(2.45)	0.43	(7.5)	2面折れ 1面側縁加工		
162	二次加工ある断片	A	横山面	黒曜石	2.40	1.96	0.71	3.2	1面側縁加工、石塊未製型?		
163	微細磨ある断片	A	横山面	黒曜石	(2.76)	(1.20)	(0.41)	(1.3)	折れ 1面側縁磨あり		
164	微細磨ある断片	B	横山面	黒曜石	1.64	0.98	0.43	0.6	1面側縁磨あり		
165	微細磨ある断片	B	横山面	黒曜石	2.39	1.91	0.77	2.9	2面側縁磨あり		
166	微細磨ある断片	B	横山面	黒曜石	(1.40)	(0.85)	(0.40)	(0.4)	1面折れ 1面側縁磨あり		
167	微細磨ある断片	B	横山面	黒曜石	1.19	0.81	0.22	0.2	1面側縁磨あり		
168	微細磨ある断片	B	横山面	黒曜石	2.52	(1.74)	0.57	(2.2)	折れ 1面側縁磨あり		
169	微細磨ある断片	C	横山面	黒曜石	(2.78)	(2.33)	(0.65)	(2.5)	1面側縁磨あり		
184	敷石?	C	横山面	石炭	1.39	1.29	1.26	3.9	凹石(長さ1.67mm) 一部断面と上半側縁あり		
185	石塊	B	横山面	粘板岩	(5.45)	(5.54)	0.55	(12.0)	4面折れ 1面側縁磨あり		
187	微細磨ある断片	C	凹路?上層	黒曜石	0.96	1.06	0.41	0.3	1面側縁磨あり		
189	石塊	A	直1直上層	黒曜石	2.8	1.58	1.98	7.6	両側側縁 両側側縁		
190	二次加工ある断片	B	採集資料 中1号	黒曜石	3.33	1.59	1.32	7.3	両側側縁、2側縁に連続した小磨痕		
191	二次加工ある断片	B	採集資料 中2号	黒曜石	(1.77)	(1.24)	(0.33)	(0.5)	1面折れ 断面1面(部分的)		
192	凹石?	C	採集資料 中3号	砂岩	(6.65)	9.01	2.25	(27.8)	縦断に折れ 断面1面(部分的)		
193	エンドスクレーパー	C	採集資料 中4号	チャート	4.78	2.83	1.77	23.3	片面片面1面側 表面中央に直径5.5cmのスズ付着 磨痕あり		
20	195	凹石	B	不明	安山岩	25.6	24.8	6.4	72.50	片面片面1面側	
198	エンドスクレーパー	B	灘丸	黒曜石	2.97	1.62	0.89	3.4	片面片面1面側 断面側縁、砥石素材、凹路±1.5cm		
199	凹石	A	灘丸	No.1	安山岩	14.6	13.4	9.5	2500	断面側縁磨あり	

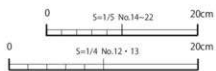
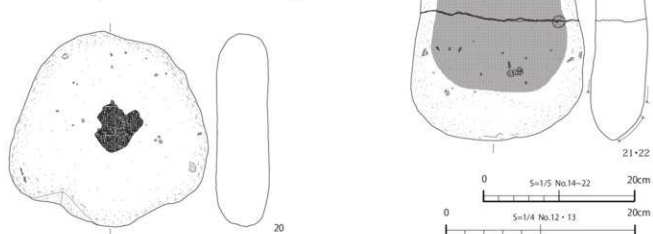
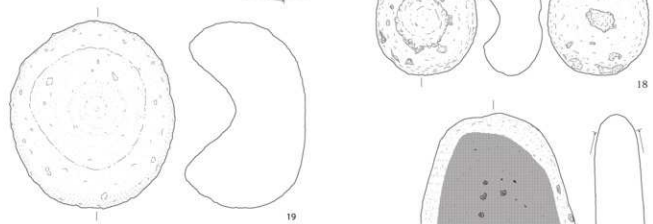
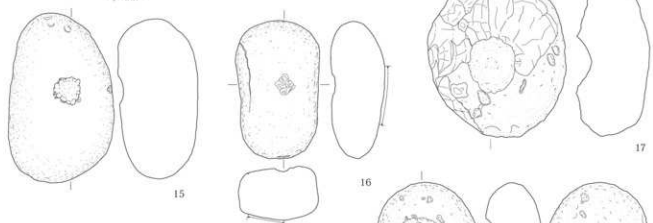
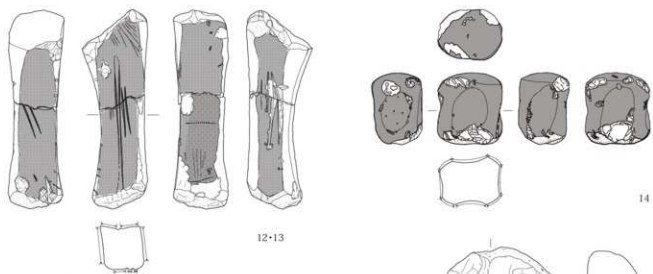
※1 寸法・重量等の単位はcm・kg単位、100g以下は10g単位

※2 1200g未満は10.1g単位、1200g以上は10g単位

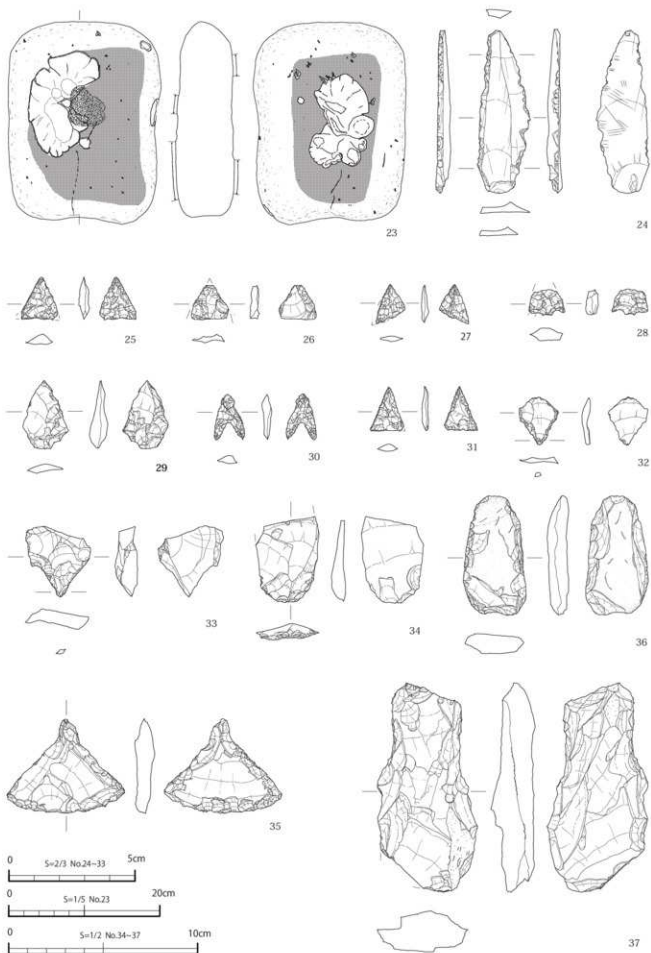
第7表 石器・石製品観察表 (2/2)



第52図 石器・石製品実測図(1)



第53図 石器・石製品実測図(2)



第54図 石器・石製品実測図(3)

第IV章 総括

1 検出された遺構の時期と分布の特徴

確認および調査された竪穴住居址の時期は基本的に出土土器によって判別したが、土器の時期を検討することができた85棟(うち時期確定は83棟)は、古墳時代前期から平安時代前半までの間に連綿として継続している。時期別の住居棟数は下表に示すとおりで時期毎の棟数にかなりばらつきがあるが、この傾向は調査地全域の遺構の時期とほぼ等しいと考える。

時期が特定できた竪穴住居址を詳細にみると、古墳時代は前期に相当するものが1棟、中期に相当するものは5棟で、いずれもB東区で検出されており、調査地内では東に偏在して、分布密度はかなり低い。後期は20棟で後半の7世紀代に集中している。やはりB東区に分布の中心があり東へ偏る傾向を認めたい。奈良時代から平安時代については57棟で調査地全域に分布し、時期的には主体となる。ただし10世紀前半までにすべて取まり、それ以後の竪穴住居址は確認できない。掘立柱建物址や土坑などの遺構はⅢ章で述べたとおり詳細な時期の特定はできない。

調査地内における全体的な遺構の時期と分布の関係は、以下のような概略にまとめることができる。

- ① 古墳時代前期～中期:東側から竪穴住居の分布が小規模に始まる
- ② 古墳時代後期:前代の分布傾向が継続し遺構数が拡大する
- ③ 奈良時代～平安時代9世紀代:調査地全域に拡がり遺構数も最大となる
- ④ 平安時代10世紀前半:急激に数を減じて消滅する

2 遺跡の立地と薄川扇状地の開発

新井遺跡は薄川扇状地の扇尖部に立地しているが、同扇状地上には本遺跡の他にも多くの遺跡が分布している。主な遺跡としては本遺跡の上流側に堀の内遺跡、下流側に下原遺跡、宮北遺跡が近接し、距離を置いて南方には曳川寺遺跡、針塚遺跡、北小松遺跡、西方に泉町遺跡、北方に惣社遺跡、南東には薄町遺跡、鎌田遺跡、石上遺跡が分布する。これら周辺遺跡ではこれまでの発掘調査で多く

の遺構・遺物が発見されており、ある程度の年代観が把握されている(第Ⅱ章第2節参照)。それに基づくと、薄川扇状地は右岸では扇頂部の堀の内遺跡や鎌田遺跡、扇端部では泉町遺跡で弥生時代中期後半から後期にかけて本格的な開発が始まり、古墳時代後期には扇尖部の下原遺跡、宮北遺跡でも集落が形成され始める。これらの集落址は若干の断続はあるが継続し、平安時代前半期には全域で集落が展開している。

このような扇頂部・扇端部から扇尖部へと向かう開発の図式は、もちろんその背景として水利の問題があったことは間違いないと考えるが、古墳時代後期から扇尖部において水利の改良が進んだ具体的な原因のひとつに流路の管理や用水の開削を考えておく必要があろう。その点で扇頂部に立地する堀の内遺跡(弥生時代後期～平安時代)の下流側(西側)に近接する今回の調査地点の動向は注目されるべきものである。すなわち東西に長い調査範囲で古墳時代前・中期に遡る遺構が東に偏在しており、これに続く古墳時代後期もこの傾向を有し、奈良時代に至って調査地内全域に拡大する。まさしく堀の内

時期区分 およびその時代別	上部の時期	地区別の住居棟数					棟数 合計
		A	B西	B東	C北	C南	
古墳時代前期	4～5世紀	1					1
古墳時代中期	5世紀		5				5
古墳時代後期	6世紀		2				2
後期前半	6～7世紀	1					1
後期	7世紀前半	1					1
後期後半	7世紀		7	3			10
古墳時代後期終末	1世紀以前		1				1
後期終末 (7世紀後半)	1期		1	1	1	2	3
奈良時代前半 (8世紀前半)	1～2期	1	2				2
	2～3期			1			1
	3期	1	1				2
	3～4期	1	1				2
	3～5期	1					1
奈良時代後半 (8世紀後半)	4期	1	2				3
	4～5期		2	2			4
平安時代 前期前半 (9世紀前半)	5期	1		2	1	4	4
	5～6期		4				4
	6期		4				4
	6～7期		2	4			6
平安時代 前期後半 (9世紀後半)	7期	1			1	2	2
	7～8期	5	5	2	1	13	13
	8期	5	1			1	7
	8～9期	1	1				2
平安時代中期 (10世紀前半)	9～11期	1					1
	10～11期	1					1
		22	19	32	8	2	83

新井遺跡2次調査の住居址時期別数

遺跡の古代集落の下流側(西側：扇尖部側)への拡大という様相を呈しており、前述した薄川扇状地右岸の開発の図式を傍証する良好な資料となったと考える。また調査地内のいたるところで検出された洪水跡、流路跡、溝址など水流に関するものの中には単なる自然現象の痕跡だけではなく、初歩的な水利管理の試行錯誤に伴うものも含まれていると考えたい。

一方で、本調査地内では平安時代の9世紀末から10世紀代に入ると遺構数が激減し、10世紀後半以降は分布が途絶えてしまう。これをどのように理解するのだが、松本平全域では9世紀末からこの時期に廃絶する集落が多いことが以前から指摘されており、その原因もいくつか推定されている(原1989・1996)。本例も単に今回調査地内に限った偶然と捉えるよりは、より広範な地域的動向と軌を一にしたものと考えたい。薄川扇状地右岸のエリア内における10世紀後半以降の集落は、宮北遺跡、針塚遺跡、薄町遺跡などで前代からの連続性を持たない形で小規模に展開していくことになる。

3 今後の課題

ここでは生産地の推定に絞って触れる。原始・古代の集落は生活用水の得られないところでは立地し得ず、さらに弥生時代以降は水田可耕地を求めて展開する。東隣の堀の内遺跡について平成2年に行われた第1次発掘調査の報告で、弥生時代から古墳時代6世紀代までの集落の生産地として、遺跡の北縁を西流する追倉沢川の北岸とその北の山地との間の湿地地帯(現状はほ場整備事業で消滅)を推定した(直井1992)。この見解については現在のところ変更する必要を認めないが、今回調査地内に大規模に展開した奈良時代から平安時代9世紀代までの集落の生産地、水田可耕地をどこに求めるかは、今後、大いに検討されるべき問題と考える。単なる自然地形利用の段階から専水農耕が可能になった段階への変化を想定することは、現在の追倉沢川や大堰(古)の不自然な流路を視野に入れながら、さらなる調査成果の積み上げを必要としよう。

おわりに

今回の発掘調査を完遂できたのはひとえに関係者や地域の皆様のご理解、ご協力によるものです。この調査が地域の開発と発展の歴史を探る一助となる成果を上げ得たことを、関係各位にご報告するとともに満腔の謝意を表し結びといたします。

参考文献

原明芳1989「吉田川西遺跡の歴史的特質」『中央自動車道長野線埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書3 一塩尻市その2-』(財)長野県埋蔵文化財センター

原明芳1996「第四章 古代社会の変質と中世のはじまり」『松本市史 第二巻歴史編1 原始古代中世』松本市
直井雅尚1992「第4章 調査のまとめ」『松本市文化財調査報告No93 松本市堀の内遺跡』松本市教育委員会



調査地 (A区) を西側から撮影 奥は薄川扇状地上流方面



調査地 (A区) を垂直上空から撮影 写真の右側が北方向



5住 礫出土状況 (西から)



5住 西カマド火床遺物出土状況 (東から)



5住 西カマド被熱面検出状況 (東から)



5住 完掘状況 (北から)



9住 カマド・カマド前 遺物出土状況 (西から)



9住 北壁付近 灰色粘土ブロック (南から)



9住 完掘状況 (西から)



11住 鎌出土状況 (東から)



11 住 カマド遺物出土状況 (西から)



11 住 完掘状況 (西から)



56 住 遺物出土状況 (北から)



56 住 カマド周辺 遺物出土状況 (東から)



56 住 完掘状況 (西から)



76 住 カマド半掘状況 (北から)



76 住 完掘状況 (東から)



110 住 掘削状況 (南から)



111 住 遺物出土状況 (北から)



111 住 遺物出土状況 (北から)



111 住 掘削状況 (東から)



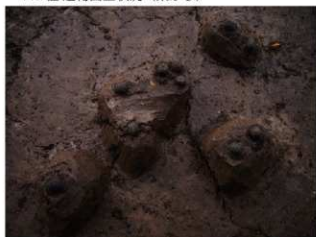
112 住 半掘 (東から)



112 住 遺物出土状況 (東から)



115 住 カマド遺物出土状況 (東から)



115 住 土玉出土状況 (北から)



115 住 調査区北壁



115 住 完掘状況 (北から)



118 住 カマド 遺物出土状況 (東から)



118 住 新旧カマド 完掘状況 (東から)



140 住 カマド検出状況 (東から)



140 住 掘削状況 (東から)



147 住 礫出土状況 (東から)



148 住 カマド 完掘状況 (東から)



209 住 東西ベレット北壁



209 住 カマド 完掘状況 (西から)



209 住 完掘状況 (北から)



216 住 南西隅 遺物出土状況 (北東から)



216 住 カマド 遺物出土状況 (東から)



216 住 カマド 完掘状況 (東から)



226 住 南北ベルト 東壁



226 住 カマド 完掘状況 (西から)



226 住 完掘状況 (北から)



第 125 号住居址出土品 (古墳時代前期)



第 111 号住居址出土品 (古墳時代中期)

写真図版 8 土器 (2)



第 112 号住居址出土品 (古墳時代中期)



第 115 号住居址出土品 (古墳時代後期)



第 166 号住居址出土品 (古墳時代後期)



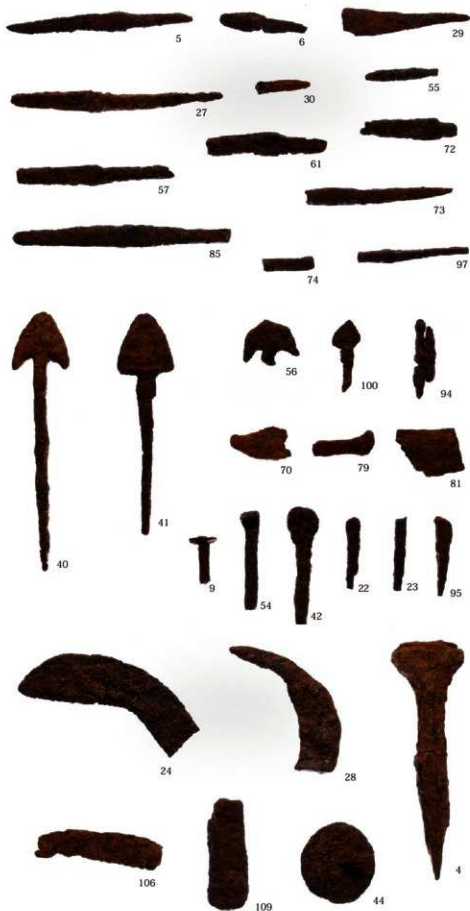
第 168 号住居址出土品 (奈良時代)



第 147 号住居址出土品 (平安時代)

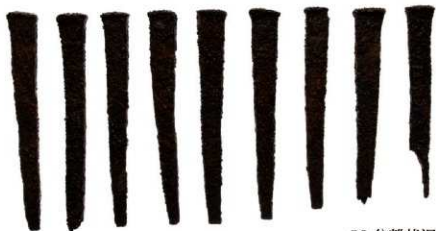


第 155 号住居址出土品 (平安時代)





35 住出土 52 錆着状況





1

勾玉 (S=約 1:1)



2

砥石 (S=約 1:3)



3



5



6



9



7

砥石 (S=約 1:5)



8



12

13



14



15



16



19

凹石 (S=約 1:5)



17



18



20

台石 (S=約 1:6)



21

22



23

報告書抄録

ふりがな	ながのけんまつもとし あらいいせき だい2じはっかつちようさほうこくしょ							
書名	長野県松本市 新井遺跡 第2次発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	松本市文化財調査報告							
シリーズ番号	№214							
編著者名	原田健司、福沢佳典、直井雅尚							
編集機関	松本市教育委員会							
所在地	〒390-0874 長野県松本市丸の内3番7号 TEL0263-34-3000(代) (記録・資料保管：松本市考古博物館 〒390-0823 松本市大字中山3738-1 TEL0263-86-4710)							
発行年月日	2014(平成26)年3月31日 (平成25年度)							
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
あらい 新井	ながのけんまつもとし 長野県松本市 おおいさきまよまへ 大字里山辺 ほん 1796番1ほか	20202	195	36度 16分 30秒	138度 0分 3秒	H23.5.19 ～ H24.3.30	4455.16 m ²	松本市新井北土 地区画整理事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
新井	集落跡	古墳 ～ 平安	<ul style="list-style-type: none"> ・竪穴住居址 185軒 ・掘立柱建物址 6棟 ・土坑 349基 ・ピット 376基 	<ul style="list-style-type: none"> [土器] 土師器 須恵器 黒色土器 灰軸陶器 緑軸陶器 [鉄製品] 刀子 鎌・釘 [石製品] 砥石 台石 つき白 打製石斧 剥片 	<ul style="list-style-type: none"> ・古墳時代前期～平安時代の集落址の一部を調査した。竪穴住居址が重複し、掘立柱建物址は6軒以上確認される。古墳時代中期の住居址は調査区の東側のみあり、隣接する場の内遺跡との関連が推測される。 ・各時代ごとに住居の分布域が異なり、時代ごとの変遷を追うことができる。 ・平安時代の遺構からは鉄製品が多く出土し、35住出土の棒状鉄製品や110住の大型のカマド・台石等が小鍛冶の可能性を推測させる。 			
要約	<p>・新井遺跡は松本市街地から東部の山辺地区、薄川扇状地の扇中部に位置する。やや谷が開けた場所である。過去に第1次発掘調査が行なわれており、古墳時代後期から平安時代にかけての住居址と直角に屈曲する溝状遺構を検出している。今回の調査地点は1次調査地点とは離れるため、集落の関係性は明らかではない。</p> <p>・今回の調査は松本市新井北土地区画整理事業に伴う緊急発掘として実施された。発見された遺構の中心は竪穴住居址で、古墳時代前期～平安時代の住居址が185軒確認された。集落の時期が長いこと、遺構の重複は激しいが、各時代ごとに分布の中心がある。古墳時代中期の住居址は5世紀代と考えられ、B東区の東に集中する。古墳時代後期にかけ住居数が増加し、西へ集落域が広がるようである。その後、さらに集落域を拡大し、平安時代の中ごろまで集落が継続的に営まれていた。</p> <p>・特殊な出土品として風字硯・緑軸陶器・滑石製勾玉・鏡形土製品などがある。</p> <p>・今回の調査において、松本市東部の薄川扇状地の扇中部に大規模な集落が展開していることが判明した。周辺の遺跡と考え合わせると、古墳時代中期以降に扇中部の開発が始まり、古墳時代後期に定着し、発展する。その後も平安時代中期に至るまでの約600年間にわたり人々の生活が続いたことが明らかになった。扇中部への集落の進出、もしくは山辺谷における開発の歴史が明らかになる貴重な発掘成果となった。</p>							

松本市文化財調査報告No.214

長野県松本市

新井遺跡

－第2次発掘調査報告書－

発行日 平成26年3月28日

発行 松本市教育委員会

〒390-0874

長野県松本市丸の内3番7号

印刷 株式会社 二光印刷
